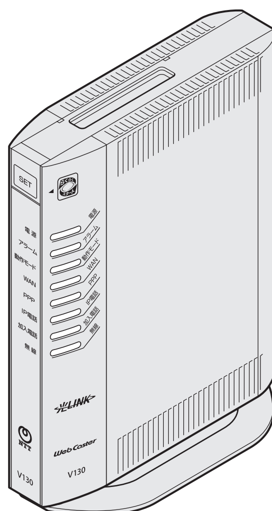
NTT

Web Caster
V130

取扱説明書

このたびは、Web Caster V130をご利用いただきまして、まことにありがとうございます。

● ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
● お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いておいてください。



技術基準適合認証品

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。
本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

本書中のマーク説明

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
STOP お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。

■お守りいただきたい内容を次の図記号で説明しています。

⚠記号は、注意事項を示しています。

注　意　　発火注意　　感電注意

⃠記号は、してはいけない内容を示しています。

禁　止　　火気禁止　　風呂場での使用禁止　　分解禁止　　水ぬれ禁止　　ぬれ手禁止

●記号は、実行しなければならない内容を示しています。

電源プラグを抜け　　必ずアース線を接続せよ

ご使用にあたって

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

- ●ご使用の際は取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。
- ●本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
  This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- ●本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害や万一本商品に登録された情報内容が消失してしまうことなどの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いします。
- ●本商品を設置するための配線工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となり、また事故のもととなりますので絶対におやめください。
- ●本書に、他社商品の記載がある場合、これは参考を目的としたものであり、記載商品の使用を強制するものではありません。
- ●本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申し付けください。
- ●この取扱説明書、ハードウェア、ソフトウェアおよび外観の内容について将来予告なしに変更することがあります。
- ●本商品の電話機ポートは、加入電話の仕様とは完全に一致していないため、接続される通信機器によっては、正常に動作しないことがあります。
- ●停電時には本商品は使用できません。電源が復旧したあとは、動作を確実にするため、一度電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いた後、10秒以上たってからもう一度差し込んでください。
- ●本商品に搭載されているソフトウェアの解析（逆コンパイル、逆アセンブル、リバースエンジニアリングなど）、コピー、転売、改造を行うことを禁止します。

【廃棄（または譲渡、返却）される場合の留意事項】
本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品内のデータ流出などによる不測の損害を回避するために、本商品を廃棄（または譲渡、返却）される際には、取扱説明書をご覧のうえ、本商品内に登録または保持されたデータを消去くださいますようお願いいたします。

警　告

設置場所





●風呂、シャワー室への設置禁止
風呂場やシャワー室などでは使用しないでください。
漏電して、火災・感電の原因となります。





●水のかかる場所への設置禁止
水のかかる場所で使用したり、水にぬらすなどして使用しないでください。
漏電して、火災・感電の原因となります。





●本商品や電源アダプタ（電源プラグ）、電話機コードのそばに、水や液体の入った花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。本商品や電源アダプタ（電源プラグ）、電話機コードのモジュラープラグに水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。





●本商品や電源アダプタ（電源プラグ）、電話機コードを次のような環境に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
- ・屋外、直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーの近くなどの温度が上がる場所
- ・調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所
- ・湿気の多い場所や水・油・薬品などのかかるおそれがある場所
- ・ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所
- ・製氷倉庫など、特に温度が下がる場所



●自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くに置かないでください。
本商品に無線LANカードを装着してご利用の場合は、自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くに置かないでください。本商品からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となることがあります。

⚠ 警　告

こんなときは

●発煙した場合

万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。電源アダプタ（電源プラグ）、電話機コードをそれぞれ抜いて、煙が出なくなるのを確認し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



●水が装置内部に入った場合

万一、本商品やケーブル、モジュラージャックの内部に水などが入った場合は、すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると漏電して、火災・感電の原因となります。



●延長コード

電源アダプタ（電源プラグ）のコードには、延長コードは使わないでください。火災の原因となることがあります。



●異常音がしたり、キャビネットが熱くなっている場合

本商品から異常音がしたり、キャビネットが熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。



●異物が装置内部に入った場合

本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



●アース線の取り付け

万一、漏電した場合の感電事故防止のため、必ずアース線を取り付けてください。



●電源アダプタの取り扱い注意

付属の電源アダプタ以外を使用したり、付属の電源アダプタを他の製品に使用したりしないでください。火災・感電の原因となることがあります。
また、電源アダプタに物を載せたり、掛けたりしないでください。過熱し、火災・感電の原因となることがあります。



⚠ 警　告

●電源アダプタの設置の注意



電源アダプタは風通しの悪い狭い場所（収納棚や本棚の後ろなど）に設置しないでください。過熱し、火災や破損の原因となることがあります。
また、電源アダプタ本体を宙吊りに設置しないでください。電源プラグと電源コンセント間に隙間が発生し、ほこりによる火災が発生する可能性があります。
電源アダプタ（電源プラグ）は容易に抜き差し可能な電源コンセントに差し込んでください。

●電源コードが傷んだ場合



電源コードが傷んだ（芯線の露出・断線など）状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

●電源コードの取り扱い注意



付属の電源コード以外を使用したり、付属の電源コードを他の製品に使用したりしないでください。火災・感電の原因となることがあります。
また、電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。火災・感電の原因となります。
重い物を載せたり、加熱したりしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

●破損した場合



万一、落としたり、破損した場合は、すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

禁止事項

●たこ足配線の禁止



本商品の電源コードは、たこ足配線にしないでください。たこ足配線にするとテーブルタップなどが過熱・劣化し、火災の原因となります。

⚠ 警　告

●商用電源以外の使用禁止

AC100±10V（50/60Hz）の商用電源以外では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。
差込口が2つ以上ある壁などの電源コンセントに他の電気製品の電源アダプタ（電源プラグ）を差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災・感電の原因となります。





●本商品は家庭用の電子機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。



●分解改造の禁止

本商品を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。





●ぬらすことの禁止

本商品や電源アダプタ（電源プラグ）、ケーブル、モジュラージャックに水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようにご注意ください。漏電して火災・感電の原因となります。
また、電話機コードのモジュラープラグがぬれた場合は、乾いても、その電話機コードを使わないでください。





●ぬれた手での操作禁止

ぬれた手で本商品や電源アダプタ（電源プラグ）、ケーブル、モジュラージャックを操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。




その他のご注意

●異物を入れないための注意

本商品やケーブル、モジュラージャックの上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな貴金属を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。





⚠警　告

●本商品の拡張カードスロットの上にコインなどの小さな物を置かないでください。
重みで拡張カードスロットのカバーが開き、本商品の中に入った場合、火災・感電の原因となります。





●航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。



●本商品は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。電子機器や心臓ペースメーカなどが誤動作するなどの原因となることがあります。
また、医療用電子機器の近くや病院内など、使用を制限された場所では使用しないでください。



●本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。
人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生する恐れがあります。



⚠注　意

設置場所

●火気のそばへの設置禁止

本商品やケーブル類、電話機コード、電源アダプタを熱器具に近づけないでください。ケースやケーブルの被覆などが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。





●温度の高い場所への設置禁止

直射日光の当たるところや、温度の高いところ（40℃以上）、発熱する装置のそばに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。





●温度の低い場所への設置禁止

本商品を製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。



●湿度の高い場所への設置禁止

風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところ（湿度85%以上）では設置および使用はしないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。





●油飛びや湯気の当たる場所への設置禁止

調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。





●不安定な場所への設置禁止

ぐらついた台の上や傾いた所、振動、衝撃の多い場所など、不安定な場所に置かないでください。

また、本商品の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。



●本商品を逆さまに置かないでください。



⚠注　意



●**通風孔をふさぐことの禁止**

本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使いかたはしないでください。

・横向きに寝かせる
・収納棚や本棚などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
・じゅうたんや布団の上に置く
・テーブルクロスなどを掛ける
・毛布や布団をかぶせる



●**横置き・重ね置きの禁止**

本商品を横置きや重ね置きしないでください。横置きや重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



●**屋外には設置しないでください。屋外に設置した場合の動作保証はいたしません。**



●**塩水がかかる場所、亜硫酸ガス、アンモニアなどの腐食性ガスが発生する場所で使用しないでください。故障の原因となることがあります。**





●**温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本商品やケーブルの内部に結露が発生し、火災・感電の原因となります。**



●**本商品を壁に取り付けるときは、本商品の重みにより落下しないようしっかりと取り付け設置してください。落下して、けが・破損の原因となることがあります。**

禁止事項



●**乗ることの禁止**

本商品に乗らないでください。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。

⚠注　意

●運用中、本商品は発熱しますので、本商品には長時間触れないでください。低温やけどの原因となることがあります。



電源

●プラグの取り扱い注意
電源アダプタ（電源プラグ）は電源コンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
電源アダプタ（電源プラグ）の金属部に金属などが触れると火災・感電の原因となります。




●本商品の電源アダプタ（電源プラグ）を抜き差しをする場合は、電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いたら、10 秒以上あけてから差し込んでください。



●電源アダプタ（電源プラグ）の清掃
電源アダプタ（電源プラグ）と電源コンセントの間のほこりは、定期的（半年に1回程度）に取り除いてください。火災の原因となることがあります。
清掃の際は、必ず電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いてください。火災・感電の原因となることがあります。




●長期不在時の注意
長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いてください。



●拡張カードの抜き差しは、本商品の電源を切った状態で行ってください。本商品および装着したカードが故障することがあります。



注　意

その他のご注意

●**移動させるときの注意**
移動させる場合は、電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜き、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
故障の原因となる場合があります。



●**雷のときの注意**
落雷の恐れのあるときは、必ず電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いてご使用をお控えください。
落雷時に、火災、感電、故障の原因となることがあります。
雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり、周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。



●**火災・地震などが発生した場合、本商品の状態を確認し、異常が認められた場合には当社のサービス取扱所までご連絡ください。装置故障の恐れがあります。**



●**本書にしたがって接続してください。**
間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。





お願い

設置場所

●本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のような所への設置は避けてください。
- ・振動が多い場所
- ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
- ・電気製品・ＡＶ・ＯＡ 機器などの磁気を帯びている場所や電磁波が発生している場所（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）
- ・高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などが近くにある場所

●本商品は、縦置きの場合は縦置き／壁掛け共用スタンドを取り付けて設置してください。
また、壁掛け設置をする場合には、付属の壁掛け設置用ネジを使用し、縦置き／壁掛け共用スタンドの底面が壁側になるように固定し、本商品の背面が下になるように設置してください。転倒、落下により、けが、故障の原因となることがあります。

●本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどの近くで使用すると、コードレス電話機の通話にノイズが入ったり、テレビ画面が乱れるなど受信障害の原因となる場合があります。このような場合は、お互いを数m以上離してお使いください。

●無線LANアクセスポイントと無線LAN端末の距離が近すぎるとデータ通信でエラーが発生する場合があります。このような場合は、お互いを1m以上離してお使いください。

●本商品の隙間から虫が入ると、故障の原因となることがあります。
- ・厨房や台所などに設置するときは、虫が入らないようにご注意願います。

STOP お願い

禁止事項

●動作中にケーブル類が外れたり、接続が不安定になると誤動作の原因となり、大切なデータを失うことがあります。動作中は、コネクタの接続部には絶対に触れないでください。

●落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。

●本商品は家庭用の電子機器として設計されております。本商品にパソコンなどの電子機器を非常に多く接続し、通信が集中した場合に、本商品が正常に動作できない場合がありますのでご注意ください。

日頃のお手入れ

●本商品のお手入れをする際は、安全のため必ず電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて行ってください。

●汚れたら、乾いた柔らかい布でふき取ってください。汚れのひどいときは、中性洗剤を含ませた布でふいたあと、乾いた布でふき取ってください。化学ぞうきんの使用は避けてください。
ただしコネクタ部分は、よくしぼった場合でもぬれた布では絶対にふかないでください。
ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、アルコールは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因となることがあります。

●本商品に殺虫剤などの揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール、粘着テープなどを長時間接触させないでください。変形や変色の原因となることがあります。

ご利用前の注意事項

電話機能に関する注意事項

〔IP電話と加入電話の選択〕

●本商品に接続した電話機からは、IP電話および加入電話を利用することができます。

●IP電話で通話しているか加入電話で通話しているかは、本商品のIP電話ランプや加入電話ランプまたは発信時にハンドセットから聞こえる音により識別できます。

〔IP電話の利用〕

●IP電話をご利用いただくためには、プロバイダなどとのIP電話サービス契約および本商品へのIP電話設定が必要です。なお、本商品がインターネットに接続されていない場合やプロバイダなどのサーバと通信できる状態にない場合、IP電話は利用できません。

●IP電話はプロバイダなどが提供するサービスです。IP電話のサービス内容や利用料金などを、ご契約されるプロバイダなどに必ずご確認ください。

●IP電話で通話した場合の通話料金はプロバイダなどから請求されます。また、IP電話で通話した場合に相手先に通知できる発信者番号は、プロバイダなどから付与されたIP電話番号です。

●IP電話で接続できない通話（IP電話サービス対象外の番号をダイヤルした場合など）は、加入電話での発信に自動切替されることがあります。自動切替される条件はご契約されたIP電話サービスによって異なりますので、プロバイダなどにご確認ください。

●IP 電話の通話品質は、下記のような場合に劣化することがあります。

・インターネットで十分な帯域が確保できない場合
・本商品に接続しているパソコンで、ファイル転送やストリーミングサービスのような大きな帯域を必要とするサービスを使用中の場合

●IP電話でファクスやアナログモデム通信を行った場合、あるいは音声ガイドなどで通話中にプッシュ信号の入力が必要な場合は、通信に失敗することがあります。通信が失敗した場合でも、失敗するまでの通信に対して使用料金がかかります。確実に通信したい場合には、相手先電話番号の前に「0000」（ゼロを4回）をつけてダイヤルし、加入電話をご利用ください。

●IP電話通話中に本商品の電源が切れた場合や再起動された場合は、通話が切断されます。

●本商品に接続している電話機の ACR などの機能が動作している場合、IP電話が使用できない場合があります。ACRなどの機能によって加入電話での通話になった場合は、加入電話の通話料金がかかります。必ず電話機のACRなどの機能は停止させてください。

〔加入電話の利用〕

●加入電話をご利用いただくためには、加入電話の契約および本商品への加入電話回線の接続が必要です。

●緊急通話（110番や119番など）など、一部の電話番号（※）をダイヤルした場合は、必ず加入電話での発信になります。本商品に加入電話回線が接続されていないと通話できませんのでご注意ください。

※他に113、116、117、177などの1から始まる3桁番号や＃で始まる番号。ただし、184、186は除きます。

●加入電話で通話した場合の通話料金は、NTT東日本・NTT西日本またはマイライン（マイラインプラス）に登録された電話会社から請求されます。

●意図的に加入電話で発信したい場合は、相手先電話番号の前に「0000」（ゼロを4回）をつけてダイヤルしてください。

●なんらかの事情によりIP電話がご利用いただけない場合は、相手先電話番号の前に「0000」（ゼロを4回）をつけてダイヤルすることにより加入電話で通話することができます。

●次の場合は、相手先電話番号の前に「0000」（ゼロを4回）をつけずにダイヤルしてください。すべて加入電話で発信します。

・停電時および本商品の電源が切れている場合
・本商品のIP電話の設定がされていない場合

お客様情報に関する注意事項

●本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品内のデータが流出すると不測の損害を被る恐れがありますので、データの管理には十分お気をつけください。

●本商品を廃棄（または譲渡、返却など）される際は、本商品を初期化することにより、本商品内のデータを必ず消去してください。

●本商品の初期化は、本書に記載された初期化方法の手順にしたがって実施してください。

無線 LAN に関する注意事項

●最大54Mbps（規格値）や最大11Mbps（規格値）は、IEEE802.11の無線LAN規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度（実効値）を示すものではありません。

●無線LANの伝送距離や伝送速度は、周囲の環境条件（通信距離、障害物・電子レンジなどの電波環境要素、使用するパソコンの性能、ネットワークの使用状況など）により大きく変動します。

●IEEE802.11a（W52/J52）の屋外での使用は電波法により禁止されています。

●IEEE802.11a（W52/J52）は5.2GHz帯の周波数を使用しています。

●IEEE802.11b を使用する機器および IEEE802.11g を使用する機器が混在している場合は、IEEE802.11gを使用する機器のスループットが著しく下がることがあります。

電波に関するご注意
（SC-32NEまたはWeb Caster FT-STC-Na/g装着時にお読みください）

無線LAN機器の電波に関するご注意

本商品をIEEE802.11b、IEEE802.11gで利用時は、2.4GHz帯域の電波を利用しており、この周波数帯では電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用構内無線局、および免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下、「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. その他、電波干渉の事例が発生し、何かお困りのことが起きた場合には、取扱説明書巻末記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

本商品をIEEE802.11aで利用時は、5.2GHz帯域の電波を使用しており、屋外での使用は電波法により禁じられています。

- **本商品（*）は、日本国内でのみ使用できます。**
- **次の場所では、電波が反射して通信できない場合があります。**
  - ・強い磁界、静電気、電波障害が発生するところ（電子レンジ付近など）
  - ・金属製の壁（金属補強材が中に埋め込まれているコンクリートの壁も含む）の部屋
  - ・異なる階の部屋どうし
- **本商品（*）と同じ無線周波数帯の無線機器が、本商品の通信可能エリアに存在する場合、転送速度の低下や通信エラーが生じ、正常に通信できない可能性があります。**
- **本商品（*）をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。**
- **本商品（*）を5.2GHz帯で使用する場合、屋外で使用しないでください。法令により5.2GHz無線機器を屋外で使用することは禁止されているため、屋外で使用する場合は、あらかじめ5.2GHz帯の電波を無効にしてください。**
- **IEEE802.11bを使用する機器およびIEEE802.11gを使用する機器が混在している場合は、IEEE802.11gを使用する機器のスループットが著しく下がることがあります。**
- **本商品（*）は、技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。**
  - ・本商品（*）を分解／改造すること
- **本商品（*）は、他社無線LANカードやパソコン内蔵の無線との動作を保証するものではありません。**
- **本商品（*）は2.4GHz全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しており、与干渉距離は40mです。**

本商品（*）に表示した [2.4 DS/OF 4] は、次の内容を示します。

2.4	使用周波数帯域	2.4GHz帯
DS/OF	変調方式	DS-SSおよびOFDM方式
4	想定干渉距離	40m以下
▬ ▬ ▬	周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ、移動体識別装置の帯域を回避可能であること

※「本商品（*）」はここでは、SC-32NEまたはWeb Caster FT-STC-Na/g装着時を示します。

無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意（SC-32NEまたはWeb Caster FT-STC-Na/g装着時にお読みください）

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線LANアクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

● 通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者により傍受されることでIDやパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報、メールの内容などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

● 不正に侵入される
悪意ある第三者により傍受されることで個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）、特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流したり（なりすまし）、傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）、コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LANカードや無線LANアクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

無線LAN機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が行われていない場合があります。

したがって、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線LANカードや無線LANアクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線LAN機器のセキュリティに関するすべての設定をマニュアルにしたがって行ってください。

なお、無線LANの仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもありえますので、ご理解のうえ、ご使用ください。

セキュリティの設定などについて、ご不明な点があれば、『8-7　お客様サポートのご案内』（☛ 8-25ページ）記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

当社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

セキュリティ対策を行わず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。

目次

「機能詳細ガイド」目次

付属の「Web Caster V130専用CD-ROM」には、本商品の詳細な機能について説明した「機能詳細ガイド」がHTMLファイルで収録されています。ここではその概要を示します。電子マニュアルの見かたについては、27ページをご覧ください。

マニュアルの読み進めかた

本商品のマニュアルは下記のように構成されています。ご利用の目的に合わせてお読みください。

●接続ガイド
本商品の接続、インターネット、無線LAN 、IP電話の設定をわかりやすく説明しています。

●取扱説明書（本書）
本商品の接続のしかた、インターネット接続の設定方法、お問い合わせ先などを記載しています。ご使用前に必ずお読みください。

●機能詳細ガイド（ CD-ROM ：HTML ファイル）
本商品の機能や設定方法をより詳しく記載しています。より高度な機能をご使用になる場合にお読みください。

■取扱説明書（本書）の読み進めかた
本商品を使用して、インターネットに接続し、IP電話をご利用になるまでの流れは、下記のようになります。
無線LANを利用する場合は「4章　無線LANのご利用について」を参照してください。

添付品の確認をします
『1-1　付属品の確認』（☛本書 1-2ページ）



取り付けます
『1-4　設定方法』（☛本書 1-9ページ）



接続します
『2　本商品の動作モードについて』（☛本書 2-1ページ）



インターネットにつなぐための設定をします
『3-1　本商品の設定をする』（☛本書 3-2ページ）



インターネットにつなぎます
『3-2　インターネットに接続する』（☛本書 3-4ページ）



無線LANの設定をします
『4　無線LANのご利用について』（☛本書 4-1ページ）



IP電話を利用するための設定をします
『5-1　IP電話の設定について』（☛本書 5-2ページ）



IP電話を利用します
『5-2　電話機能の設定について』（☛本書 5-4ページ）

※本書で説明に使用している画面表示は一例です。お使いのWebブラウザやお使いのOSバージョンによって画面のレイアウトやボタン名称などが異なります。
※本書での⚠の記載は設定中などに特に確認していただきたい注意事項です。
※IP電話をご利用いただくためには、IP電話サービスの契約が必要です。

「Web Caster V130専用CD-ROM」に収録された電子マニュアルの見かた

1 「Web Caster V130専用CD-ROM」をパソコンにセットする

2 Web ブラウザ（Internet Explorer®など）を起動して「機能詳細ガイド」や、「設定記入シート」のファイルを開く

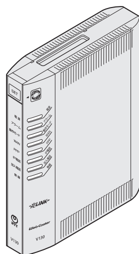
Windows®、Windows Vista®は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
※本書では、Windows® 7は、Windows® 7 Starter、Windows® 7 Home Premium、Windows® 7 Professional、Windows® 7 Enterprise およびWindows® 7 Ultimate の各日本語版かつ32 ビット（x86）版または64 ビット（x64）版の略として使用しています。
※本書では、Windows Vista®は、Windows Vista® Home Basic、Windows Vista® Home Premium、Windows Vista® BusinessおよびWindows Vista® Ultimateの各日本語版かつ32ビット（x86）版または64ビット（x64）版の略として使用しています。
Windows® XP は、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating systemおよびMicrosoft® Windows® XP Professional operating systemの略です。
Windows® 2000は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。
Internet Explorer®は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
Firefox®は、米国Mozilla Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
Safariは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
Mac、Macintoshは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
らくらく無線スタートは、NECアクセステクニカ株式会社の登録商標です。
Java is a trademark of Sun Microsystems,Inc.
JavaScript は、米国Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。
その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。
付属品の「Web Caster V130専用CD-ROM」は日本語版OS以外の動作保証はしていません。
付属品の「Web Caster V130専用CD-ROM」はソフトウェアのバックアップとして保有する場合に限り、複製することができます。また、ソフトウェアについてのいかなる改変も禁止とし、それに起因する障害について当社は一切の責任を負いません。

1 最初に確認する

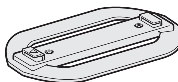
この章では、付属品や各部の名称、お使いになる前に確認していただきたいことを説明します。

1-1 付属品の確認

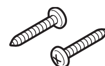
■本体および付属品



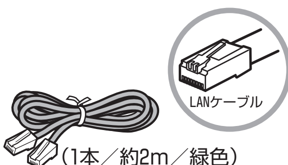
Web Caster V130（1台）



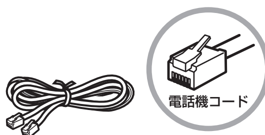
縦置き/壁掛け共用
スタンド（1台）



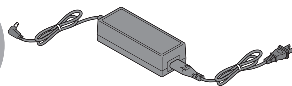
壁掛け設置用ネジ（2個）



（1本／約2m／緑色）
LANケーブル（1本）



（1本／約2m／グレー）
電話機コード（1本）



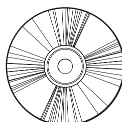
電源アダプタ（1式）
※電源アダプタと電源コードが分離している場合は、電源コードを電源アダプタに奥まで確実に差し込んでお使いください。



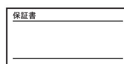
取扱説明書
（本書1冊）



「接続ガイド」
Web Caster V130
（1枚）



Web Caster V130
専用CD-ROM（1枚）



保証書（1枚）
（ご購入の場合のみ
付属されております。）



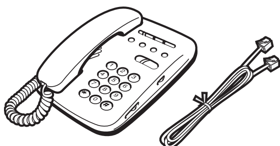
お取扱相談
センタシール
（1枚）

- ●付属品で足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所にご連絡ください。
- ●アース線は付属していません。
- ●お使いにならない電話機コードは、引越などで必要になる場合がありますので大切に保管してください。

■お客様にご用意いただくもの

＜IP電話のご利用に必要なもの＞

●電話機・電話機コード



●開通のご案内

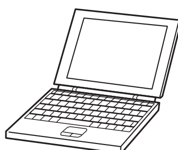
●回線終端装置／ VDSL モデムなど当社が設置した機器

※ホームテレホンの内線電話機やISDN 対応電話機などはご利用できません。

※電話機コードもご準備ください。

＜インターネット接続および、設定変更に必要なもの＞

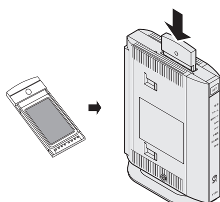
●LANポートを持ったパソコン



●プロバイダの設定情報

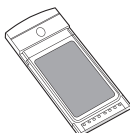
＜パソコンとの無線LAN接続に必要なもの＞

●専用無線LANカード（SC-32NEまたはWeb Caster FT-STC-Na/g）

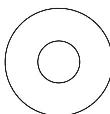


※本商品の拡張カードスロットに装着して使用します。

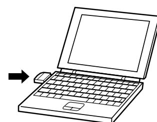
●専用無線LANカード（SC-32NEまたはWeb Caster FT-STC-Na/g）※1



●専用CD-ROM（SC-32NE（橙）またはWeb Caster FT-STC-Na/g（青））※2



●CardBus対応のPCカードスロットを持ったパソコン



＜WAN側機器との接続に必要なもの＞

●LANケーブル



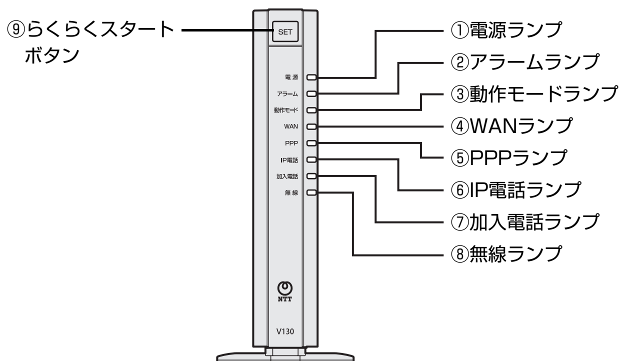
※1 無線LAN 端末として使用するパソコンなどに装着して使用します。OS は、Windows® 7 32ビット（x86）版、Windows Vista®（SP1/SP2 を含む）32 ビット（x86）版およびWindows® XP（SP2 以上）/2000（SP4）に対応しています。64 ビット（x64）版OS、Mac OS には対応しておりません。

※2 最新のプログラムは「フレッツ簡単セットアップツール」にて取得してください。

1-2 各部の名称

本商品各部の名前および機能を説明します。

●前面図



【ランプ表示】

ランプの名称	表示（色）		状態
①電源ランプ	ー	消灯	電源が入っていません。
	緑	点灯	電源が入っています。（設定されています。）※1
	橙	点灯	電源が入っています。（初期化された状態です。）
②アラームランプ	ー	消灯	正常な状態です。
	橙	点灯	ファームウェアバージョンアップしています。
	赤	点灯	装置障害です。 （『7　故障かな？と思ったら』（☛ 7-1ページ）を参照してください。）
③動作モードランプ	緑	点灯	ルータモードで利用中です。
	橙	点灯	アダプタモードで利用中です。
	緑/橙	交互点滅	動作モードを切り替えています。
④WANランプ	ー	消灯	WANポートのリンクが確立していません。
	緑	点灯	WANポートのリンクが確立しています。
		点滅	WANポートでデータ通信中です。
⑤PPPランプ	ー	消灯	PPPのセッションが確立していません。
	緑	点灯	1セッション接続中です。
	橙	点灯	2セッション以上接続中です。
⑥IP電話ランプ	ー	消灯	IP電話の設定がされていません。
	緑	点灯	IP電話が利用できます。
		点滅	IP電話で通話中／着信中／呼び出し中です。
	赤	点灯	IP電話が利用できません。
⑦加入電話ランプ	ー	消灯	加入電話が利用できません。
	緑	点灯	加入電話が利用できます。
		点滅	加入電話で通話中／着信中／呼び出し中です。

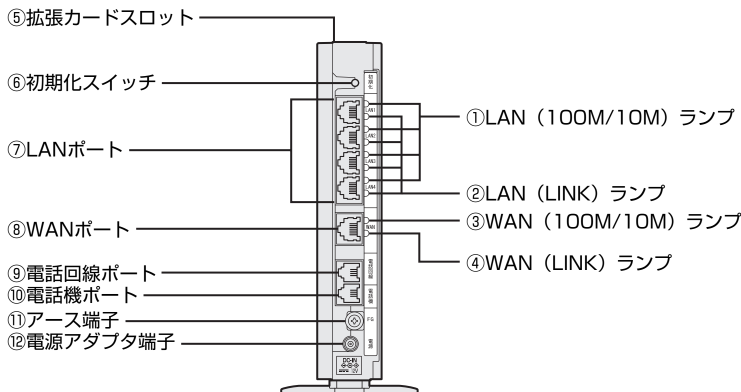
※1 工場出荷状態で「らくらくスタートボタン」を使って動作モードを切り替えた場合も、緑点灯します。

ランプの名称	表示（色）		状態
⑧無線ランプ	ー	消灯	無線LANが利用できません。
	緑	点灯	無線LANが利用できます。
		点滅	「無線LAN簡単セットアップ」での設定準備中です。
	橙	点灯（10秒間）	「無線LAN簡単セットアップ」での設定が完了しました。
		点滅	「無線LAN簡単セットアップ」で設定のため通信中です。
	赤	点滅（10秒間）	「無線LAN簡単セットアップ」の設定に失敗しました。

【設定ボタン】

名称	説明
⑨らくらくスタートボタン	らくらく無線スタートで無線の設定を行うときや動作モードを切り替えるときに使用します。

●背面図



【ランプ表示】

ランプの名称	表示（色）		状態
①LAN（100M/10M）ランプ（4個）	ー	消灯	10Mbpsでデータ送受信できます。
	緑	点灯	100Mbpsでデータ送受信できます。
②LAN（LINK）ランプ（4個）	ー	消灯	LANポートのリンクが確立していません。
	緑	点灯	LANポートのリンクが確立しています。
		点滅	LANポートでデータ通信中です。
③WAN（100M/10M）ランプ	ー	消灯	10Mbpsでデータ送受信できます。
	緑	点灯	100Mbpsでデータ送受信できます。
④WAN（LINK）ランプ	ー	消灯	WANポートのリンクが確立していません。
	緑	点灯	WANポートのリンクが確立しています。
		点滅	WANポートでデータ通信中です。

【ポート名など】

名称	表示	説明
⑤拡張カードスロット	ー	無線LANカード（SC-32NEまたはWeb Caster FT-STC-Na/g）を装着します。（☛ 4-4ページ）
⑥初期化スイッチ	初期化	設定を初期化するために使用するスイッチです。
⑦LANポート	LAN１～LAN４	LANケーブル（付属品など）を使用してパソコンと接続するためのポートです。（100BASE-TX/10BASE-T（8 ピンモジュラージャック））
⑧WANポート	WAN	LANケーブルを使用して回線終端装置／VDSLモデムなどのLAN ポートと接続するためのポートです。
⑨電話回線ポート	電話回線	電話機コードを使用して回線モジュラージャックに接続するためのポートです。
⑩電話機ポート	電話機	電話機コードを使用して電話機を接続するためのポートです。
⑪アース端子	FG	アース線を接続するための端子です。（ネジ径は4.0mm）
⑫電源アダプタ端子	電源	電源アダプタのコードを差し込みます。

1-3 あらかじめ確認してください

パソコンの準備

●LANポートの準備

本商品と接続する端末機器（パソコンなど）には、LANポート（100BASE-TXまたは10BASE-T）が必要です。お使いのパソコンなどにLANポートがない場合は、100BASE-TX/10BASE-T対応のLANボードまたはLANカードをあらかじめご準備ください。LANボードまたはLANカードの取り付けとドライバのインストールは、LANボードまたはLANカードの取扱説明書などにしたがって正しく行ってください。

●ファイアウォールなど、すべてのソフトウェアの終了

本商品設定の前にファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトウェアは終了させてください。動作させたままでいると、本商品の設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。本商品の設定が終了したら、いったん終了させたファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトウェアをもとに戻してください。

フレッツ接続ツールをご利用になっていた場合、フレッツ接続ツールのアンインストールを実施してください。

●無線LANをご利用になるには

本商品とパソコンに装着する無線LANカードとしてSC-32NEまたはWeb Caster FT-STC-Na/gが必要です。

SC-32NEおよびWeb Caster FT-STC-Na/gは、下記のOSに対応しています。

Windows® 7 32 ビット（x86）版、Windows Vista®（SP1/SP2 を含む）32 ビット（x86）版およびWindows® XP（SP2 以上）/2000（SP4）

対応OSの確認とWebブラウザの準備

本商品は下記のOS に対応しています。

・本商品のLAN ポートに接続する場合
　Windows® 7、Windows Vista® （SP1/SP2 を含む）、Windows® XP（SP2 以上）/2000（SP4）およびMacintosh（Mac OS X）

・本商品とパソコンに専用無線LAN カードを装着して接続する場合
　Windows® 7 32ビット（x86）版、Windows Vista® （SP1/SP2 を含む）32 ビット（x86）版およびWindows® XP（SP2 以上）/2000（SP4）

本書では、Web ブラウザでの設定方法を説明します。
Web ブラウザによる設定では、以降の点に注意してください。

● Web ブラウザは、下記のバージョンに対応しています。（2011年6月現在）

Windows® 7 の場合
・Internet Explorer® 8.0 以上に対応
Windows Vista® （SP1/SP2 を含む）の場合
・Internet Explorer ®7.0 以上に対応
Windows® XP（SP2 以上）の場合
・Internet Explorer® 6.0 SP2 以上に対応
Windows® 2000（SP4）の場合
・Internet Explorer® 6.0 SP1 に対応
Mac OS X の場合
・Safari 3.1 以上に対応
・Firefox® 2.0 以上に対応

※各OS に準拠したブラウザをご利用ください。

●Windows®をご利用の場合、Web ブラウザやOS の設定でプロキシサーバを使用する設定になっていると正しく表示や操作ができないことがあります。（☛ 2-17ページ）

●お使いのWeb ブラウザの設定で「JavaScript」を有効にしてください。（Windows®の場合☛ 2-18ページ、Mac OS の場合☛ 8-10ページ）

●ダイヤルアップの設定がある場合は、パソコンの［インターネットオプション］の［接続］で「ダイヤルしない」を選択してください。（☛ 2-17ページ）

●お使いのWeb ブラウザやWeb ブラウザの設定により、説明されている操作を行った際に、Web ブラウザが以前に保存していた内容を表示する場合があります。

●Web ブラウザの「戻る」、「進む」、「更新」ボタンは使用しないでください。本商品への操作が正しく行われない場合があります。

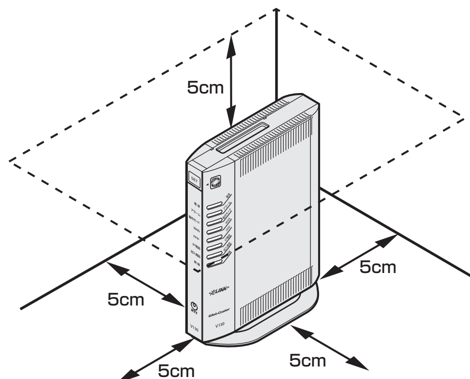
●Mac OS でSafari をご利用の場合、「テキストのみ拡大／縮小」にチェックを入れないと正しく表示ができないことがあります。

※本書で説明に使用している画面表示は一例です。お使いのWeb ブラウザやお使いのOS バージョンによって画面のレイアウトやボタン名称などが異なります。

1-4 設定方法

本商品を設置する

本商品は、前後左右5cm、上5cm 以内に、パソコンや壁などの物がない場所に設置してください。
壁掛けの場合は壁掛け面を除きます。



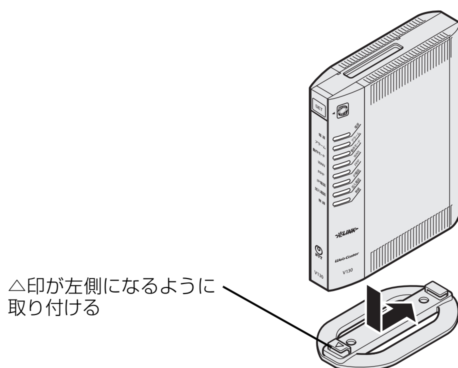
⚠ 注 意

換気が悪くなると本商品内部の温度が上がり、故障の原因になります。

冷蔵庫やTV など、ノイズ源となる可能性のある機器の近くには設置しないでください。
本商品を横置きや重ね置きしないでください。横置きや重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

スタンドを付けて縦置きにする

図のように、本商品本体に付属の縦置き／壁掛け共用スタンドを付けて縦置きでご使用ください。



⚠ 注 意

本商品は横置きでのご使用はできません。

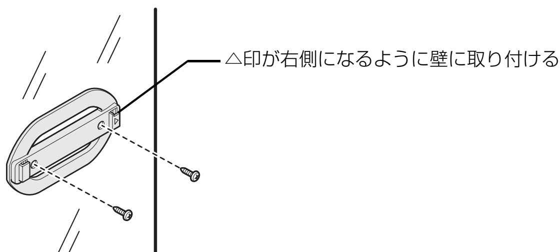
※スタンドを取り外す場合は、本商品を上記イラストの矢印を逆側にスライドして取り外します。このとき、力をかけすぎると本商品が破損するおそれがありますのでご注意ください。

スタンドを用いて壁掛けにする

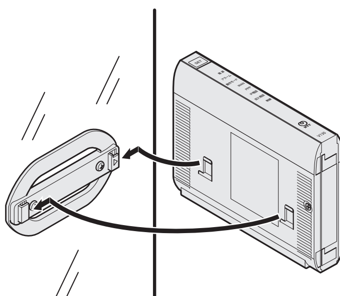
■取り付けかた

あらかじめ、縦置き／壁掛け共用スタンドを本商品に装着して設置方向および設置スペースを確認してから縦置き／壁掛け共用スタンドを取り付けてください。

①付属の縦置き／壁掛け共用スタンドを底面が壁側になるように、付属の壁掛け設置用ネジで取り付けます。



②本商品をスライドさせて固定させます。このとき、力をかけすぎると本商品および壁が破損する恐れがありますので注意してください。

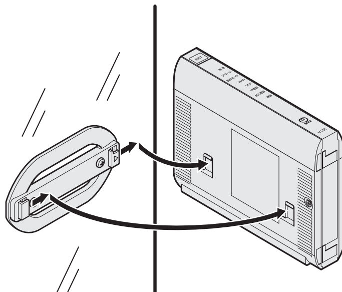


お願い

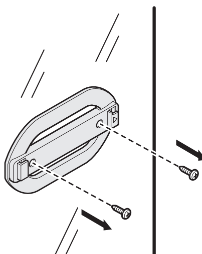
- 壁掛けの場合、壁掛け面を除く上下左右に空間を作って設置してください。（☛1-9ページ）
- 壁掛け時には落下すると危険ですので、大きな衝撃や振動などが加わる場所には設置しないでください。
- 壁掛け設置されている状態でケーブルの接続などを行う際には、落下すると危険ですので必ず本商品本体を手で支えながら行ってください。
- 本商品が落下すると危険ですので、ベニヤ板などのやわらかい壁への壁掛け設置は避け、確実に固定できる場所に設置してください。
- 無線LAN をご利用になるときは、壁に本商品を取り付ける前に無線LAN カードを装着してください。
- 本商品の拡張カードスロットの上にコインなどの小さな物を置かないでください。
  重みで拡張カードスロットのカバーが開き、本商品の中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■取り外しかた

①本商品をスライドして取り外します。このとき、力をかけすぎると本商品および壁が破損するおそれがありますのでご注意ください。



②付属の壁掛け設置用ネジを壁から取り外し、付属の縦置き／壁掛け共用スタンドを取り外します。



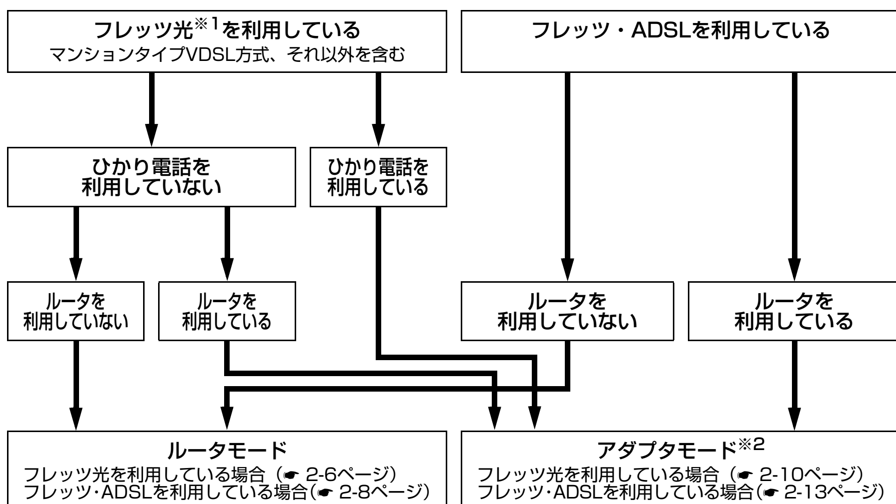
2 本商品の動作モードについて

本商品の設置・接続をします。

2-1 動作モードとは

動作モードとは、お客様のネットワーク環境によって本商品を使い分けてご利用いただくために本商品に搭載されている機能です。
ご利用いただける動作モードは、IP電話対応ブロードバンドルータとしてご利用いただけるルータモード、IP電話アダプタとしてご利用いただけるアダプタモードの2種類になります。動作モードによりご利用いただける機能が異なりますので、お客様のネットワーク環境をご確認いただき、動作モードを選択してください。

動作モード選択の流れ



※1 Bフレッツ、フレッツ 光ネクスト、フレッツ光プレミアム

※2 WAN側の接続機器はUPnPに対応している必要があります。

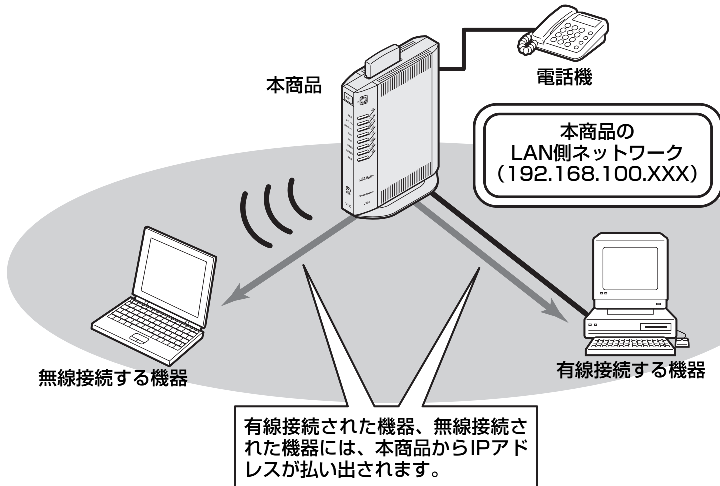
動作モードごとの利用可能な機能

機能名	ルータモード	アダプタモード	備考
PPPoE	○	×	アダプタモードでご利用の場合はPPPoEの設定は、WAN側に接続した機器で行ってください。
IP電話	○	○	−
無線機能	○※1	○※1	アダプタモードでご利用の場合は、無線LANアクセスポイントとしてご利用いただけます。
バージョンアップ（ファームウェア更新）	○	○	−

※1 当社指定の無線LANカードをご利用ください。当社指定以外の無線LANカードを装着すると本商品が再起動を繰り返し、使用できません。

動作モードごとの動作

■ルータモードの動作

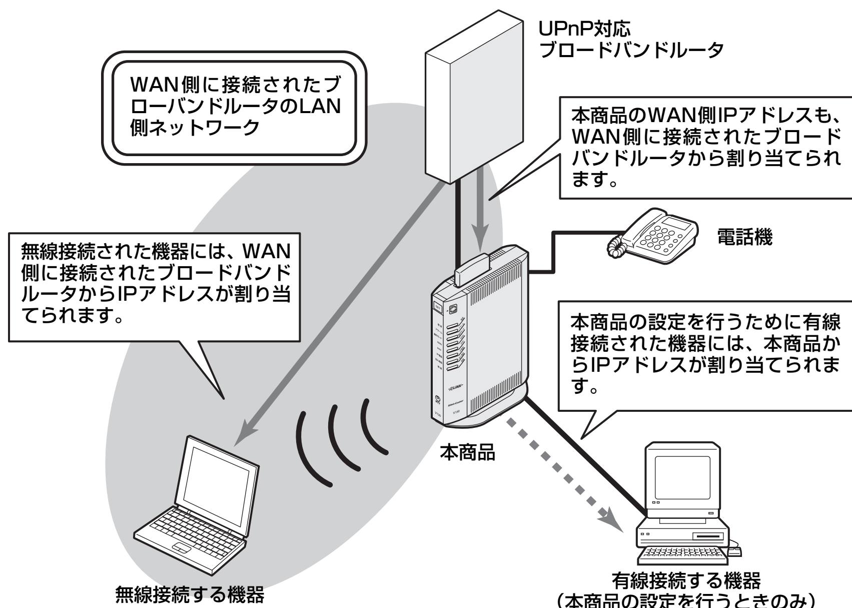


● 本商品に有線接続された機器および無線接続された機器は本商品からIPアドレスが割り当てられます。割り当てられるIPアドレスは、本商品のLAN側ネットワークアドレス体系に属します。
(初期値は192.168.100.XXX)

● 本商品はブロードバンドルータとして動作し、有線接続された機器または無線接続された機器からインターネットをご利用になる場合は、本商品のルータ機能を利用します。

■アダプタモードの動作

UPnP対応機器としてUPnP対応ブロードバンドルータをWAN側に接続した場合の例を示します。



●本商品に無線接続された機器には、WAN側に接続されたブロードバンドルータからIPアドレスが割り当てられます。割り当てられるIPアドレスは、WAN側に接続されたブロードバンドルータのLAN側ネットワーク体系に属します。

●本商品のWAN側IPアドレスもWAN側に接続されたブロードバンドルータから割り当てられます。

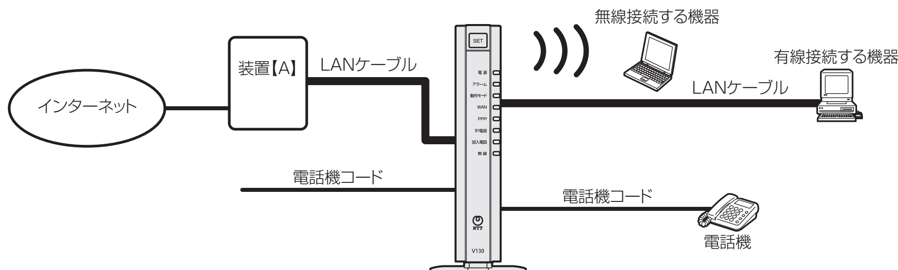
●本商品の設定を行うために有線接続された機器には、本商品からIPアドレスが割り当てられます。

●本商品は無線LANアクセスポイント(ブリッジ)として動作し、無線接続された機器からインターネットをご利用になる場合は、本商品のWAN側に接続されたブロードバンドルータのルータ機能を利用します。

2-2 ルータモードでの接続

ルータモードでご利用いただけるネットワーク環境例

本商品を直接装置【A】（回線終端装置など）に接続してご利用する場合、ルータモードでご利用いただけます。



装置【A】の種別

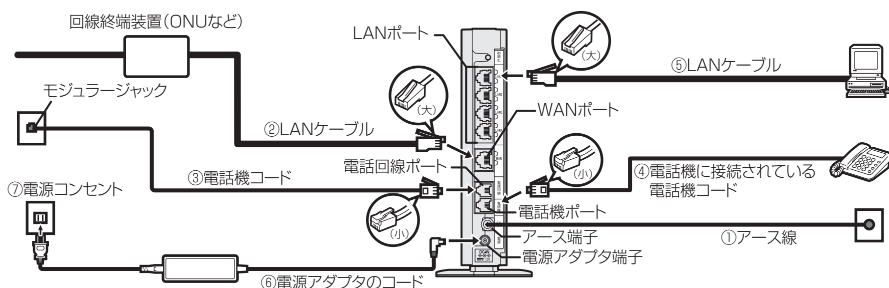
・フレッツ光（マンションタイプVDSL方式以外）：回線終端装置（ONU）
・フレッツ光（マンションタイプVDSL方式）：VDSLモデム
・フレッツ・ADSL：ADSLモデム

回線に接続する

本商品を回線に接続します。
ご利用の装置【A】の種別によって接続方法が異なります。ご利用の種別にあわせて接続してください。

●フレッツ光（マンションタイプVDSL方式以外）（☛ 2-6ページ）
●フレッツ光（マンションタイプVDSL方式）（☛ 2-7ページ）
●フレッツ・ADSL（☛ 2-8ページ）

フレッツ光（マンションタイプVDSL方式以外）



①アース線を接続する
アース線は付属されていません。別途ご準備ください。

②本商品のWANポートと回線終端装置（ONUなど）をLAN ケーブルで接続する
※本商品と回線終端装置（ONU）の間にルータを接続してご使用になることはできません。

③本商品の電話回線ポートと壁のモジュラージャックを電話機コードで接続する
※本商品の「回線ダイヤルモード」設定は「自動」(初期値)に設定されています。
加入電話をご利用になる場合は、必ず本商品の電源を入れる前にモジュラージャックと本商品の電話回線ポートを電話機コードで接続してください。

④電話機を接続する
本商品の電話機ポートと電話機を接続します。

⑤パソコンを接続する
本商品のLANポートとパソコンをLANケーブルで接続します。
パソコン、本商品ともに電源を切った状態で取り付けてください。

⑥電源アダプタのコードを電源アダプタ端子に接続する

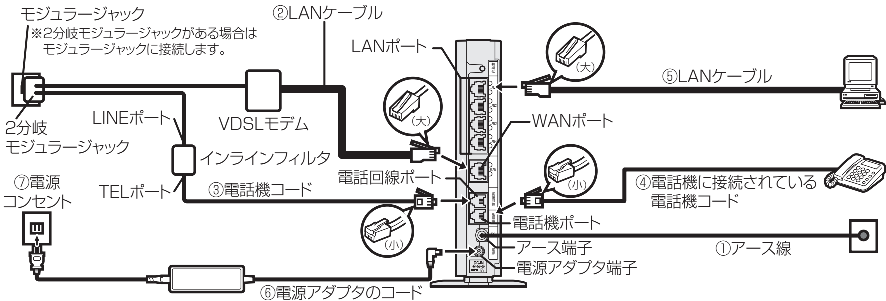
⑦電源アダプタ（電源プラグ）を壁などの電源コンセントに接続する
本商品前面のランプが一度全点灯します。

⑧動作モードランプが緑点灯することを確認する

 **お知らせ**

- ●使用する機器や設置する場所などの使用状況に合わせる必要があるため、接続図と異なる場合があります。
- ●電話機ポートには、電話機を並列接続しないでください。
- ●ご使用になる電話機は電気通信端末機器適合マーク「Ⓣ」または「㊜」がついているものをご使用ください。
- ●ホームテレホンの内線電話機やISDN対応電話機などは直接接続できません。
- ●電話機コード、LANケーブルは、接続図にしたがって接続してください。
- ●電源アダプタは、必ず本商品に付属のものをご利用ください。

フレッツ光（マンションタイプVDSL方式）



①アース線を接続する

アース線は付属されていません。別途ご準備ください。

②本商品のWANポートとVDSLモデムをLAN ケーブルで接続する

※VDSLモデムの設定方法は各VDSLモデムの取扱説明書などを参照してください。
※本商品とVDSLモデムの間にルータを接続してご使用になることはできません。

③本商品の電話回線ポートとインラインフィルタのTELポートを電話機コードで接続する

※本商品の「回線ダイヤルモード」設定は「自動」(初期値)に設定されています。
加入電話をご利用になる場合は、必ず本商品の電源を入れる前にインラインフィルタのTELポートと本商品の電話回線ポートを電話機コードで接続してください。

④電話機を接続する

本商品の電話機ポートと電話機を接続します。

⑤パソコンを接続する

本商品のLANポートとパソコンをLANケーブルで接続します。
パソコン、本商品ともに電源を切った状態で取り付けてください。

⑥電源アダプタのコードを電源アダプタ端子に接続する

⑦電源アダプタ（電源プラグ）を壁などの電源コンセントに接続する

本商品前面のランプが一度全点灯します。

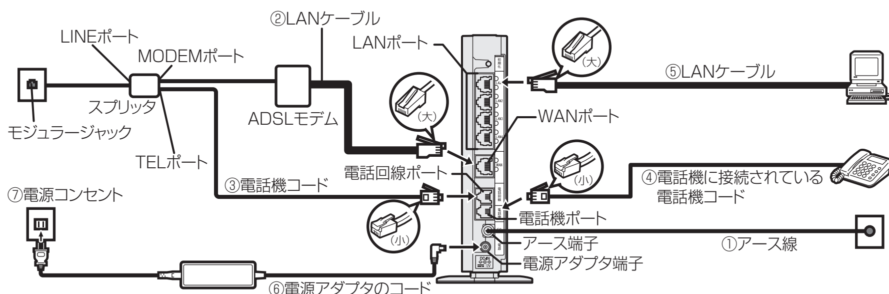
⑧動作モードランプが緑点灯することを確認する



お知らせ

●使用する機器や設置する場所などの使用状況に合わせる必要があるため、接続図と異なる場合があります。
●電話機ポートには、電話機を並列接続しないでください。
●ご使用になる電話機は電気通信端末機器適合マーク「Ⓣ」または「[illegible]」がついているものをご使用ください。
●ホームテレホンの内線電話機やISDN対応電話機などは直接接続できません。
●電話機コード、LANケーブルは、接続図にしたがって接続してください。
●電源アダプタは、必ず本商品に付属のものをご利用ください。

フレッツ・ADSL



①アース線を接続する

アース線は付属されていません。別途ご準備ください。

②本商品のWANポートとADSLモデムをLAN ケーブルで接続する

※ADSLモデムの設定方法は各ADSLモデムの取扱説明書などを参照してください。
※本商品とADSLモデムの間にルータを接続してご使用になることはできません。

③本商品の電話回線ポートとスプリッタのTELポートを電話機コードで接続する

※本商品の「回線ダイヤルモード」設定は「自動」(初期値)に設定されています。
加入電話をご利用になる場合は、必ず本商品の電源を入れる前にスプリッタのTELポートと本商品の電話回線ポートを電話機コードで接続してください。

④電話機を接続する

本商品の電話機ポートと電話機を接続します。

⑤パソコンを接続する

本商品のLANポートとパソコンをLANケーブルで接続します。
パソコン、本商品ともに電源を切った状態で取り付けてください。

⑥電源アダプタのコードを電源アダプタ端子に接続する

⑦電源アダプタ(電源プラグ)を壁などの電源コンセントに接続する

本商品前面のランプが一度全点灯します。

⑧動作モードランプが緑点灯することを確認する



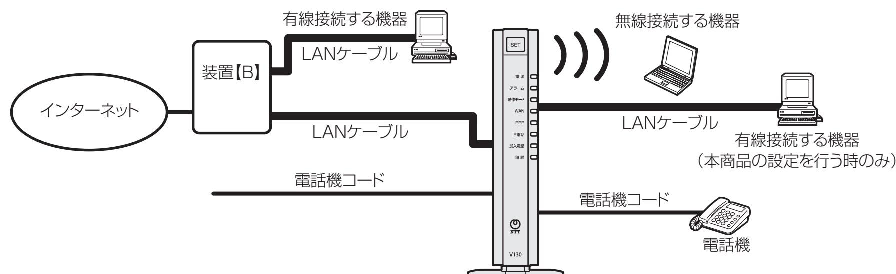
お知らせ

- ●使用する機器や設置する場所などの使用状況に合わせる必要があるため、接続図と異なる場合があります。
- ●電話機ポートには、電話機を並列接続しないでください。
- ●ご使用になる電話機は電気通信端末機器適合マーク「Ⓣ」または「㊦」がついているものをご使用ください。
- ●ホームテレホンの内線電話機やISDN対応電話機などは直接接続できません。
- ●電話機コード、LANケーブルは、接続図にしたがって接続してください。
- ●電源アダプタは、必ず本商品に付属のものをご利用ください。

2-3 アダプタモードでの接続

アダプタモードでご利用いただけるネットワーク環境例

本商品をインターネット接続の設定がされている装置【B】（ひかり電話対応ルータなど）に接続してご利用する場合、アダプタモードでご利用いただけます。



装置【B】の種別

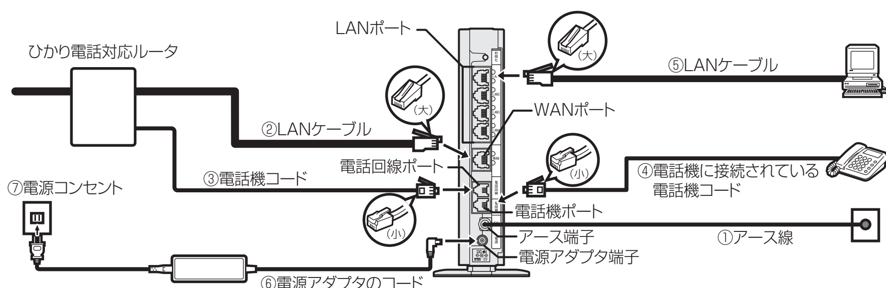
・フレッツ光（ひかり電話を利用している場合）：ひかり電話対応ルータ
・フレッツ光（ひかり電話を利用していない場合）：ルータなど※1
・フレッツ光プレミアム：CTU
・フレッツ・ADSL：ADSLモデム内蔵ブロードバンドルータなど
※1 WAN側の接続機器はUPnPに対応している必要があります。

回線に接続する

本商品を回線に接続します。
ご利用の装置【B】の種別によって接続方法が異なります。ご利用の種別にあわせて接続してください。

●フレッツ光（ひかり電話を利用している場合）（☛ 2-10ページ）
●フレッツ光（ひかり電話を利用していない場合）（☛ 2-11ページ）
●フレッツ光プレミアム（☛ 2-12ページ）
●フレッツ・ADSL（☛ 2-13ページ）

フレッツ光（ひかり電話を利用している場合）



①アース線を接続する

アース線は付属されていません。別途ご準備ください。

②本商品のWANポートとひかり電話対応ルータのLANポートをLANケーブルで接続する

③本商品の電話回線ポートとひかり電話対応ルータの電話機ポートを電話機コードで接続する

※本商品の「回線ダイヤルモード」設定は「自動」(初期値)に設定されています。
加入電話をご利用になる場合は、必ず本商品の電源を入れる前にひかり電話対応ルータの電話機ポートと本商品の電話回線ポートを電話機コードで接続してください。

④電話機を接続する

本商品の電話機ポートと電話機を接続します。

⑤パソコンを接続する

本商品のLANポートとパソコンをLANケーブルで接続します。
パソコン、本商品ともに電源を切った状態で取り付けてください。

⑥電源アダプタのコードを電源アダプタ端子に接続する

⑦電源アダプタ（電源プラグ）を壁などの電源コンセントに接続する

本商品前面のランプが一度全点灯します。

⑧動作モードランプが緑点灯することを確認する

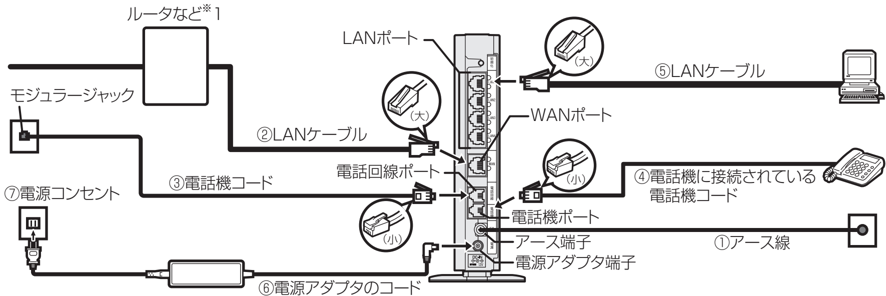
※アダプタモードでご利用になる場合は、動作モードの変更をしてください。（☛ 2-14ページ）
アダプタモードに変更すると、動作モードランプは橙点灯に変わります。



お知らせ

- ●使用する機器や設置する場所などの使用状況に合わせる必要があるため、接続図と異なる場合があります。
- ●電話機ポートには、電話機を並列接続しないでください。
- ●ご使用になる電話機は電気通信端末機器適合マーク「Ⓣ」または「㊤」がついているものをご使用ください。
- ●ホームテレホンの内線電話機やISDN対応電話機などは直接接続できません。
- ●電話機コード、LANケーブルは、接続図にしたがって接続してください。
- ●電源アダプタは、必ず本商品に付属のものをご利用ください。

フレッツ光（ひかり電話を利用していない場合）



※1 WAN側の接続機器はUPnPに対応している必要があります。

①アース線を接続する
アース線は付属されていません。別途ご準備ください。

②本商品のWANポートとルータなどのLANポートをLAN ケーブルで接続する

③本商品の電話回線ポートと壁のモジュラージャックを電話機コードで接続する
※本商品の「回線ダイヤルモード」設定は「自動」(初期値)に設定されています。
加入電話をご利用になる場合は、必ず本商品の電源を入れる前にモジュラージャックと本商品の電話回線ポートを電話機コードで接続してください。

④電話機を接続する
本商品の電話機ポートと電話機を接続します。

⑤パソコンを接続する
本商品のLANポートとパソコンをLANケーブルで接続します。
パソコン、本商品ともに電源を切った状態で取り付けてください。

⑥電源アダプタのコードを電源アダプタ端子に接続する

⑦電源アダプタ（電源プラグ）を壁などの電源コンセントに接続する
本商品前面のランプが一度全点灯します。

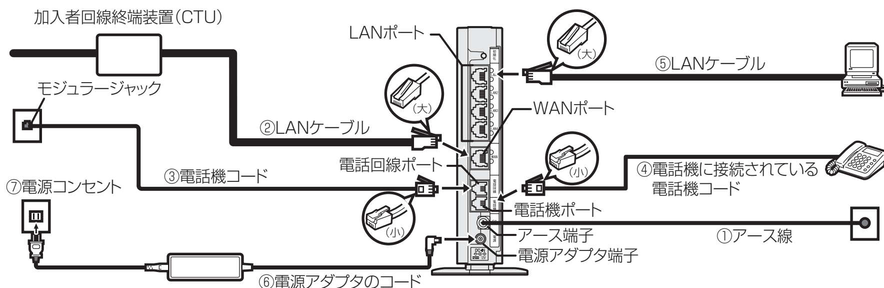
⑧動作モードランプが緑点灯することを確認する

※アダプタモードでご利用になる場合は、動作モードの変更をしてください。(☛ 2-14ページ)
アダプタモードに変更すると、動作モードランプは橙点灯に変わります。


お知らせ

●使用する機器や設置する場所などの使用状況に合わせる必要があるため、接続図と異なる場合があります。
●電話機ポートには、電話機を並列接続しないでください。
●ご使用になる電話機は電気通信端末機器適合マーク「㊦」または「㊦」がついているものをご使用ください。
●ホームテレホンの内線電話機やISDN対応電話機などは直接接続できません。
●電話機コード、LANケーブルは、接続図にしたがって接続してください。
●電源アダプタは、必ず本商品に付属のものをご利用ください。

フレッツ光プレミアム



①アース線を接続する

アース線は付属されていません。別途ご準備ください。

②本商品のWANポートと加入者回線終端装置(CTU)をLANケーブルで接続する

③本商品の電話回線ポートと壁のモジュラージャックを電話機コードで接続する

※本商品の「回線ダイヤルモード」設定は「自動」(初期値)に設定されています。
加入電話をご利用になる場合は、必ず本商品の電源を入れる前にモジュラージャックと本商品の電話回線ポートを電話機コードで接続してください。

④電話機を接続する

本商品の電話機ポートと電話機を接続します。

⑤パソコンを接続する

本商品のLANポートとパソコンをLANケーブルで接続します。
パソコン、本商品ともに電源を切った状態で取り付けてください。

⑥電源アダプタのコードを電源アダプタ端子に接続する

⑦電源アダプタ(電源プラグ)を壁などの電源コンセントに接続する

本商品前面のランプが一度全点灯します。

⑧動作モードランプが緑点灯することを確認する

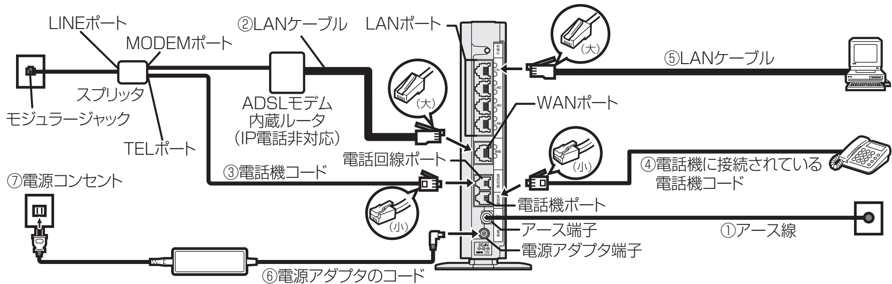
※アダプタモードでご利用になる場合は、動作モードの変更をしてください。(☛ 2-14ページ)
アダプタモードに変更すると、動作モードランプは橙点灯に変わります。



お知らせ

- ●使用する機器や設置する場所などの使用状況に合わせる必要があるため、接続図と異なる場合があります。
- ●電話機ポートには、電話機を並列接続しないでください。
- ●ご使用になる電話機は電気通信端末機器適合マーク「Ⓣ」または「㊏」がついているものをご使用ください。
- ●ホームテレホンの内線電話機やISDN対応電話機などは直接接続できません。
- ●電話機コード、LANケーブルは、接続図にしたがって接続してください。
- ●電源アダプタは、必ず本商品に付属のものをご利用ください。

フレッツ・ADSL



①アース線を接続する

アース線は付属されていません。別途ご準備ください。

②本商品のWANポートとADSLモデム内蔵ルータ（IP電話非対応）をLANケーブルで接続する

③本商品の電話回線ポートとスプリッタのTELポートを電話機コードで接続する

※本商品の「回線ダイヤルモード」設定は「自動」(初期値)に設定されています。
加入電話をご利用になる場合は、必ず本商品の電源を入れる前にスプリッタのTELポートと本商品の電話回線ポートを電話機コードで接続してください。

④電話機を接続する

本商品の電話機ポートと電話機を接続します。

⑤パソコンを接続する

本商品のLANポートとパソコンをLANケーブルで接続します。
パソコン、本商品ともに電源を切った状態で取り付けてください。

⑥電源アダプタのコードを電源アダプタ端子に接続する

⑦電源アダプタ（電源プラグ）を壁などの電源コンセントに接続する

本商品前面のランプが一度全点灯します。

⑧動作モードランプが緑点灯することを確認する

※アダプタモードでご利用になる場合は、動作モードの変更をしてください。（☛ 2-14ページ）
アダプタモードに変更すると、動作モードランプは橙点灯に変わります。

お知らせ

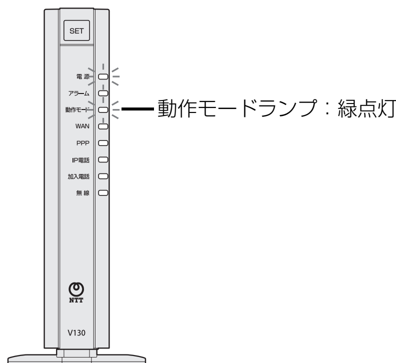
- ●使用する機器や設置する場所などの使用状況に合わせる必要があるため、接続図と異なる場合があります。
- ●電話機ポートには、電話機を並列接続しないでください。
- ●ご使用になる電話機は電気通信端末機器適合マーク「Ⓣ」または「㊤」がついているものをご使用ください。
- ●ホームテレホンの内線電話機やISDN対応電話機などは直接接続できません。
- ●電話機コード、LANケーブルは、接続図にしたがって接続してください。
- ●電源アダプタは、必ず本商品に付属のものをご利用ください。

2-4 動作モードの確認・変更方法

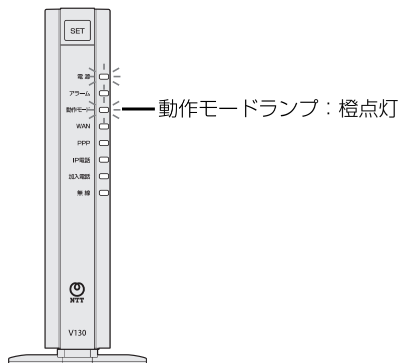
動作モードを確認する

本商品の動作モードは、本商品前面の動作ランプの色によって判別できます。
工場出荷時は、ルータモードに設定されています。

●ルータモードの場合



●アダプタモードの場合



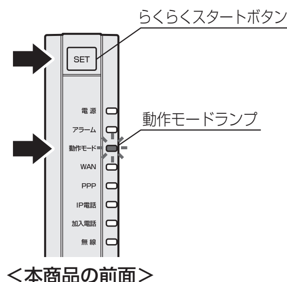
動作モードを変更する

本商品前面の「らくらくスタートボタン」を使用して、本商品の動作モードを変更することができます。

1 本商品の電源アダプタ（電源プラグ)を電源コンセントから抜く

2 10秒以上たってから、「らくらくスタートボタン」を押したまま、電源アダプタ（電源プラグ）を接続する（動作モードランプが緑/橙の交互点滅をするまで押し続ける。）

起動後、動作モードランプが緑点灯（ルータモードの場合）もしくは、橙点灯（アダプタモードの場合）になれば動作モードの変更は完了です。



<本商品の前面>

※ 動作モードの変更が完了するまで本商品の電源アダプタは絶対に抜かないでください。
故障の原因となることがあります。

2-5 パソコンのネットワークの設定をする（Windows® 7）

本商品に接続するパソコンのネットワークの設定をします。
パソコンのネットワークの設定が初期状態の場合は、パソコンの設定は必要ありません。

パソコンのネットワークの設定をする（Windows® 7）

Windows® 7の設定により表示内容が異なる場合があります。

1 ［スタート］（Windows®のロゴボタン）－［コントロールパネル］を選択する

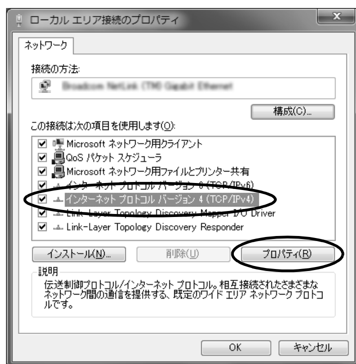
2 ［ネットワークとインターネット］をクリックし、［ネットワークと共有センター］をクリックする

3 ［アダプターの設定の変更］をクリックする

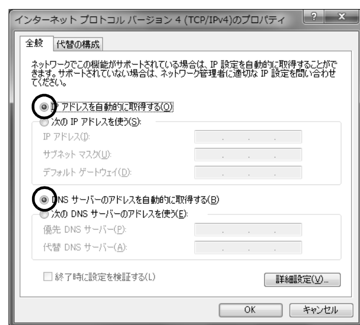
4 ［ローカルエリア接続］アイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックする

※［ユーザーアカウント制御］画面が表示された場合は、［はい］をクリックします。

5 ［インターネットプロトコルバージョン4（TCP/IPv4）］を選択し、［プロパティ］をクリックする



6 ［IP アドレスを自動的に取得する］と［DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する］を選択する



7 ［OK］をクリックする

8 ［OK］または［閉じる］をクリックする



お知らせ

●本書では、Windows® 7の通常表示モード（コントロールパネルホーム）を前提に記載しています。

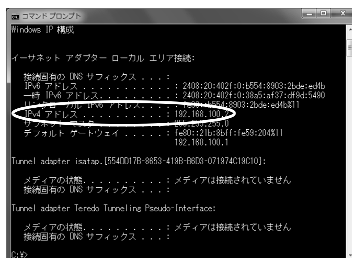
パソコンとの接続を確認をする（Windows® 7）

1 本商品背面のLAN（LINK）ランプが緑点灯していることを確認する

2 パソコンの［スタート］（Windows®のロゴボタン）－［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］を実行する

3 ［コマンドプロンプト］の画面が表示されたら、「ipconfig /renew」と入力し、［Enter］キーを押す

4 ［イーサネット　アダプター ローカルエリア接続：］が表示され、IPv4アドレスが［192.168.100.xxx］になっていることを確認する（xxxは2～254の数字です。）



5 「exit」と入力し、［Enter］キーを押す

Webブラウザの設定をする（Windows® 共通）

Webブラウザの接続設定を「ダイヤルしない」、「プロキシサーバーを使用しない」に設定します。
以下は、Windows® 7でInternet Explorer® 8.0を使用している場合の例です。

1 [スタート]（Windows®のロゴボタン）－［コントロールパネル］を選択する

> Windows® 2000の場合
> ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択します。

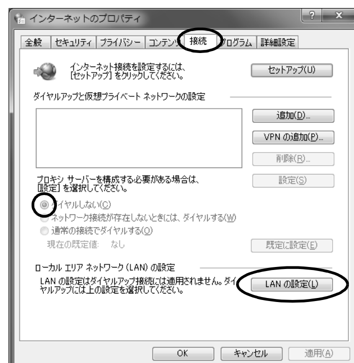
2 ［ネットワークとインターネット］をクリックし、［インターネットオプション］をクリックする

> Windows® XPの場合
> ［ネットワークとインターネット接続］をクリックし、［インターネットオプション］をクリックします。

> Windows® 2000の場合
> ［インターネットオプション］アイコンをダブルクリックします。

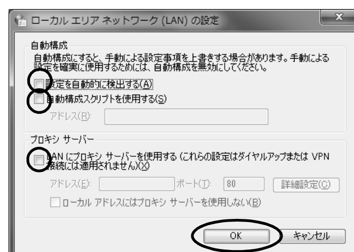
3 ［接続］タブをクリックし、リストにダイヤルアップの設定がある場合は「ダイヤルしない」を選択する

4 ［LANの設定］をクリックする



5 ［設定を自動的に検出する］、［自動構成スクリプトを使用する］、［LANにプロキシサーバーを使用する］のチェックを外し、［OK］をクリックする

プロバイダからプロキシの設定指示があった場合は、したがってください。



6 ［OK］をクリックする

以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。

2 本商品の動作モードについて

JavaScriptの設定をする（Windows® 共通）

Webブラウザで設定を行うにはJavaScriptの設定を有効にする必要があります。
※Webブラウザの設定でセキュリティを「高」に設定した場合、本商品の設定が正しく行えない場合があります。設定ができない場合は、以下の手順でJavaScriptを「有効にする」に設定してください。

以下は、Windows® 7 でInternet Explorer® 8.0を使用している場合の例です。

1 ［スタート］（Windows®のロゴボタン）－［コントロールパネル］を選択する

> **Windows® 2000の場合**
> ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択します。

2 ［ネットワークとインターネット］をクリックし、［インターネットオプション］をクリックする

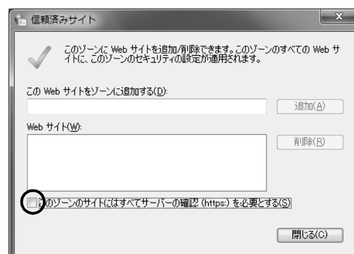
> **Windows® XPの場合**
> ［ネットワークとインターネット接続］をクリックし、［インターネットオプション］をクリックします。

> **Windows® 2000の場合**
> ［インターネットオプション］アイコンをダブルクリックします。

3 ［セキュリティ］タブをクリックし、［信頼済みサイト］をクリックする

4 ［サイト］をクリックする

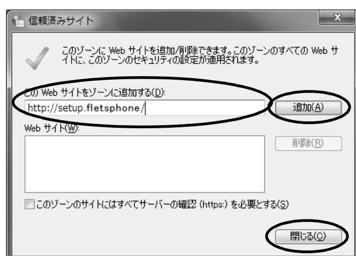
5 ［このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認(https:)を必要とする］のチェックを外す



6 [このWebサイトをゾーンに追加する] に「http://setup.fletsphone/」もしくは本商品のIPアドレス「http://192.168.100.1/」（工場出荷時）を入力して [追加] をクリックし、[閉じる] をクリックする

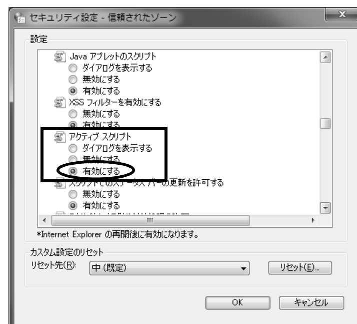
Windows® 2000の場合
[次のWebサイトをゾーンに追加する] に「http://setup.fletsphone/」もしくは本商品のIPアドレス「http://192.168.100.1/」（工場出荷時）を入力して [追加] をクリックし、[OK] をクリックします。

※IPアドレス（工場出荷時は192.168.100.1）を入力して設定画面を開く場合には、IPアドレスを入力します。
（例：「192.168.100.1」）

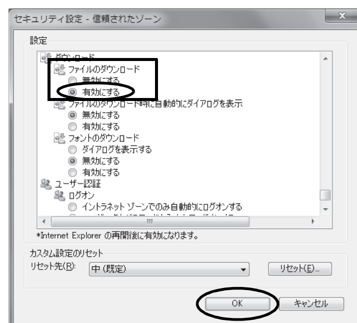


7 [レベルのカスタマイズ] をクリックする

8 画面をスクロールし、[アクティブスクリプト] を [有効にする] に変更する



9 画面をスクロールし、[ファイルのダウンロード] を [有効にする] に変更し、[OK] をクリックする



10 [はい] をクリックする

11 [適用] をクリックする

12 [OK] をクリックする

3

インターネットへの接続（ルータモードの場合）

この章では、インターネットへの接続方法を説明します。

※アダプタモードでご利用の場合は、WAN側に接続したルータのインターネット設定をしてください。

3

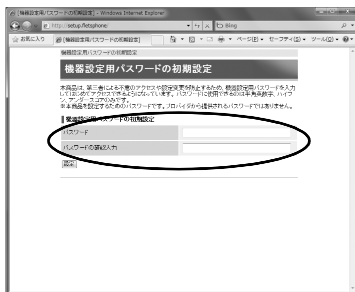
3-1 本商品の設定をする

Webブラウザ（Internet Explorer®など）を使って本商品の基本的な設定をすることができます。
Webブラウザ（Internet Explorer®など）で設定を行う場合は、あらかじめ本商品とパソコンなど使用する機器を接続しておきましょう。
設定画面が開けない場合には、『2-5　パソコンのネットワークの設定をする（Windows® 7）』（☛ 2-15ページ）をご覧のうえ、パソコンとの接続を確認してください。

1 Webブラウザを起動し、「http://setup.fletsphone/」もしくは本商品のIPアドレス「http://192.168.100.1/」（工場出荷時）と入力し、「Web設定」ページを開く

2 機器設定用パスワードの初期設定を行う

パスワードに使用できる文字は0～9、a～z、A～Z、-（ハイフン）、_（アンダースコア）です。
最大半角64文字まで設定できます。





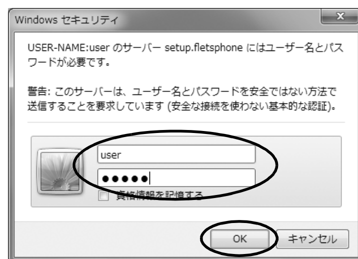
機器設定用パスワードは、本商品を設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。

機器設定用パスワード

機器設定用パスワードは上記の表に記入しておくことをお勧めします。
忘れた場合は、本商品を初期化して設定を初めからやり直してください。（☛ 8-13ページ）
機器設定用パスワードは第三者に推測されにくいパスワードを登録してください。
パスワードはお客様にて厳重に管理してください。

3 ［設定］をクリックする

4 ユーザー名に「user」を、パスワードに手順2で入力した機器設定用パスワードを入力し［OK］をクリックする



5 プロバイダ情報にしたがって接続先ユーザ名、接続パスワードを入力する



接続先ユーザ名：
　プロバイダの資料にしたがって、接続先ユーザ名を入力します。
　例：xxxxx@xxxxx.ne.jp

接続パスワード：
　プロバイダの資料にしたがって、接続パスワードを入力します。
　※接続先ユーザ名、接続パスワードに使用できるのは、半角の英数字と記号で最大128文字までです。

6 ［設定］をクリックする

以降画面にしたがってWebブラウザを終了させてください。



お知らせ

- 前ページの手順で設定された接続先ユーザ名、接続パスワードは「接続設定1」に設定されます。「接続設定1」の接続モードは「常時接続」に設定されています。
- プロバイダから DNS サーバアドレスを設定するよう案内されている場合は、「機能詳細ガイド」をご覧ください。
- 前ページからの手順2～6は本商品が工場出荷状態にある場合のみ実行可能です。初期設定後に、設定内容の確認や変更のため「Web設定」を開く際は、機器設定用パスワードの入力が必要となります。手順2で設定した機器設定用パスワードを入力してログインしてください。
- 説明に使用している画面表示は、お使いのWebブラウザやお使いのOSによって異なります。
- 対応するブラウザについては「対応OSの確認とWebブラウザの準備」（☛ 1-8ページ）をご覧ください。
- 「Web設定」の画面デザインは変更になることがあります。
- 機器設定用パスワードは、本商品を設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。

機器設定用パスワード＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
機器設定用パスワードは上記の下線の箇所に記載しておくことをお勧めします。
忘れた場合は、本商品を初期化して設定を初めからやり直してください。
（☛ 8-13ページ）

3-2 インターネットに接続する

Webブラウザを使用してインターネットに接続してみましょう。

1 **Webブラウザ（Internet Explorer®など）を起動する**

本商品のPPPランプが点灯していることを確認してから起動してください。

2 **インターネット上のホームページを開く**



お知らせ

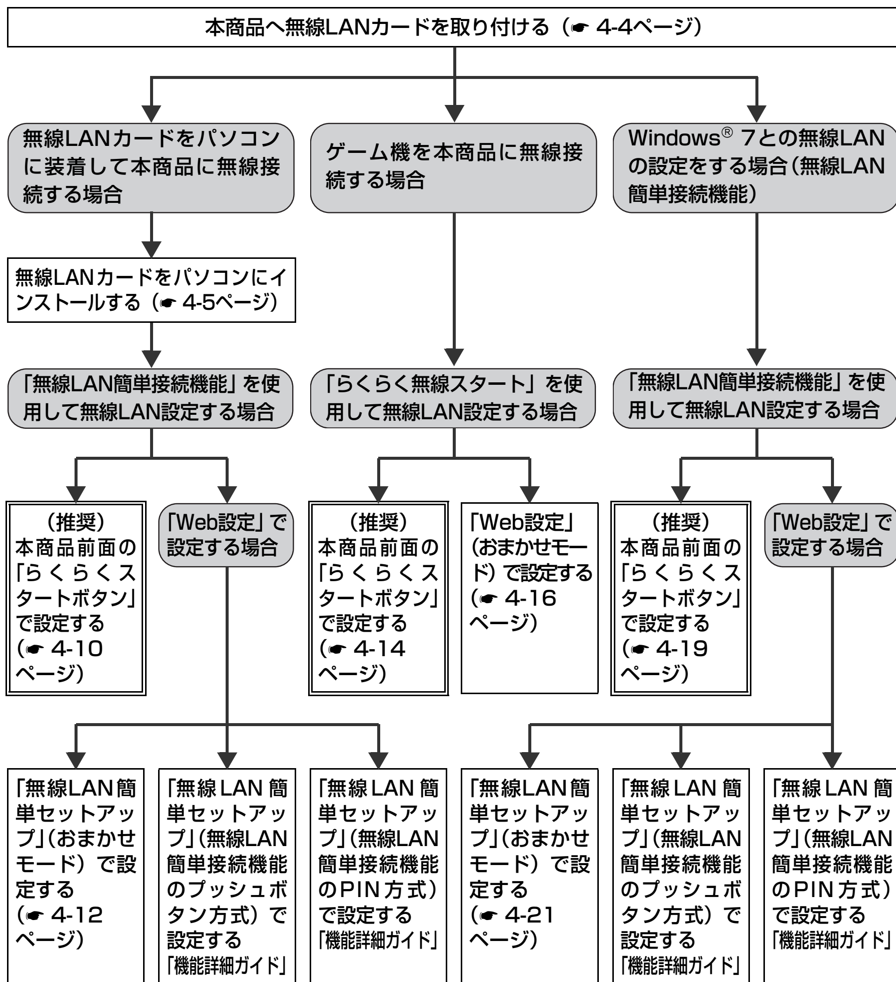
●PPPoEブリッジ機能でのみ接続している場合は、PPPランプおよびIP電話ランプは点灯しません。WANランプが緑点灯していることを確認してください。
●接続モードを要求時接続に設定してる場合、無通信時にはPPPランプが消灯していますので、WANランプが緑点灯していることを確認してください。
●インターネット接続用の接続先が接続されていなくても、他の接続先が接続されていればPPPランプは点灯しますのでご注意ください。
●本商品では、PPPoEマルチセッション機能を利用して1回線で複数の接続先へ同時に接続することができます。設定方法の詳細については、「機能詳細ガイド」をご覧ください。

4 無線LANのご利用について

無線LANをご利用になる場合はこちらをご覧ください。

4-1 無線LAN設定の流れ

本商品で無線LAN をご利用になるには次の手順で設定を行ってください。



おまかせモードを起動すると、設定する無線LAN端末の設定モードに合わせて、「無線LAN簡単接続機能（プッシュボタン方式）」または「らくらく無線スタート」で設定を開始します。本書では、おまかせモードを使用した設定方法を記載しています。

STOP **お願い**

●手動で無線LAN設定を行う手順については、「機能詳細ガイド」の「Web設定の使いかた」の「無線LAN設定」を参照してください。

無線ネットワーク名（SSID）と暗号化の設定内容

本商品の工場出荷状態では①SSID-1、②SSID-2の値がそれぞれSSID-1、SSID-2に設定されています。

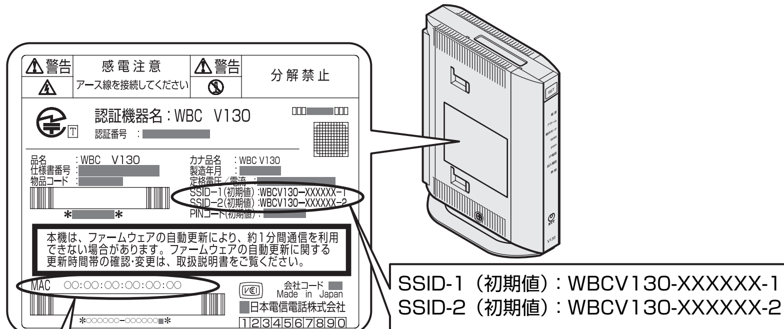
①SSID-1

無線ネットワーク名（SSID）	WBCV130-XXXXXX-1 （XXXXXXは本商品のWAN側のMACアドレスの下6桁）
無線の暗号化方式	WPA-PSK（TKIP）
事前共有キー（PSK）	○○○○○○○○○○○○Z （○○○○○○○○○○○○は、本商品のWAN側のMACアドレス12桁、Zは半角文字）

②SSID-2

無線ネットワーク名（SSID）	WBCV130-XXXXXX-2 （XXXXXXは本商品のWAN側のMACアドレスの下6桁）
無線の暗号化方式	WEP（128bit）
使用するWEPキー （キーインデックス）	WEPキー 1
WEPキー 1	○○○○○○○○○○○○Z （○○○○○○○○○○○○は、本商品のWAN側のMACアドレス12桁、Zは半角文字）

※本商品のMACアドレスは、本商品側面を確認してください。



※イラストとデザインが異なる場合があります。

MACアドレス
○○：○○：○○：○○：○○：○○



暗号化キー
○○○○○○○○○○○○Z
（○○○○○○○○○○○○は、本商品のWAN側のMACアドレス12桁、Zは半角文字）

4-2 本商品への無線LANカードの取り付け

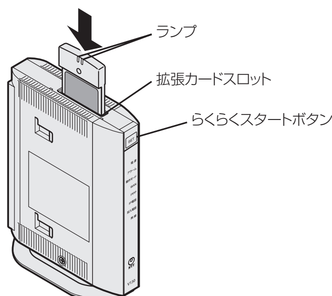
本商品の拡張カードスロットに無線LANカード「SC-32NE」、「Web Caster FT-STC-Na/g」のいずれかを装着することにより、無線LAN機能をご利用になれます。
本書ではSC-32NEを例に記載しています。Web Caster FT-STC-Na/gの場合も手順は同様です。

- ●装着の際は、本商品の電源を切った状態で取り付けてください。
- ●本商品に装着できる無線LANカードは「SC-32NE」、「Web Caster FT-STC-Na/g」のみです。「SC-32NE」、「Web Caster FT-STC-Na/g」以外の無線LANカードを装着すると、本商品が再起動を繰り返し、使用できません。
- ●パソコンに無線LANカードを装着して本商品で無線LAN機能を使用される場合には、パソコンのLANカードまたはLANボード機能を停止させないと無線LANカードが使用できない場合があります。無線LANカードの取扱説明書をご覧ください。

1 本商品の電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜く

2 無線LAN カード「SC-32NE」を拡張カードスロットの奥まで確実に装着する

無線LANカードは図の通り、本商品前面の「らくらくスタートボタン」を右側にして無線LANカードのランプが見える方向で正しく装着してください。誤った方向で装着すると本商品や無線LANカードが破損する場合があります。
※装着の際は、本商品の電源を切った状態で取り付けてください。



3 本商品の電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントに接続する

無線LANカードのPWRランプとACTランプが同時に緑点滅することを確認してください。

無線LAN カードを取り外すときのご注意

本商品から無線LAN カードを取り外すときは、本商品の電源を切った状態で取り外してください。

STOP お願い

●電源を入れたまま無線LANカードの抜き差しを行わないでください。
※電源を入れたまま無線LANカードの抜き差しを行うと、本商品は再起動します。
※電源を入れたまま無線LANカードの抜き差しを行うと、本商品および装着した無線LANカードが故障する場合があります。
●電源を入れ直す際は、10秒以上の間隔を空けてください。

4-3 パソコンへ無線 LAN カードの設定をする

ここでは、Windows® 7 32ビット（x86）版、Windows Vista®（SP1/SP2を含む）32ビット（x86）版のパソコンにSC-32NEを接続してご使用になる場合を例に説明しています。Web Caster FT-STC-Na/gの場合も手順は同様です。

インストール

SC-32NEをパソコンで使用するには、「ドライバ」と「ユーティリティ」と呼ばれるソフトウェアをパソコンにインストールする必要があります。インストールは、SC-32NEに付属の「SC-32NE専用CD-ROM」（橙）をパソコンにセットして行います。
SC-32NEに付属の「SC-32NE専用CD-ROM」（橙）では、「ドライバ」およびSC-32NEを設定するための「SC-32設定用ユーティリティ」を、同時にパソコンにインストールします。

1 Windows® 7 または Windows Vista®を起動する

この時点では、SC-32NEをパソコンのPCカードスロットに装着しないでください。

2 付属の「SC-32NE専用CD-ROM」（橙）をCD-ROMドライブにセットする

> **Windows® 7の場合**
> ※［自動再生］画面が表示された場合は、[メディアからのプログラムのインストール/実行] に表示されたプログラムをクリックします。
> ※［ユーザーアカウント制御］画面が表示されたら［はい］をクリックします。

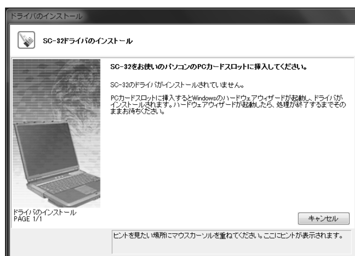
> **Windows Vista®の場合**
> ※［自動再生］画面が表示された場合は、[プログラムのインストール/実行] に表示されたプログラムをクリックします。
> ※［ユーザーアカウント制御］画面が表示されたら［続行］をクリックします。

3 SC-32NEのユーティリティやドライバをアンインストールする確認画面が表示された場合は［OK］をクリックする

4 ソフトウェア使用許諾契約書が表示されたら、内容をよくお読みのうえ、内容に同意される場合は［次へ］をクリックする

SC-32設定用ユーティリティのインストールが始まります。
README.txtが表示された場合は、ご確認ください。

5 SC-32設定用ユーティリティのインストールが完了すると、SC-32ドライバのインストール画面が表示されるので、パソコンのPC カードスロットにSC-32NEを装着する



画面は、Windows® 7のパソコンにSC-32NEを接続した場合の例です。
[ドライバのインストール］画面が表示されている間はそのまましばらくお待ちください。
ドライバのインストールが完了します。



お知らせ

●ドライバとは、SC-32NEまたはWeb Caster FT-STC-Na/gをパソコン上で正しく動作させるためのソフトウェアです。
●ユーティリティとは、無線ネットワーク名（SSID）または暗号化などの無線通信の設定を行うソフトウェアのことです。SC-32NEまたはWeb Caster FT-STC-Na/gのユーティリティの名称は、「SC-32設定用ユーティリティ」または「Web Caster FT-STC-Na/gユーティリティ」です。
●SC-32NEおよびWeb Caster FT-STC-Na/gは、Windows® 7 32ビット（x86）版、Windows Vista®（SP1/SP2を含む）32ビット（x86）版およびWindows® XP（SP2 以上）/2000（SP4）のみでご利用になれます。



お願い

●無線 LAN をご利用の場合、現在までご利用の無線 LAN カードドライバのアンインストールを実施してください。無線LANカードドライバのアンインストールは、各製品の取扱説明書などをご参照ください。
●Windows® 7、Windows Vista®およびWindows® XP/2000では、管理者権限を持つユーザ（Administratorなど）でログオンしてください。それ以外のユーザ名でログオンすると、正常にインストールできません。
●インストール時に起動中のソフトウェアがある場合は、データなどを保存してから、そのソフトウェアを終了させてください。
●インストール時にSC-32設定用ユーティリティまたはWeb Caster FT-STC-Na/gユーティリティ以外の無線ユーティリティが起動している場合は、その無線ユーティリティを終了のうえ、アンインストールしてください。

インストール完了の確認

ここでは、ドライバとユーティリティが正しくインストールされたかを確認する方法を説明します。
画面はWindows® 7のパソコンにSC-32NEを接続した場合の例です。

1 [スタート]（Windows®のロゴボタン）－［コントロールパネル］を選択する



Windows® 2000の場合
[スタート] － [設定] － [コントロールパネル] を選択します。

2 [システムとセキュリティ] をクリックする

Windows Vista®の場合
[システムとメンテナンス] をクリックし、[システム] をクリックします。

Windows® XPの場合
[パフォーマンスとメンテナンス] － [システム] の順にクリックし、[ハードウェア] タブをクリックします。

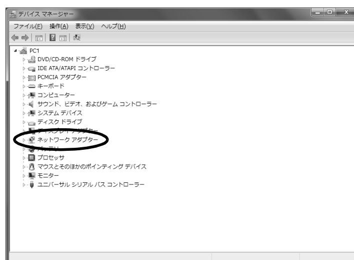
Windows® 2000の場合
[システム] アイコンをダブルクリックし、[ハードウェア] タブをクリックします。

3 [デバイスマネージャー] をクリックする

※Windows® 7/Windows Vista®の場合は、[ユーザーアカウント制御] 画面が表示されたら [続行] をクリックします。

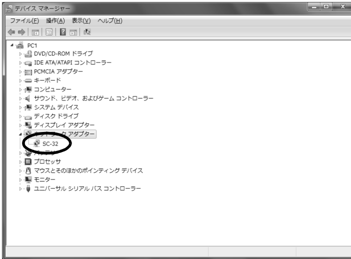


4 「ネットワークアダプター」をダブルクリックする



画面は、Windows® 7のパソコンにSC-32NEを接続した場合の例です。
「SC-32」が表示されます。

5 「SC-32」をダブルクリックする



画面は、Windows® 7のパソコンにSC-32NEを接続した場合の例です。

6 「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されていることを確認する



7 ［OK］をクリックする

以上でインストールの確認は終了です。

4-4 パソコンに装着した無線 LAN カードとの無線LANの設定をする(無線LAN簡単接続機能)

「無線LAN簡単接続機能」を使用して、無線LANカードを装着したパソコンと本商品を無線接続するための設定を行います。

本商品の「無線LAN簡単接続機能」の起動方法には、以下の方法があります。

●「らくらくスタートボタン」で設定する（☛下記）

●「Web設定」で設定する

- ・おまかせモード（らくらく無線スタート＆無線LAN簡単接続機能）（☛ 4-12ページ）
- ・「無線LAN簡単接続機能」（プッシュボタン方式）
- ・「無線LAN簡単接続機能」（PIN方式）

※「無線LAN簡単接続機能」（プッシュボタン方式／PIN方式）については、「機能詳細ガイド」の「Web設定の使いかた」の［無線LAN設定］－［無線LAN簡単セットアップ］を参照してください。

●IP電話使用中、および使用後一定時間は、「無線LAN簡単セットアップ」での設定が行えない場合があります。IP電話使用終了後一定時間たってから設定を行ってください。

●「無線LAN簡単接続機能」での設定中は他の無線接続はいったん切断される場合があります。

●本機能で2 台以上の無線LAN端末を同時に設定することはできません。1台ずつ設定を行ってください。

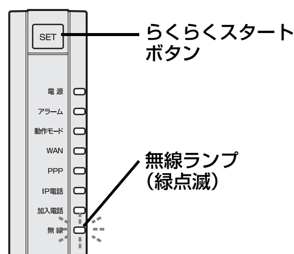
「らくらくスタートボタン」で設定する

1 インストールしたSC-32設定用ユーティリティから「無線LAN簡単接続機能（プッシュボタン方式)」を起動する

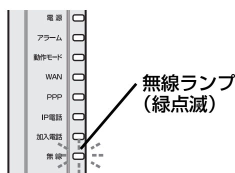


起動方法は、無線LANカードの取扱説明書などを参照してください。

2 本商品前面の「らくらくスタートボタン」を1 秒以上押し、本商品前面の無線ランプが緑点滅したら離す

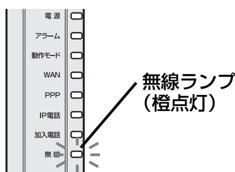


「無線LAN簡単接続機能」での設定が開始されると、本商品前面の無線ランプが緑点滅します。（設定によっては橙点滅する場合があります。）



設定中に無線ランプが10秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。
（☛ 4-13ページ）

3 本商品前面の無線ランプが橙点灯することを確認する



設定中に無線ランプが10秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。
（☛ 4-13ページ）

おまかせモード（無線LAN 簡単接続機能）での無線LAN設定が完了し、無線ランプは橙点灯後、緑点灯に変わります。

「Web設定」で設定する



無線LAN端末から設定を行っている場合には、[おまかせモード] をクリックしたあと、無線LAN接続が切断される場合があります。
おまかせモードを使用する場合は、有線LAN端末から設定を行ってください。

1 「Web設定」ページ(「http://setup.fletsphone/」もしくは本商品のIP アドレス「http://192.168.100.1/」(工場出荷時))を開く

2 メニューの [無線LAN設定] - [無線LAN簡単セットアップ] を選択する

3 インストールしたSC-32設定用ユーティリティから「無線LAN簡単接続機能(プッシュボタン方式)」を起動する



起動方法は、無線LANカードの取扱説明書などを参照してください。

4 「Web設定」の [おまかせモード] をクリックする



5 「Web設定」画面に「無線LAN端末の設定が完了しました。」と表示されることを確認する



おまかせモード(無線LAN簡単接続機能)での無線LAN設定が完了します。

 **お知らせ**

●無線LAN簡単セットアップ実行中に「Web設定」や「らくらくスタートボタン」からの設定を行うと、「Web設定」画面が正常に表示されない場合があります。

 **お願い**

●手動で無線LAN設定を行う手順については、「機能詳細ガイド」の「Web設定の使いかた」の「無線LAN設定」を参照してください。



「無線LAN簡単接続機能」での設定に失敗した場合

設定中に無線ランプが10秒間赤点滅した場合や「Web設定」画面で「無線LAN端末の検出に失敗しました。」「無線LAN簡単接続による設定に失敗しました。」などと表示された場合は、設定に失敗しています。
『7-2　ご利用開始後のトラブル』（☛ 7-10ページ）を確認後、無線ランプが緑点灯してから再度手順1から設定を行ってください。

4-5 ゲーム機との無線LANの設定をする（らくらく無線スタート）

「らくらく無線スタート」を使用して、ゲーム機と本商品を無線接続するための設定を行います。

本商品の「らくらく無線スタート」の起動方法には、以下の方法があります。

●「らくらくスタートボタン」で設定する（☛下記）

●「Web設定」で設定する

・おまかせモード（らくらく無線スタート＆無線LAN簡単接続機能）（☛ 4-16ページ）

●本商品に無線の暗号化が設定されていることを確認してください。
（ただし、WPA2-PSKは「らくらく無線スタート」ではご利用になれません。）
設定されていない場合は電話機から設定することもできます。

●接続するゲーム機が本商品の暗号化方式や暗号化強度に対応していることを確認してください。対応状況に関してはゲーム機の取扱説明書などをご確認ください。

●IP電話使用中、および使用後一定時間は、「無線LAN簡単セットアップ」での設定が行えない場合があります。IP電話使用終了後一定時間たってから設定を行ってください。

●本商品の無線の暗号化が「WPA-PSK/WPA2-PSK（TKIP/AES)」で「らくらく無線スタート」を使用した場合、自動的に無線LAN 端末を「WPA-PSK（TKIP)」に設定します。

●「らくらく無線スタート」での設定中は他の無線接続はいったん切断されます。

●「らくらく無線スタート」設定中の無線LANアクセスポイント（本商品）のランプ名称やランプの状態はご利用のゲーム機の説明書などに記載されている内容と異なる場合があります。本商品との無線LAN設定にあたっては、本書の記載内容に読み替えてください。

●本機能で2台以上の無線LAN端末を同時に設定することはできません。1台ずつ設定を行ってください。

「らくらくスタートボタン」で設定する

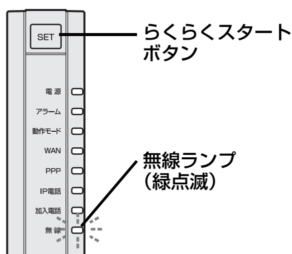
1 ゲーム機の「らくらく無線スタート」を起動する



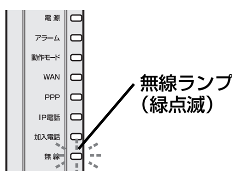
ゲーム機の設定方法の詳細についてはゲーム機の取扱説明書などを参照してください。

※「らくらく無線スタート」を起動後１分以内に次の手順に進んでください。
１分以上たつと自動的にキャンセルされます。

2 本商品前面の「らくらくスタートボタン」を1秒以上押し、本商品前面の無線ランプが緑点滅したら離す



「らくらく無線スタート」の通信が開始されると、本商品前面の無線ランプが緑点滅します。

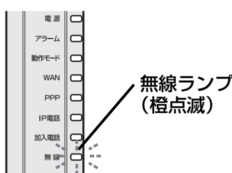


> **!**
> 設定中に無線ランプが10秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。
> （☛ 4-17ページ）

3 本商品前面の無線ランプが橙点滅することを確認する

「らくらく無線スタート」での設定が開始します。

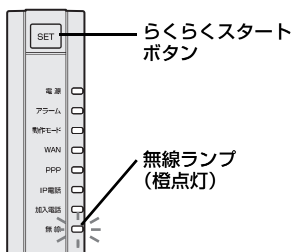
※30秒以内に次の手順に進んでください。30秒以上たつと自動的にキャンセルされます。



> **!**
> 設定中に無線ランプが10秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。
> （☛ 4-17ページ）

4 本商品前面の「らくらくスタートボタン」を1 秒以上押し、本商品前面の無線ランプが橙点灯したら離す

設定が完了すると、本商品前面の無線ランプが橙点灯します。



> **!**
> 設定中に無線ランプが10秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。
> （☛ 4-17ページ）

「らくらく無線スタート」での無線LAN設定が完了し、無線ランプは橙点灯後、緑点灯に変わります。

「Web設定」で設定する



無線LAN端末から設定を行っている場合には、［おまかせモード］をクリックしたあと、無線LAN接続が切断される場合があります。
おまかせモードを使用する場合は、有線LAN端末から設定を行ってください。

1 「Web設定」ページ（「http://setup.fletsphone/」もしくは本商品のIP アドレス「http://192.168.100.1/」（工場出荷時））を開く

2 メニューの［無線LAN設定］－［無線LAN簡単セットアップ］を選択する

3 ゲーム機の「らくらく無線スタート」を起動する



ゲーム機の設定方法の詳細についてはゲーム機の取扱説明書などを参照してください。

※「らくらく無線スタート」を起動後1分以内に次の手順に進んでください。1分以上たつと自動的にキャンセルされます。

4 「Web設定」の［おまかせモード］をクリックする







「Web設定」画面に「無線LAN端末の検出を行っています。・・・。」と表示されます。



設定中に無線ランプが10秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。
（☛ 4-17ページ）

5　［設定開始］をクリックする

※30秒以内にクリックしてください。30秒以上たつと自動的にキャンセルされます。





設定中に無線ランプが10秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。
（☛下記）

設定が完了すると「Web設定」画面に「無線LAN端末の設定が完了しました。」と表示されます。
「らくらく無線スタート」での無線LAN設定が完了します。

お願い

●手動で無線LAN設定を行う手順については、「機能詳細ガイド」の「Web設定の使いかた」の「無線LAN設定」を参照してください。

「らくらく無線スタート」での設定に失敗した場合

設定中に無線ランプが10秒間赤点滅した場合や「Web設定」画面に「無線LAN端末の検出に失敗しました。」「らくらく無線スタートによる設定に失敗しました。」などと表示された場合は、設定に失敗しています。
『7-2　ご利用開始後のトラブル』（☛ 7-11ページ）を確認後、無線ランプが緑点灯してから再度手順１から設定を行ってください。
本商品の無線の暗号化が暗号化なしに設定されている状態で、「らくらく無線スタート」を実行すると設定に失敗します。本商品の無線の暗号化が暗号化なしに設定されている状態で設定に失敗した場合、「らくらく無線スタート」には、自動的に、本商品の無線の暗号化をWPA-PSK（TKIP）に設定する機能があります。無線ランプが緑点灯してから、もう一度、「らくらく無線スタート」を実行してください。2回目以降も失敗する場合は、他の原因により設定に失敗しています。『7-2　ご利用開始後のトラブル』（☛ 7-7ページ）を確認してください。
自動的に設定されるWPA-PSK（TKIP）の設定値については、「無線ネットワーク名（SSID）と暗号化の設定内容」（☛ 4-3ページ）を参照してください。

4-6 Windows® 7との無線LANの設定をする（無線LAN簡単接続機能）

「無線LAN簡単接続機能」を使用して、Windows® 7搭載の無線LAN内蔵パソコンと本商品を無線接続するための設定を行います。設定が完了するまで、2分程度かかる場合があります。本商品の「無線LAN簡単接続機能」の起動方法には、以下の方法があります。

●「らくらくスタートボタン」で設定する（☛下記）

●「Web設定」で設定する

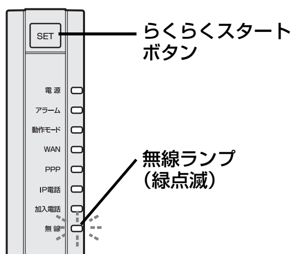
- ・おまかせモード（らくらく無線スタート＆無線LAN簡単接続機能）（☛ 4-21ページ）
- ・「無線LAN簡単接続機能」（プッシュボタン方式）
- ・「無線LAN簡単接続機能」（PIN方式）

※「無線LAN簡単接続機能」（プッシュボタン方式／ PIN方式）については、「機能詳細ガイド」の「Web設定の使いかた」の［無線LAN設定］－［無線LAN簡単セットアップ］を参照してください。

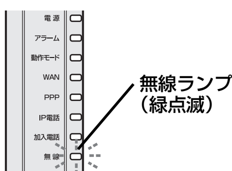
- ●本機能で無線LANの設定が可能ですが、接続を保証するものではありません。
- ●他の無線LAN端末のユーティリティやドライバがインストールされていると、Windows® 7の無線LAN接続に失敗する場合があります。その場合は、他の無線LAN 端末のユーティリティやドライバをアンインストールしてください。
- ●「無線LAN 簡単接続機能」を使用して、Windows® 7搭載の無線LAN内蔵パソコンと本商品を接続する場合、本商品の「無線ネットワーク名（SSID）の隠蔽（ANY接続拒否）」をしないにしている（☛「機能詳細ガイド」）または各手順に記載されているパソコンの設定をする必要があります。
- ●IP電話使用中、および使用後一定時間は、「無線LAN簡単セットアップ」での設定が行えない場合があります。IP電話使用終了後一定時間たってから設定を行ってください。
- ●「無線LAN簡単接続機能」での設定中は他の無線接続はいったん切断される場合があります。
- ●本機能で2台以上の無線LAN端末を同時に設定することはできません。1台ずつ設定を行ってください。

「らくらくスタートボタン」で設定する

1 **本商品前面の「らくらくスタートボタン」を1秒以上押し、本商品前面の無線ランプが緑点滅したら離す**



「無線LAN簡単接続機能」での設定が開始されると、本商品前面の無線ランプが緑点滅します。（設定によっては橙点滅する場合があります。）



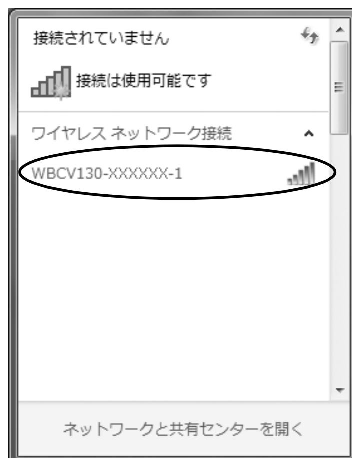
!
設定中に無線ランプが10秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。
（☛ 4-23ページ）

2 **ご利用のパソコンの通知領域（タスクトレイ）もしくは「隠れているインジケーター」の中に表示されている［ワイヤレスネットワーク接続］アイコンをクリックする**

※［スタート］（Windows®のロゴボタン）－［コントロールパネル］－［ネットワークとインターネット］－［ネットワークと共有センター］－［ネットワークに接続］をクリックする方法もあります。

3 **本商品のSSID-1に設定している無線ネットワーク名（SSID）をクリックする**

※本商品の工場出荷状態での無線ネットワーク名（SSID）は、本商品側面を確認してください。



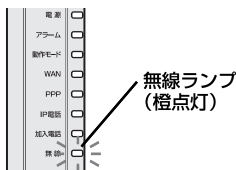
（次ページに続く）

4
無線LANのご利用について

4 ［接続］をクリックする



5 本商品前面の無線ランプが橙点灯することを確認する



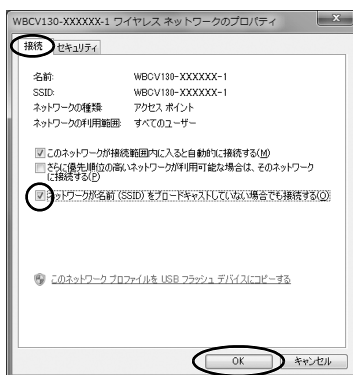
> **!** 設定中に無線ランプが10秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。
> （☛ 4-23ページ）

おまかせモード（無線LAN簡単接続機能）での無線LAN設定が完了し、無線ランプは橙点灯後、緑点灯に変わります。

6 ご利用のパソコンの通知領域（タスクトレイ）もしくは「隠れているインジケーター」の中に表示されている［ワイヤレスネットワーク接続］アイコンを再度クリックする

7 手順3で選択したネットワーク名（SSID）を右クリックし、［プロパティ］をクリックする

8 ［接続］タブをクリックし、「ネットワークが名前（SSID）をブロードキャストしていない場合でも接続する」にチェックを入れ、「OK」をクリックする



「Web設定」で設定する



無線LAN端末から設定を行っている場合には、［おまかせモード］をクリックしたあと、無線LAN接続が切断される場合があります。
おまかせモードを使用する場合は、有線LAN端末から設定を行ってください。

1 「Web設定」ページ（「http://setup.fletsphone/」もしくは本商品の IP アドレス「http://192.168.100.1/」（工場出荷時））を開く

2 メニューの［無線LAN設定］－［無線LAN簡単セットアップ］を選択する

3 「Web設定」の［おまかせモード］をクリックする

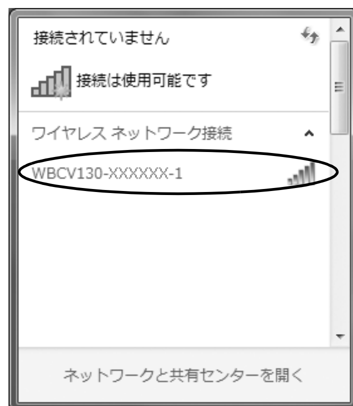


4 ご利用のパソコンの通知領域（タスクトレイ）もしくは「隠れているインジケーター」の中に表示されている［ワイヤレスネットワーク接続］アイコンをクリックする

※［スタート］（Windows®のロゴボタン）－［コントロールパネル］－［ネットワークとインターネット］－［ネットワークと共有センター］－［ネットワークに接続］をクリックする方法もあります。

5 本商品のSSID-1に設定している無線ネットワーク名（SSID）をクリックする

※本商品の工場出荷状態での無線ネットワーク名（SSID）は、本商品側面を確認してください。



（次ページに続く）

6 ［接続］をクリックする



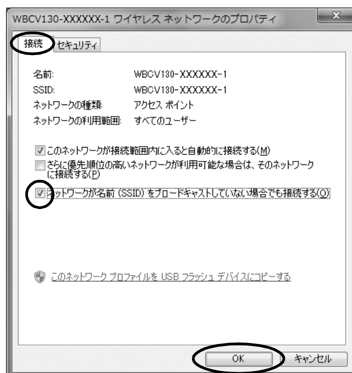
7 「Web設定」画面に「無線LAN端末の設定が完了しました。」と表示されることを確認する



8 ご利用のパソコンの通知領域（タスクトレイ）もしくは「隠れているインジケーター」の中に表示されている［ワイヤレスネットワーク接続］アイコンを再度クリックする

9 手順5で選択したネットワーク名（SSID）を右クリックし、［プロパティ］をクリックする

10 ［接続］タブをクリックし、「ネットワークが名前（SSID）をブロードキャストしていない場合でも接続する」にチェックを入れ、「OK」をクリックする




お知らせ

●無線LAN簡単セットアップ実行中に「Web設定」や「らくらくスタートボタン」からの設定を行うと、「Web設定」画面が正常に表示されない場合があります。


お願い

●手動で無線LAN設定を行う手順については、「機能詳細ガイド」の「Web設定の使いかた」の「無線LAN設定」を参照してください。


「無線LAN簡単接続機能」での設定に失敗した場合

設定中に無線ランプが10秒間赤点滅した場合や「Web設定」画面で「無線LAN端末の検出に失敗しました。」「無線LAN簡単接続による設定に失敗しました。」などと表示された場合は、設定に失敗しています。
『7-2　ご利用開始後のトラブル』（☛ 7-10ページ）を確認後、無線ランプが緑点灯してから再度手順1から設定を行ってください。

5

IP電話の使いかた

IP電話をご利用になる場合は、こちらをご覧ください。

※IP電話をご利用いただくためには、プロバイダなどとのIP電話サービスのご契約が必要です。

5-1 IP電話の設定について

IP電話をご利用いただくためには、別途プロバイダとのIP電話サービス契約および本商品へのIP電話設定が必要です。本商品へのIP電話設定は、プロバイダのホームページなどから自動的に行うことができます。
ただし、プロバイダによっては、別途プロバイダから送付された設定情報を本商品の設定画面から入力していただく必要があります。

※IP電話の設定は、必ずインターネットに接続したあとに設定してください。

IP電話の設定方法は、各プロバイダのIP電話サービスにより異なりますのでご契約のプロバイダのホームページなどでご確認のうえ、設定を行ってください。なお、本商品の「対応プロバイダ」が提供するIP電話サービスのホームページへは、下記のURLからアクセスが可能です。

【NTT東日本】http://flets.com/ipphone/
【NTT西日本】http://flets-w.com/ipphone/

本商品の設定画面からIP電話設定を行うようにプロバイダから指示されている場合のみ、本ページおよび次ページの記載にしたがって各項目の設定を行ってください。

※プロバイダのホームページに記載されている指示にしたがってIP電話の設定を自動的に行うことができる場合は、本ページおよび次ページのIP電話の設定を行わないでください。その場合は、「電話機能の設定について」(☛ 5-4ページ)へお進みください。

Webブラウザで本商品の「Web設定」ページ(「http://setup.fletsphone/」もしくは本商品のIP アドレス「http://192.168.100.1/」(工場出荷時))を開き、メニューの[電話設定]－[IP電話基本設定]から、IP電話サービスに接続するための設定を行います。



【SIPサーバ設定】

①SIPサーバアドレス	プロバイダから指定された SIP サーバアドレスを入力してください。
②SIPサーバポート番号	プロバイダから指定された SIP サーバポート番号を入力してください。特にプロバイダから指示のない場合は、初期値（5060）を変更しないでください。
③REGISTERサーバアドレス	プロバイダから指定された REGISTER サーバアドレスを入力してください。
④REGISTERサーバポート番号	プロバイダから指定された REGISTER サーバポート番号を入力してください。特にプロバイダから指示のない場合は、初期値（5060）を変更しないでください。
⑤IP電話番号	プロバイダから指定された IP 電話番号を入力してください。 例：050 XXXX XXXX ご契約のプロバイダによってはIP電話番号以外が設定される場合があります。プロバイダのホームページなどから自動的に設定された場合は、変更しないでください。
⑥SIPドメイン名	プロバイダから指定された SIP ドメイン名を入力してください。

【認証用設定】

⑦ユーザID	プロバイダから指定されたIP電話用のユーザIDを入力してください。
⑧パスワード	プロバイダから指定された IP 電話用のパスワードを入力してください。

⑨［設定］をクリックしてください。本商品前面のIP電話ランプが緑点灯したら、IP電話が利用可能となります。

⑩［保存］をクリックしてください。設定内容が保存されます。

5-2 電話機能の設定について

Webブラウザで本商品の「Web設定」ページ（「http://setup.fletsphone/」もしくは本商品のIP アドレス「http://192.168.100.1/」（工場出荷時））を開き、メニューの［電話設定］－［電話詳細設定］から、電話機能に関する設定を行います。



【IP電話設定】

①ナンバーディスプレイ

電話機ポートに接続する電話機のナンバーディスプレイ機能をご利用になる場合は「使用する」にチェックしてください。（初期値：使用しない）

加入電話のナンバー・ディスプレイ契約	本商品のナンバーディスプレイ設定	
	「使用する」	「使用しない」
あり	IP電話での着信、加入電話での着信ともに発信者情報（番号）を表示できます。	加入電話での着信のみ発信者情報（番号）を表示できます。
なし	IP電話での着信のみ発信者情報（番号）を表示できます。	発信者情報（番号）は表示されません。

②着信音選択

IP電話の着信音（IR/SIR）を設定します。（初期値：SIR）
IR：着信音が「1秒あり＋2秒なし」を繰り返します。
加入電話と同じ着信音です。
SIR：着信音が「0.3秒あり＋0.3秒なし＋0.3秒あり＋2.1秒なし」を繰り返します。

③市外局番

契約されている加入電話の市外局番を入力します。

④エコーキャンセラ

IP電話で通話する場合に、エコーキャンセラを使用するかしないかを設定します。（初期値：使用する）
通常は「使用する（初期値）」のままでご使用ください。

⑤非通知着信	IP電話で着信する場合に、発信者情報（番号）が非通知の着信を拒否するかしないかを設定します。 （初期値：拒否しない）
⑥発信者情報	IP電話で発信する場合に、通常ダイヤル時に発信者情報（番号）を通知するかしないかを設定します。 （初期値：通知する）
⑦加入電話着信割込み音量	IP電話で通話中に、加入電話で着信があった場合の割り込み音量を「消音」「小」「中」「大」から選択して設定します。（初期値：中）

【加入電話設定】

⑧回線ダイヤルモード*	加入電話で使用している回線ダイヤル種別を自動認識させるか、手動設定するかを設定します。（初期値：自動） 通常は「自動（初期値）」のままでご使用ください。
⑨回線ダイヤル種別*	回線ダイヤルモードを「手動」に設定した場合に、加入電話の回線ダイヤル種別（DP 10pps/DP 20pps/PB）を設定します。（初期値：PB）
⑩ダイヤル桁間タイマ（秒）	ダイヤル桁間タイマとは、電話機からのダイヤルを受付する間隔時間を設定するものです。設定できる値は、4～8秒です。（初期値：4秒） 本商品に接続する電話機、ファクスなどが“事業者回線選択番号（0036、0039など）”を自動付与する機能をご利用の場合、本商品のダイヤル桁間タイマの設定値を“5秒以上”に変更して、ご利用ください。 なお、ダイヤル桁間タイマの設定値を長めに設定すると、電話機からダイヤル操作を行った際に本商品が発信するまでの時間が長くなりますので、ご注意ください。
⑪IP電話通話中のメッセージ*有り/ナンバー・ディスプレイ受信	IP電話で通話中に加入電話から通知された加入電話サービスのモデム信号（ナンバー・ディスプレイやネームディスプレイの発信者情報（番号）、キャッチホンⅡ、マジックボックスを利用して通知されたメッセージ有り通知など）を一時的に蓄積して、IP電話で通話中または通話終了後に、メッセージ有りの通知を行うか（有効）、行わないか（無効）を設定します。 （初期値：有効）

⑫ナンバー・ディスプレイ*通知方法	IP電話で通話中に加入電話から着信した場合、ナンバー・ディスプレイサービスなどによって通知される発信者情報（番号）の通知方法を「通知しない」「通話中通知」「通話後通知」から選択して設定します。「通知しない」を選択すると、発信者情報（番号）は表示されません。「通話中通知」を選択すると、IP電話通話中に発信者情報（番号）を表示できます。「通話後通知」を選択すると、発信者情報（番号）を、IP電話での通話が終わり、加入電話からの着信が続いている場合に表示できます。 IP電話通話中のメッセージ有り/ナンバー・ディスプレイ受信を「有効」に設定した場合に設定できます。 （初期値：通知しない）

【発信経路設定】

⑬186*	相手先電話番号の前に「186」をつけてダイヤルする場合の発信経路を「自動」「加入電話」から選択して設定します。 「自動」を選択すると、「186」に続けてダイヤルした相手先電話番号により、IP電話で発信するか、加入電話で発信するかを、自動的に選択します。 「加入電話」を選択すると、相手先電話番号にかかわらず、必ず加入電話で発信されます。 詳しくは、「発信時に聞こえる音とランプの表示について」（☛ 5-10ページ）をご覧ください。（初期値：自動）

⑭［設定］をクリックしてください。本商品前面のIP電話ランプが緑点灯したら、IP電話が利用可能となります。

⑮［保存］をクリックしてください。設定内容が保存されます。

* 加入電話をご利用いただくためには、加入電話の契約および本商品への加入電話回線の接続が必要です。

 **お願い**

[メッセージ有りの通知について]

●IP電話通話中のメッセージ有り/ナンバー・ディスプレイ受信を「有効」に設定した場合、本商品に一時的に蓄積できるメッセージ有り通知は1件のみで、最新情報のみが残ります。

●メッセージ有り通知を電話機で表示させるためには、対応する電話機が必要です。(電話機によっては、キャッチホンⅡおよびマジックボックスのメッセージ有り着信が通知されない場合があります。)

[ナンバー・ディスプレイ通知方法について]

●「ナンバー・ディスプレイ通知方法」を設定するためには、「IP 電話通話中のメッセージ有り/ナンバー・ディスプレイ受信」を「有効」に設定している必要があります。

●ナンバー・ディスプレイ通知方法を「通話後通知」に設定してご利用の場合は、加入電話のナンバー・ディスプレイサービスのご契約と、ナンバー・ディスプレイに対応する電話機が必要です。加入電話のナンバー・ディスプレイサービスのご契約をされていない場合や、ご利用になる電話機がナンバー・ディスプレイに対応していない場合は「通知しない」を設定してください。

●ナンバー・ディスプレイ通知方法を「通話中通知」に設定してご利用の場合は、キャッチホン・ディスプレイ対応の電話機が必要です。キャッチホン・ディスプレイサービスのご契約は必要ありません。ご利用になる電話機がキャッチホン・ディスプレイに対応していない場合は「通話中通知」を設定しないでください。

 **お知らせ**

[ナンバー・ディスプレイについて]

●加入電話のナンバー・ディスプレイサービスおよびIP電話のナンバーディスプレイの機能をご利用になるには、ナンバー・ディスプレイ対応の電話機が必要です。

●加入電話でナンバー・ディスプレイサービスをご利用になる場合は、ナンバー・ディスプレイサービスのご契約が必要です。

●IP電話でナンバーディスプレイ機能をご利用になる場合は、ナンバー･ディスプレイサービスのご契約は必要ありません。

●ご利用になる電話機がナンバー・ディスプレイに対応していない場合は、「使用する」にチェックしないでください。

[着信音選択について]

●本商品の電話機ポートに接続した電話機で、着信音を「メロディ」などに設定している場合に、本商品の「着信音選択」を「SIR」に設定すると、正常に着信音が鳴らないことがあります。その場合は、本商品の「着信音選択」を「IR」に設定するか、電話機を通常の着信音に設定してください。

●IP電話での着信と加入電話での着信で、鳴り分けは可能ですが、加入電話の「なりわけサービス」をご契約の場合、本商品の設定によっては、加入電話の着信音とIP電話の着信音が区別できない可能性があります。

[市外局番について]

●「市外局番」を入力した場合は、市内の加入電話番号へIP電話でかけるときに市外局番をつけなくてもかけられます。

●「市外局番」を入力しない場合は、市内の加入電話番号へIP電話でかけるときに必ず市外局番をつけてかけてください。（市外局番をつけない場合はかけられません。）

●「市外局番」に間違った番号を設定すると、正しい発信ができない場合があります。

●引越などにより、お客様の市外局番が変更となるときは、設定変更が必要となります。

[回線ダイヤルモード／回線ダイヤル種別について]

●「回線ダイヤルモード」を「自動」に設定した場合、本商品の起動時に回線ダイヤル種別の自動認識を行います。

●本商品の電源を入れたあとに電話機コードを接続すると、回線ダイヤル種別が正しく認識できず、加入電話で発信できなくなる場合があります。その場合は、「回線ダイヤルモード」を「手動」に設定したあと、加入電話の回線ダイヤル種別に合わせて、「回線ダイヤル種別」を「DP 10pps」、「DP 20pps」、「PB」のいずれかに設定してください。

●本商品の電話機ポートに接続した電話機の回線ダイヤル種別も、加入電話の回線ダイヤル種別に合わせて設定してください。

[発信経路設定について]

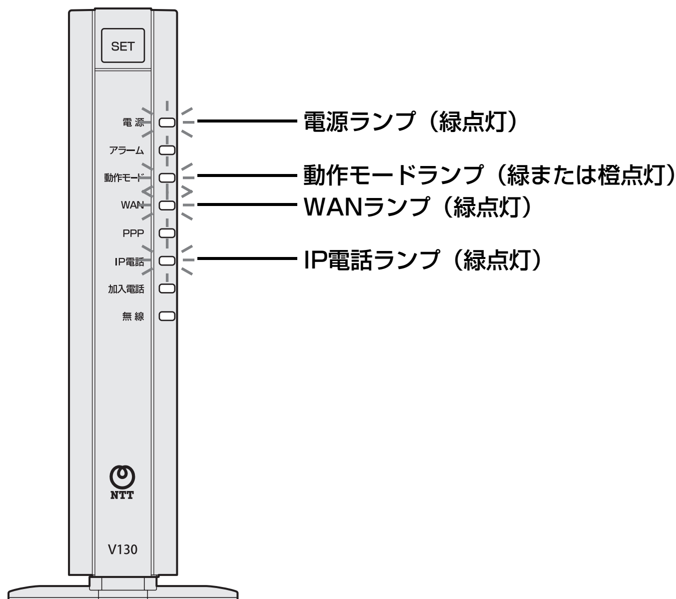
●発信経路設定を「自動」に設定している場合でも加入電話での発信に切り替わる場合があります。（☛ 5-10ページ）

●「発信経路設定」を「加入電話」に設定している場合、相手先電話番号の前に「186」をつけてダイヤルすると、必ず加入電話での発信となり、加入電話通話料金が発生します。

5-3 IP電話の使いかた

■ランプの確認

インターネット接続の設定および、IP電話の設定が完了したら、本商品のランプ表示が下記のようになっていることを確認してください。



ご注意

本商品前面のIP電話ランプが緑点灯の状態でない場合は、IP電話のご利用はできません。
必ずIP電話サービスを提供するプロバイダからのご案内などをご覧のうえ、サービス契約および設定を行ってください。また、IP電話にてご利用いただける接続先は、契約しているプロバイダのサービス内容によります。詳しくは、契約しているプロバイダにご確認ください。



お願い

●「接続設定1」以外でIP電話をご利用の場合は、IP電話の接続先の接続モードを「常時接続」に設定してください。
詳しくは、「機能詳細ガイド」をご覧ください。

■発信時に聞こえる音とランプの表示について

ダイヤルされた番号によりIP電話と加入電話を自動的に選択します。
どちらを選択したかは、ダイヤルしたあとハンドセットから聞こえる音や本商品前面のランプの表示によって識別できます。

通話状態	パターン1	パターン2	パターン3
	IP電話で通話	IP電話では通話不可のため加入電話に切り替えて通話	加入電話で通話
発信時に聞こえる音	ププププ、 トゥルルルル…	ププププ、プー トゥルルルル…	トゥルルルル…
通話中のランプの表示	IP電話ランプが緑点滅	加入電話ランプが緑点滅	
通話料金	IP電話通話料 ご契約のプロバイダから請求されます。	加入電話通話料 NTT東日本・NTT西日本またはマイライン・マイラインプラスに登録された電話会社から請求されます。	
通知できる発信者情報（番号）	IP電話番号 ご契約のプロバイダから付与された電話番号	加入電話番号	
通話できる相手	ご契約のプロバイダのサービス内容をご確認ください。 ※IP電話サービスによって、サービス対象（IP電話で通話可能な相手先番号）が異なります。 ※IP電話ではつながらない番号（サービス対象外の番号）をダイヤルした場合は、加入電話での発信に切り替わる場合があります。 ※停電時や本商品の電源が入っていないときは加入電話での発信になります。		下記の番号は、常に加入電話で発信します。 ・110番、119番などの緊急通話 ・0000+相手先電話番号 ・117番、177番などのサービス ・＃で始まるダイヤル ※184、186は除きます。

※相手先電話番号の前に「186」をつけてダイヤルする場合の発信経路を、「Web設定」で「自動」「加入電話」から選択設定することができます。
「自動」を選択すると、「186」に続けてダイヤルした相手先電話番号により、IP電話で発信するか、加入電話で発信するかを、自動的に選択します。「加入電話」を選択すると、相手先電話番号にかかわらず、必ず加入電話で発信されます。

■電話のかけかた

IP 電話でかける

①本商品前面のIP電話ランプが緑点灯していることを確認します。
②ハンドセットを取りあげ、「ツー」という音を確認します。
③相手の電話番号をダイヤルします。
　例：03 XXXX XXXX
　通常通り電話番号をダイヤルすると、IP電話で発信します。
　※緊急通話（110番や119番など）などは、必ず加入電話での発信になります。（前ページの表の『パターン3』をご確認ください。）
　※IP電話の場合には、必ず呼び出し音の前に「ププププ」音が鳴りますので確認してください。IP電話で接続できない相手先の電話番号の場合は、自動的に加入電話での発信に切り替わる場合があります。その場合は、「ププププ」音のあとに「プー」という切替音が聞こえます。（自動切替される条件はIP電話サービスによって異なりますので、ご契約のプロバイダのサービス内容をご確認ください。）
　※IP電話で通話しているときは、本商品前面のIP電話ランプが緑点滅となります。
④通話が終わったらハンドセットを置きます。

加入電話でかける

①本商品前面の加入電話ランプが緑点灯していることを確認します。
②ハンドセットを取りあげ、「ツー」という音を確認します。
③相手の電話番号の前に「0000」（ゼロを4回）をつけてダイヤルします。
　例：0000 03 XXXX XXXX
　※加入電話で通話しているときは、本商品前面の加入電話ランプが緑点滅となります。
④通話が終わったらハンドセットを置きます。



お知らせ

●加入電話をご利用いただくためには、加入電話の契約および本商品への加入電話回線の接続が必要です。
●緊急通話（110番や119番など）など、加入電話で発信する場合は、本商品に加入回線を接続していないと通話できませんのでご注意ください。（前ページの表の『パターン2』『パターン3』をご確認ください。）
●緊急通話（110番や119番など）をかけたあと、約3分間はIP電話を使用できません。
●本商品前面のIP電話ランプが赤点灯している場合は、なんらかの事情によりIP電話がご利用できません。
その場合は、相手先電話番号の前に「0000」（ゼロを4回）をつけてダイヤルすることで、加入電話で発信します。
●本商品前面のIP電話ランプが消灯（IP電話未設定）している場合は、相手先電話番号の前に「0000」（ゼロを4回）をつけずにダイヤルしてください。すべて加入電話で発信します。（本商品の電源が切れている場合も同様です。）

■発信者情報（番号）の通知について

通知される電話番号

発信のパターン	通知される電話番号
IP電話で発信した場合	IP電話番号（プロバイダから付与された電話番号）
加入電話で発信した場合	加入電話番号（NTT東日本・NTT西日本などから付与された従来の電話番号）

電話番号の通知のされかた

発信者情報（番号）を通知するかどうかは、IP電話でかける場合と加入電話でかける場合でそれぞれ以下のような条件になります。

＜IP電話でかける場合＞

●IP電話の発信者情報（番号）通知設定

IP電話の発信者情報（番号）を、通常ダイヤル時に通知するかしないかの設定ができます。初期値は「通知する」となっています。（「電話機能の設定について」（☛ 5-4ページ）をご覧ください。）

●発信時のダイヤル操作

相手先の電話番号の前に「184」（通知しない）または「186」（通知する）をつけて、通知するかしないかを通話ごとに指定できます。

発信者情報（番号）通知設定	ダイヤル操作		
	相手先電話番号（通常の操作）	184＋相手先電話番号	186＋相手先電話番号
通知する	○	×	○
通知しない	×	×	○

○：通知する　×：通知しない

＜加入電話でかける場合＞

●加入電話回線ご契約時の内容

加入電話回線のご契約時に「通常通知（通話ごと非通知）」、「通常非通知（回線ごと非通知）」のどちらかを選択していただきます。

●発信時のダイヤル操作

相手先の電話番号の前に「0000」＋「184」（通知しない）または「0000」＋「186」（通知する）をつけて、通知するかしないかを通話ごとに指定できます。

契約	ダイヤル操作		
	0000＋相手先電話番号（通常の操作）	0000＋184＋相手先電話番号	0000＋186＋相手先電話番号
通常通知（通話ごと非通知）	○	×	○
通常非通知（回線ごと非通知）	×	×	○

○：通知する　×：通知しない



お知らせ

- 「発信経路設定」を「加入電話」に設定している場合、相手先電話番号の前に「186」をつけてダイヤルすると、必ず加入電話での発信となり、加入電話でかける場合の条件と同じになります。
- IP電話では通話不可のため加入電話に切り替えて通話する場合（☛ 5-10ページの表の『パターン2』）は、加入電話でかける場合の条件と同じになります。

■電話の受けかた

電話を受ける

①相手から電話がかかってくると着信音が鳴りますので、ハンドセットを取りあげて通話します。

※IP電話で通話している場合は、前面のIP電話ランプが緑点滅します。

※加入電話で通話している場合は、前面の加入電話ランプが緑点滅します。

②通話が終わったらハンドセットを置きます。

■通話中の着信およびキャッチホンサービスについて

着信のパターン		着信者側	発信者側
IP電話で通話中に	IP 電 話 で 着 信があった場合	通話中の通話を継続します。	お話し中音が鳴ります。
	加入電話で着信があった場合(注1)	割り込み音が鳴ります。ハンドセットを置くこと（オンフック）により、通話中の通話を切断し、加入電話の着信に応答することができます。(注2)	呼び出し音が鳴ります。
加入電話で通話中に	IP 電 話 で 着 信があった場合	通話中の通話を継続します。	お話し中音が鳴ります。
	加入電話で着信があった場合	加入電話にキャッチホンのご契約がある場合は、通常のキャッチホンの動作をします。	呼び出し音が鳴ります。
		加入電話にキャッチホンのご契約がない場合は、通話中の通話を継続します。	お話し中音が鳴ります。

(注1) 本商品に接続した電話機から、本商品に接続した加入電話の電話番号に発信した場合、通話はできませんが、通話料金が発生する場合がありますのでご注意ください。

(注2)「Web設定」で割り込み音量の選択設定ができます。
割り込み音量を「消音」「小」「中」「大」から選択して調整できます。
工場出荷状態では、割り込み音量は「中」に設定されています。
設定方法の詳細については、本書の「電話機能の設定について」（☛ 5-4ページ）をご覧ください。



お知らせ

- IP 電話で通話中に加入電話から着信した場合、ナンバー・ディスプレイサービスなどによって通知される発信者情報（番号）の通知方法を「通知しない」「通話中通知」「通話後通知」から選択して設定します。「通知しない」を選択すると、発信者情報（番号）は表示されません。「通話中通知」を選択すると、IP電話通話中に発信者情報（番号）を表示できます。「通話後通知」を選択すると、発信者情報（番号）を、IP電話での通話が終わり、加入電話からの着信が続いている場合に表示できます。
（初期値：通知しない）
- 「ナンバー・ディスプレイ通知方法」を設定するためには、「IP 電話通話中のメッセージ有り/ナンバー・ディスプレイ受信」を「有効」に設定している必要があります。
- ナンバー・ディスプレイ通知方法を「通話後通知」に設定してご利用の場合は、加入電話のナンバー・ディスプレイサービスのご契約と、ナンバー・ディスプレイ対応の電話機が必要です。加入電話のナンバー・ディスプレイサービスのご契約をされていない場合や、ご利用になる電話機がナンバー・ディスプレイに対応していない場合は「通知しない」を設定してください。
- ナンバー・ディスプレイ通知方法を「通話中通知」に設定してご利用の場合は、キャッチホン・ディスプレイ対応の電話機が必要です。キャッチホン・ディスプレイサービスのご契約は必要ありません。ご利用になる電話機がキャッチホン・ディスプレイに対応していない場合は「通話中通知」を設定しないでください。

5-4 加入電話付加サービスなどとの組み合わせについて

下記の「加入電話付加サービスなど対応状況表」をご確認ください。「加入電話付加サービスなど対応状況表」は、本商品に接続された加入電話回線から当該付加サービスを利用できるかどうかについて記載しています。
ただし、IP電話での通話は、加入電話付加サービスの対象外となります。また、IP電話利用中（発着/通話中）は、加入電話付加サービスが動作しない場合もありますのでご注意ください。
なお、IP電話サービスとしての対応状況については、ご契約のプロバイダにご確認ください。

■加入電話付加サービスなど対応状況表

サービス名	対応可否	【凡例】 ○：従来どおりご利用いただけます。 ●：加入電話通話時は従来どおりですが、IP電話通話時は留意が必要です。 △：一部制約事項があります。 ×：利用できません。
■着信者として下記サービスをご利用になる場合		
ナンバー・ディスプレイ キャッチホン・ディスプレイ ネーム・ディスプレイ	○	・IP電話ダイヤル中、発信中（相手側着信音鳴動中）、通話中の着信の場合、発信者情報（番号）の通知は、「IP電話通話中のメッセージ有り/ナンバー・ディスプレイ受信」を「有効」に、「ナンバー・ディスプレイ通知方法」を「通話中通知」または「通話後通知」に設定すれば可能です。 ・加入電話回線のキャッチホン・ディスプレイは可能です。IP電話ダイヤル中、発信中（相手側着信音鳴動中）、通話中の着信の場合、発信者情報（番号）の通知は、「IP電話通話中のメッセージ有り/ナンバー・ディスプレイ受信」を「有効」に、「ナンバー・ディスプレイ通知方法」を「通話中通知」に設定すれば可能です。 ・IP電話ダイヤル中、発信中（相手側着信音鳴動中）、通話中の着信の場合、発信者情報（番号）の通知は、「IP電話通話中のメッセージ有り/ナンバー・ディスプレイ受信」を「有効」に、「ナンバー・ディスプレイ通知方法」を「通話中通知」または「通話後通知」に設定すれば可能です。
ナンバー・リクエスト 二重番号サービス でんわばん	●	・IP電話への着信時は動作しません。
ナンバー・アナウンス ナンバーお知らせ136	●	・IP電話への着信履歴はお知らせされません。
迷惑電話おことわりサービス	●	・IP電話への着信は拒否できません。
なりわけサービス	△	・IP電話サービスをご利用の場合と同じ着信音が鳴る場合があります。
キャッチホン	●	・加入電話通話中の加入電話着信時のみ動作します。

（次ページに続く）

サービス名	**対応可否**	**【凡例】** ○：従来どおりご利用いただけます。 ●：加入電話通話時は従来どおりですが、IP電話通話時は留意が必要です。 △：一部制約事項があります。 ×：利用できません。
キャッチホンⅡ マジックボックス（キャッチホン機能）	△	・IP電話ダイヤル中、発信中（相手側着信音鳴動中）、通話中のメッセージ有りの通知は、「IP電話通話中のメッセージ有り/ナンバー・ディスプレイ受信」を「有効」に設定すれば可能です。 ・センタでメッセージが残っている場合、ハンドセット（受話器）を取りあげるたびに「プー」の前に送出される「ププッ、ププッ、」という音は鳴りません。
ボイスワープ ボイスワープセレクト マジックボックス（転送機能）	△	・加入電話への着信時のみ動作します。 ・解除忘れ警告音が鳴らないなどの誤作動をする可能性があります。 ・応答後転送を利用する場合、通話中にフッキングしても転送できないことがあります。 ・話中時転送は、加入電話通話中の加入電話着信時のみ動作します。
転送でんわ	△	・加入電話への着信時のみ動作します。 ・解除忘れ警告音が鳴らないなどの誤作動をする可能性があります。
モデムダイヤルイン	○	・IP電話ダイヤル中、発信中（相手側着信音鳴動中）、通話中の着信の場合、着番号情報の通知は、「IP電話通話中のメッセージ有り/ナンバー・ディスプレイ受信」を「有効」に、「ナンバー・ディスプレイ通知方法」を「通話後通知」に設定すれば可能です。
PBダイヤルイン	×	・PBダイヤルインによる着番号情報の通知が正常に動作しません。

（次ページに続く）

サービス名	対応可否	【凡例】 ○：従来どおりご利用いただけます。 ●：加入電話通話時は従来どおりですが、IP電話通話時は留意が必要です。 △：一部制約事項があります。 ×：利用できません。
■発信者として下記サービスをご利用になる場合		
トリオホン	●	・加入電話通話中に第２発信することができます。（第2発信は「0000」（ゼロ4回）をダイヤルしなくとも発信することができます。） ・IP電話利用中に第2発信することはできません。
空いたらお知らせ159	●	・相手先がIP電話通話中だった場合はご利用できません。
ボイスボックス でんわ会議 短縮ダイヤル	○	・センタへ発信するときは「0000」（ゼロ４回）を付与してダイヤルしてください。
＃ダイヤル	○	・加入電話回線を自動的に選択し発信します。
フリーアクセス ナビアクセス APナビ ダイヤルQ2	○	・ご契約のIP電話サービスが左記のサービスを対象外としている場合は、加入電話発信に自動切替されます。
オフトーク通信サービス	○	・宅内装置をIP電話対応機器と単体電話機の間に接続した場合は動作しませんが、スプリッタとIP電話対応機器の間に接続した場合は動作します。

（2011年6月現在の情報です。）



お知らせ

●加入電話をご利用いただくためには、加入電話の契約および本商品への加入電話回線の接続が必要です。
●無鳴動着信サービスには対応しておりません。
●加入電話付加サービスを複数契約している場合、「ナンバー・ディスプレイ通知方法」を「通話中通知」に設定していても、「通話後通知」となる場合があります。

6 本商品のバージョンアップ

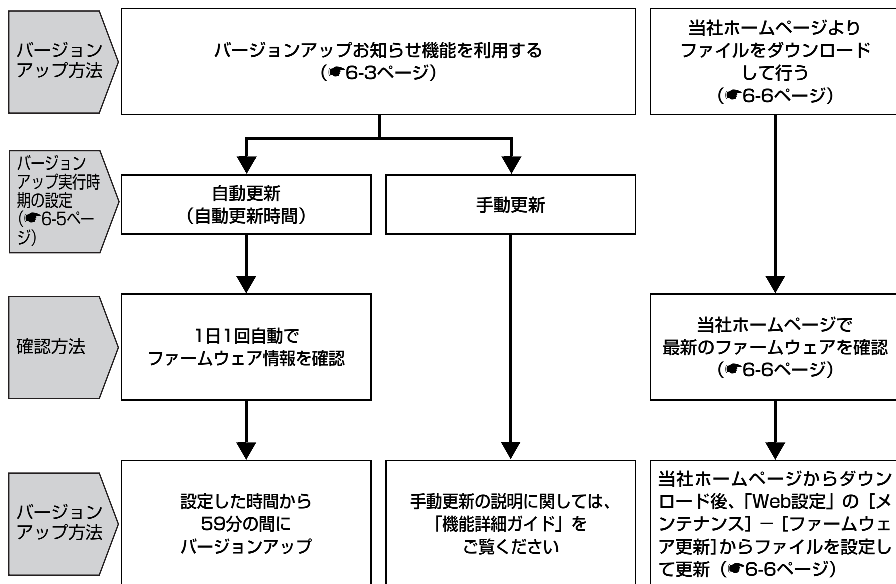
本商品のファームウェアを更新（バージョンアップ）します。
※ファームウェアとは､本商品を動かすソフトウェアのことです。

6-1 本商品のバージョンアップの流れ

ご注意ください

本商品は、常に最新のファームウェアをご利用いただけるよう、ファームウェアのアップデート設定が「自動更新」に設定されています。
自動更新の場合、最新のファームウェアが公開されると、あらかじめ設定された時間帯（午前1時〜午前5時）にバージョンアップを自動で行うために、ご利用中のサービスが約1分間ご利用いただけなくなることがございます。
あらかじめご了承いただきますようお願いいたします。アップデート設定を変更する場合は、「機能詳細ガイド」の「Web設定の使いかた」の［メンテナンス］－［ファームウェア更新］を参照してください。

本商品のバージョンアップは以下の手順で行います。
※本商品の初期値は、「自動更新」に設定されています。初期値のままご利用になることをお勧めします。自動更新の説明については6-5ページを参照してください。



6-2 バージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップする

本商品を最適にご利用いただくために、最新のファームウェアに更新してご利用いただきますようお願いいたします。

※ファームウェアとは、本商品を動かすソフトウェアのことです。

バージョンアップ方法には以下の2通りの方法があります。

●バージョンアップお知らせ機能を利用する（☛下記）

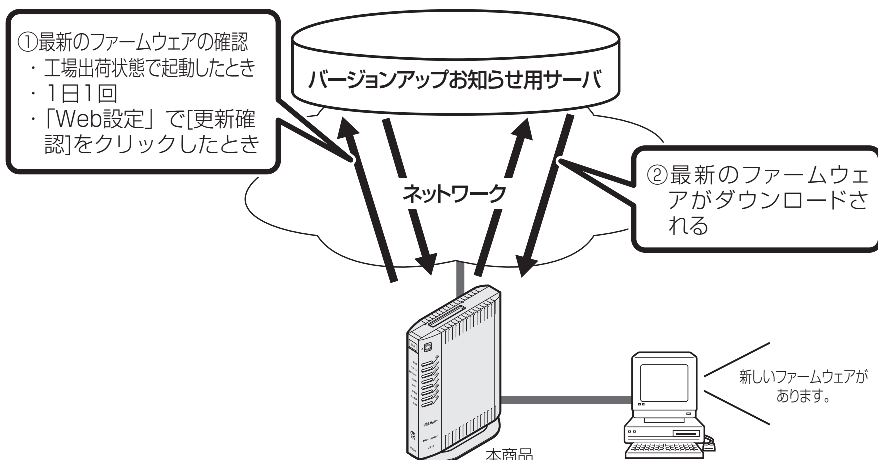
1.バージョンアップお知らせ機能の機能概要
2.バージョンアップ実行時期を設定する
3.最新のファームウェアがあるか確認し、ダウンロードする
4.バージョンアップ方法

●当社ホームページよりファイルをダウンロードして行う（☛6-6ページ）

バージョンアップお知らせ機能の機能概要

バージョンアップお知らせ機能は、当社バージョンアップお知らせ用サーバと通信を行い、最新のファームウェアの有無を自動確認する機能です。
最新のファームウェアが提供されている場合は自動的にダウンロードします。
この機能は、インターネット接続が可能な状態で本商品を起動したとき、定期的に1日1回（機能動作には、プロバイダ契約とインターネット接続の設定が必要です。）、および「Web設定」で［更新確認］をクリックしたときに動作します。
最新のファームウェアが提供されている場合は、以下の方法で確認することができます。

●本商品の「Web設定」にて確認する
（「新しいファームウェアがあります。・・・。」と表示されます。）



6

本商品のバージョンアップ

 **お願い**

●本商品は自動的に最新のファームウェアの有無を確認し、最新のファームウェアが提供されている場合は自動的にダウンロードを行います。回線の接続状態などにより、ダウンロードに失敗した場合は、ファームウェア更新を実行するときにダウンロードも行います。なお、この機能の動作にはインターネット接続の設定が必要です。
●本商品に最新のファームウェアがダウンロードされた状態で、本商品を再起動すると、自動的に最新のファームウェアに更新されます。
●緊急を要するファームウェアが提供された場合は、「ファームウェア更新種別」や「自動更新時間」の設定に関わらず、ファームウェア更新が行われることがあります。本商品が再起動しますので、しばらくお待ちください。
●IP電話使用中、および使用後一定時間は、ファイル指定による本商品のバージョンアップを行うことができない場合があります。IP電話使用終了後一定時間たってから再度、ファームウェアの更新を行ってください。
●バージョンアップを行うと通信は切断されます。バージョンアップを行う前に、LAN側につないだパソコンなどの通信は終了させてください。
●本商品のファームウェアの更新中や、本商品の再起動を行っている場合、他の設定を実行中は、本商品へのバージョンアップ操作は行えません。
●ファームウェアの更新中（手動更新またはファイル指定）は、本商品のアラームランプが橙点灯します。その後、アラームランプは消灯し、通常のランプ表示に戻ります。なお、この機能の動作には、インターネット接続の設定が必要です。
●バージョンアップ中は、本商品の電源を切らないでください。
●本商品用以外のファームウェアを使ってバージョンアップを行うことはできません。無理にバージョンアップを行うと本商品が動作しなくなります。
●このバージョンアップは、すべての機能のバージョンアップを保証するものではありません。
●バージョンアップする前に現状の設定値を保存しておくことをお勧めします。
●本商品の機能がバージョンアップされ、取扱説明書などの記載事項に変更・追加が生じた場合、取扱説明書などもバージョンアップされ、当社ホームページに公開されます。
最新の取扱説明書などが必要なときは、こちらもあわせてダウンロードしてください。

 **お知らせ**

●本商品を「手動更新」に設定している場合に、最新のファームウェアがあると、電話機のハンドセットを取りあげたときに「ピーピーピーピー」という音が「ツー」の前に聞こえます。この場合も通常と変わらず電話をかけられます。そのままダイヤルしてください。「＊＊＊11」をダイヤルして本商品のファームウェア更新を行うと、「ピーピーピーピー」という音は停止します。
●電話機から本商品のファームウェア更新を行う場合は、電話機の電話回線ダイヤル種別を「PB」に設定してください。
（「PB」にできない電話機からは、設定できません。）電話機の電話回線ダイヤル種別の設定方法は、電話機の取扱説明書をご覧ください。

ファームウェアの自動更新

ファームウェアの更新種別を「自動更新」に設定した場合、最新のファームウェアが確認されると、あらかじめ設定された時間帯（初期値は午前1時～午前5時のいずれか）にあわせて自動的にファームウェアの更新を行います。

●「自動更新時間」を設定する

自動更新時間が『5：00』に設定されている場合は、「5：00～5：59」の間に自動的にファームウェアの更新（再起動）を行います。

※再起動中は1分程度、IP電話やインターネットなどの各サービスがご利用いただけません。

※お客様のご利用状況によっては、設定された時間内にファームウェアの更新（再起動）が行われない場合があります。

＜「Web設定」で設定する＞

1 「Web設定」ページ（「http://setup.fletsphone/」もしくは本商品のIP アドレス「http://192.168.100.1/」（工場出荷時））を開く

2 メニューの［メンテナンス］－［ファームウェア更新］を選択する

3 ［自動更新時間］を設定する

4 ［設定］をクリックし、［保存］をクリックする



6
本商品のバージョンアップ

6-3 当社ホームページよりファイルをダウンロードしてバージョンアップする

「Web設定」の［メンテナンス］－［ファームウェア更新］からファイルを指定してバージョンアップする

ファームウェアを指定して本商品のバージョンアップを行うことができます。バージョンアップファームウェアは、当社の通信機器商品のご案内ホームページにアップロードしていく予定です。ダウンロード方法など、詳しくは、以下のホームページをご覧ください。

当社ホームページ　［NTT 東日本］http://web116.jp/ced/
　　　　　　　　　［NTT 西日本］http://www.ntt-west.co.jp/kiki/

バージョンアップファームウェアをダウンロードしたあと、更新を行います。
以下の手順にしたがってバージョンアップを行ってください。

1 最新のファームウェアを当社ホームページよりダウンロードする

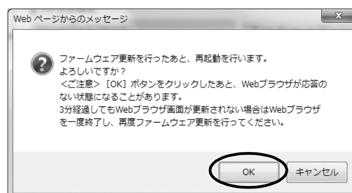
2 「Web設定」ページ（「http://setup.fletsphone/」もしくは本商品のIP アドレス「http://192.168.100.1/」（工場出荷時））を開く

3 メニューの［メンテナンス］－［ファームウェア更新］を選択する

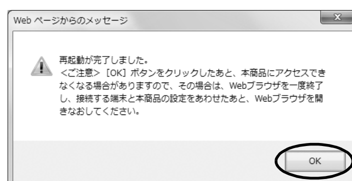
4 ［ファイル指定］の［参照］をクリックし、ダウンロードしたファームウェアのファイルを指定する

［現在のバージョン］には、本商品の現在のファームウェアバージョンが表示されています。

5 ［更新］をクリックし、［OK］をクリックする



6 ［OK］をクリックする



7

故障かな？と思ったら

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずここを呼んで対処してください。
該当項目がない場合や対処をしても問題が解決しない場合は、本商品を初期化し、初めから設定し直してください。

7-1 設置に関するトラブル

本商品のご利用方法に合わせてどこまで設置、設定できているのか現在の症状をご確認のうえ、その原因と対策をご覧ください。

確認項目	NGの場合
本商品前面の電源ランプは緑点灯していますか？	→NG（a参照）
↓OK	
本商品前面のアラームランプは消灯していますか？	→NG（b参照）
↓OK	
本商品前面のWANランプは緑点灯していますか？	→NG（c参照）
↓OK	
本商品前面の無線ランプは緑点灯していますか？（※1）	→NG（d参照）
↓OK	
パソコンのIPアドレスが設定されていますか？ （IPアドレスの確認方法は、2-16ページ、8-4ページ、8-6ページ、8-8ページ、8-9ページをご覧ください。）	→NG（e参照）
↓OK	
Webブラウザで本商品の「Web設定」ページが表示されますか？	→NG（f参照）
↓OK	
設定後、本商品前面のPPPランプが緑点灯していますか？（※2）	→NG（g参照）
↓OK	
インターネットに接続できましたか？	→NG（h参照）
↓OK	
本商品前面のIP電話ランプが緑点灯していますか？	→NG（i参照）
↓OK	
IP電話が使えますか？	→NG（j参照）
↓OK	
本商品前面の加入電話ランプが緑点灯していますか？（※3）	→NG（k参照）
↓OK	
加入電話が使えますか？（※3）	→NG（l参照）

（※1）無線LAN機能を使用しない場合は、本商品の無線ランプは緑点灯しません。
（※2）アダプタモードでご利用の場合は、本商品のPPPランプは点灯しません。
（※3）加入電話をご利用いただくためには、加入電話の契約および本商品への加入電話回線の接続が必要です。

a.本商品前面の電源ランプが緑点灯しない

症　状	原因と対策
電源ランプが緑点灯しない	●電源アダプタ（電源プラグ）が壁などの電源コンセントから外れていないか確認してください。 ●電源コンセントに他の電気機器を接続して電気がきているか確認してください。 ●電源アダプタ（電源プラグ）がパソコンの電源に連動した電源コンセントに差し込まれている場合は、壁などの電源コンセントに直接接続してください。（パソコンの電源が切れると、本商品に供給されている電源も切れてしまいます。） ●電源アダプタのコードが破損していないか確認してください。破損している場合はすぐに電源アダプタを電源コンセントから抜き、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

b.本商品のアラームランプが消灯していない

症　状	原因と対策
アラームランプが橙点灯する	●ファームウェアの更新中（手動またはファイル指定）です。ファームウェアの更新中は、本商品の電源を切らないでください。
アラームランプが赤点灯する	●本商品で異常が発生しています。約15分間待ってもアラームランプが赤点灯している場合は、本商品の電源を入れなおしてください。電源を入れなおす際は、10秒以上の間隔を空けてください。電源を入れなおしても復旧しない場合は、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

c.本商品のWANランプが緑点灯しない

症　状	原因と対策
WANランプが緑点灯しない	●本商品と回線終端装置（ONU）、またはVDSL モデムの両方に電源が入っていることを確認してください。（直接RJ-45 モジュラージャックにつないでいる場合は、本商品の電源が入っていることを確認してください。） ● LAN ケーブルが本商品のWAN ポートと回線終端装置（ONU）、またはVDSL モデム、壁のモジュラージャックの両方に「カチッ」と音がするまで差し込まれているか、確認してください。

d.本商品前面の無線ランプが緑点灯しない

症　状	原因と対策
無線ランプが緑点灯しない	●本商品上面の拡張カードスロットに、SC-32NEまたはWeb Caster FT-STC-Na/gが正しく装着されているか『4-2　本商品への無線LANカードの取り付け』（☛ 4-4ページ）をご覧のうえ、確認してください。 ●無線LANカードは当社指定のものをご利用ください。当社指定以外のものをご利用になると本商品が再起動を繰り返し、使用できません。

e.パソコンのIPアドレスが設定されていない

症　状	原因と対策
パソコンのIPアドレスが「192.168.100.xxx」に設定されていない	●パソコンの設定が「IPアドレスを自動取得する」もしくは「DHCPサーバを参照」になっていることを確認してください。 パソコンのIPアドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも本商品の方が先に起動されて装置内部の処理が完了している必要があります。下記のどちらかの方法で確認してください。 a.パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れてください。起動後、8-2ページ以降をご覧のうえ、再度パソコンのIPアドレスを確認してください。 b.8-2ページ以降をご覧のうえ、パソコンのネットワークの設定を行ってください。

※ アダプタモードで無線LAN接続をしているパソコンのIPアドレスは、本商品のWAN側に接続しているルータによって異なります。

f.Webブラウザで本商品の「Web設定」ページが表示されない

症　状	原因と対策
Webブラウザで、本商品の「Web設定」ページが表示されない	●パソコンのネットワーク設定が間違っていないかどうか、「パソコンのネットワーク設定」（☛ 8-2ページ）をご覧のうえ、確認してください。 ●WebブラウザやOSの設定で「プロキシサーバを使用する」になっている場合、本商品の「Web設定」ページが表示されないことがあります。 ●ダイヤルアップの設定がある場合は、パソコンの［インターネットオプション］の［接続］で［ダイヤルしない］が選択されていることを確認します。 ●複数固定IPサービスをご利用の場合、グローバルIPアドレスを割り付けたパソコンから本商品を設定するには「http://setup.fletsphone/」と入力しても「Web設定」ページは開きません。Webブラウザのアドレスに、プロバイダから割り当てられた本商品のグローバルIPアドレス（例えばhttp://200.200.200.1/）を入力してください。 ●お客様のご利用環境によっては、「http://setup.fletsphone/」を入力しても「Web設定」ページが表示されない場合があります。 表示されない場合は、本商品のIPアドレス「http://192.168.100.1/」（工場出荷時）を入力してください。 ●ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトウェアが終了されていることをご確認ください。 ●機器設定用パスワードが間違っていないかご確認ください。
Webブラウザで、本商品の「Web設定」ページの画面が正常に表示されない または操作が正常にできない	●お使いのWebブラウザの設定でJavaScriptを有効に設定してください。（☛ 2-18ページ、8-10ページ） ●お使いのWebブラウザが本商品に対応しているか「対応OSの確認とWebブラウザの準備」（☛ 1-8ページ）をご覧のうえ、確認してください。

g.本商品前面のPPPランプが緑点灯しない

症　状	原因と対策
PPPランプが消灯している	●「Web設定」の［基本設定］－［基本設定］で、接続したい接続先の「接続可」にチェックが入っているかを確認してください。 ●「Web設定」の［基本設定］－［基本設定］で、［接続先名］をクリックし、接続先ユーザ名、接続パスワードが入力されているか確認してください。 ●「Web設定」の［基本設定］－［基本設定］で、［接続先名］をクリックし、「接続モード」を「要求時接続」に設定した場合、パソコンからインターネット接続を開始するまで、PPPランプは消灯したままです。
PPP ランプが速い緑点滅、または遅い緑点滅をしている	●「Web設定」の［基本設定］－［基本設定］で、［接続先名］をクリックし、接続先ユーザ名、接続パスワードが、プロバイダ情報にしたがって、正しく設定されているか確認してください。 ・通常、接続先ユーザ名は、「xxxxx@xxxxx.ne.jp」のように@以下のプロバイダのアドレスまですべて入力します。 ・通常、接続パスワードは、大文字／小文字が区別されます。 ・接続先ユーザ名、接続パスワードに全角文字は使用できません。

h.インターネットに接続できない

症　状	原因と対策
インターネット上のホームページが開けない	●LAN側DNSサーバアドレスが間違っている →自動取得できないプロバイダの場合は、プロバイダから指定されたLAN側DNSサーバアドレスをプロバイダからの情報にしたがって「Web設定」の［共通設定］－［DNS設定］でLAN側DNSサーバアドレスの欄に入力してください。 ●WebブラウザやOSの設定で「プロキシサーバを使用する」になっている場合、ホームページが表示されないことがあります。 ●フレッツ・オフィスやフレッツ・グループアクセス／フレッツ・グループなどを利用して、プライベートネットワークを構築する場合で、そのネットワーク内に192.168.100.xxxのIPアドレスがあると、正しく通信できないことがあります。このような場合は、本商品のLAN側IPアドレスを他と重複しないアドレスに設定変更してください。 ●ダイヤルアップの設定がある場合は、パソコンの「インターネットオプション」の［接続］で［ダイヤルしない］が選択されていることを確認します。 ●「Web 設定」の［基本設定］－［基本設定］で、接続したい接続先の「接続可」にチェックが入っているかを確認してください。 ●「Web 設定」のトップページで、接続したい接続先の「状態」が「回線接続中」となっていることを確認してください。

i.本商品前面のIP電話ランプが緑点灯しない

症　状	原因と対策
IP電話ランプが消灯している	●IP電話の設定がされていません。 プロバイダとの契約内容にしたがって、IP電話の設定を行ってください。また、インターネットに接続できているか確認してください。
IP電話ランプが赤点灯している	●IP電話利用不可の状態です。 IP電話の設定内容を確認してください。また、インターネットに接続できているか確認してください。
電話機を利用している状態（通話状態）でIP電話ランプが緑点滅している	●IP電話で通話中です。

j.IP電話が使えない

症　状	原因と対策
IP電話が使えない	●本商品背面の電話機ポートと電話機が電話機コードで接続されていることを確認してください。 IP電話では緊急通話（110番や119番など）などや加入電話サービスに依存した電話番号はかけられません。 ●「電話機能の設定について」（☛ 5-4ページ）で設定した内容がご自分のご利用環境と合っているか確認してください。なお、使用する電話機がホームテレホンの電話機やデジタル電話機などである場合、または電話機のACR機能などが動作している場合はIP電話が正しくご利用いただけません。

k.本商品前面の加入電話ランプが緑点灯しない

症　状	原因と対策
加入電話ランプが消灯している	●本商品背面の電話回線ポート（グレー）に、本商品に付属の電話機コード（グレー）が正しく接続されていることを確認してください。
電話機を利用している状態（通話状態）で加入電話ランプが緑点滅している	●加入電話で通話中です。

l.加入電話が使えない

症　状	原因と対策
加入電話が使えない	●加入電話の契約をしていないと、加入電話はご利用になれません。 加入電話をご利用になる場合は、加入電話の契約が必要です。 ●正しく接続されていない可能性があります。 『2　本商品の動作モードについて』（☛ 2-1ページ）をご覧のうえ、正しく接続してください。
ナンバー・ディスプレイ、ダイヤルインなどの加入電話付加サービスが正常に動作しない	●加入電話付加サービスの契約内容をご確認ください。

7-2 ご利用開始後のトラブル

以降の対策を行ってもトラブルが解決しない場合は、本商品のファームウェアのバージョンを確認し、最新のファームウェアに更新することを推奨します。

症　状	原因と対策
インターネットへのアクセスが遅い	●接続先サーバが混んでいる可能性があります。しばらく時間をおいてから、アクセスしてください。 ●接続先のプロバイダやインターネット上の経路が他の通信で混んでいる可能性があります。しばらく時間をおいてからアクセスしてください。
使用可能状態において突然「IPアドレス192.168.100.xxxは、ハードウェアのアドレスが....と競合していることが検出されました。」というアドレス競合に関するエラーが表示された	●LAN内に手動で設定しているIPアドレスがあるかどうか確認してください。 ●[OK] をクリックして次の手順でIPアドレスを取り直してください。なお、このエラーが表示された場合、もう1台のパソコンで同様のエラーが表示されることがあります。その場合はエラー表示されたすべてのパソコンで下記手順を行ってください。 〈Windows® 7、Windows Vista®およびWindows® XPの場合〉 ①[スタート]（Windows® のロゴボタン）－［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］をクリックします。 ②「ipconfig /renew」を入力して［Enter］キーを押します。 ③IP アドレスが［192.168.100.xxx］になることを確認します。※ 〈Windows® 2000の場合〉 ①[スタート]－［プログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］をクリックします。 ②「ipconfig /renew」を入力して［Enter］キーを押します。 ③IP アドレスが［192.168.100.xxx］になることを確認します。※ 〈Mac OS Xの場合〉 ①[アップルメニュー] から［システム環境設定］を開き、[ネットワーク］アイコンを選択します。 ②[TCP/IP] タブをクリックして［表示］を［ネットワークポート設定］にして、内蔵Ethernetのチェックを外し、[今すぐ適用］をクリックします。 ③再度、内蔵 Ethernet のチェックを入れ、[今すぐ適用］をクリックします。 ④[表示] を「内蔵Ethernet」にして、IPアドレスが［192.168.100.xxx］になることを確認します。※ ※IP アドレスの初期値は、ルータモードでご利用の場合やアダプタモードで有線接続して設定している場合は、［192.168.100.x］となります。 アダプタモードで無線接続している場合は、WAN側に接続したルータから割り当てられます。ご利用のルータに添付の取扱説明書などをご覧ください。

症　状	原因と対策
前回はできたのにインターネット接続ができない	●本商品の電源を切ったあと、すぐに電源を入れないでください。 10秒以上の間隔を空けてから電源を入れてください。 パソコンにIPアドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも本商品の方が先に電源が立ち上がって装置内部の処理が完了している必要があります。 下記のどちらかの方法で確認してください。 a.パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れる。 起動後、8-2ページ以降をご覧のうえ、再度パソコンのIPアドレスを確認する。 b.次の手順でIPアドレスを取り直してください。 〈Windows® 7、Windows Vista®およびWindows® XPの場合〉 ①[スタート]（Windows® のロゴボタン）－［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］をクリックします。 ②「ipconfig /renew」と入力して、[Enter］を押します。 ③IP アドレスが［192.168.100.xxx］になることを確認します。※ 〈Windows® 2000の場合〉 ①[スタート］－［プログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］をクリックします。 ②「ipconfig /renew」と入力して、[Enter］を押します。 ③IP アドレスが［192.168.100.xxx］になることを確認します。※ 〈Mac OS Xの場合〉 ①[アップルメニュー］から［システム環境設定］を開き、[ネットワーク］アイコンを選択します。 ②[TCP/IP］タブをクリックして［表示］を［ネットワークポート設定］にして、内蔵Ethernetのチェックを外し、[今すぐ適用］をクリックします。 ③再度、内蔵 Ethernet のチェックを入れ、[今すぐ適用］をクリックします。 ④[表示]を「内蔵Ethernet」にして、IPアドレスが[192.168.100.xxx］になることを確認します。※ ※IP アドレスの初期値は、ルータモードでご利用の場合やアダプタモードで有線接続して設定している場合は、［192.168.100.x］となります。 アダプタモードで無線接続している場合は、WAN側に接続したルータから割り当てられます。ご利用のルータに添付の取扱説明書などをご覧ください。
「ファームウェア更新情報」に「更新の確認に失敗しました。」と表示される	●PPPランプが消灯していませんか →PPPoE接続が切断されています。接続後、「Web設定」の［メンテナンス］－［ファームウェア更新］の［更新確認］をクリックしてください。 ●アップデートURLが間違っていませんか →「機能詳細ガイド」の「Web設定の使いかた」の［メンテナンス］－［ファームウェア更新］にしたがって再度設定してください。
「Web設定」の［基本設定］－［基本設定］で［接続先名］をクリックして、[IPアドレス]の設定を変更するときに、IPアドレスが重複していると表示され、設定できない	●LANのIPアドレスと重複していると表示されている場合、接続先のIPアドレス（サブネット）がLANのIPアドレス（サブネット）と重複しています。 「Web設定」の［共通設定］－［LAN側設定］の［LAN側IPアドレス］を変更して設定してください。 ●接続先のIPアドレスと重複していると表示されている場合、接続先のIPアドレス（サブネット）が他の接続先のIPアドレス（サブネット）と重複しています。接続先IP アドレス管理者（フレッツ・グループアクセスをご利用の場合はグループ管理者）にお問い合わせのうえ、「Web設定」の［基本設定］－［基本設定］で［接続先名］をクリックして、IPアドレスを変更して設定してください。

症　状	原因と対策
「Web設定」のトップページにIPアドレスが重複していると表示される	●「Web 設定」の［基本設定］－［基本設定］の［状態］に、LANのIPアドレスと重複していると表示されている場合、LANのIPアドレス（サブネット）が他の接続先のIPアドレス（サブネット）と重複しています。 「Web設定」の［共通設定］－［LAN側設定］の［LAN側IPアドレス］を変更して設定してください。 ●「Web 設定」の［基本設定］－［基本設定］の［状態］に、他の接続先のIPアドレスと重複していると表示されている場合、接続先のIPアドレス（サブネット）が他の接続先のIPアドレス（サブネット）と重複しています。接続先IPアドレス管理者（フレッツ・グループアクセスをご利用の場合はグループ管理者）にお問い合わせのうえ、「Web設定」の［基本設定］－［基本設定］で［接続先名］をクリックして、重複している接続先のIPアドレスを変更して設定してください。
ハンドセットをあげると「ピーピーピーピー」と音がする	●最新のファームウェアがあることを通知しています。ファームウェアの更新を行ってください。（正常動作）
ファームウェアの更新ができない	●IP 電話使用中、および使用後一定時間は、本商品へのバージョンアップを行うことができない場合があります。その場合は、IP電話使用終了後一定時間たってから、再度ファームウェアの更新を行ってください。 ●本商品のファームウェアの更新中や、本商品の再起動を行っている場合、本商品へのバージョンアップ操作は行えません。
ファームウェア更新が突然実行される	●ネットワーク上の当社のサーバからの緊急のバージョンアップを要するファームウェアが提供された場合「ファームウェア更新種別」の設定に関わらず、強制的に最新のファームウェアへの更新を行います。 電源を抜いたりせず、そのまましばらくお待ちください。
アラームランプが橙点灯する	●ファームウェアの更新中（手動更新またはファイル指定）です。ファームウェアの更新中は、本商品の電源を切らないでください。
アラームランプが赤点灯する	●本商品で異常が発生しています。約15分間待ってもアラームランプが赤点灯している場合は、本商品の電源を入れ直してください。電源を入れ直す際は、10秒以上の間隔を空けてください。電源を入れ直しても復旧しない場合は、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
無線ランプが赤点滅する	●「無線LAN簡単セットアップ」に失敗しています。 「「無線LAN簡単セットアップ」が成功しない」を参照してください。（☛ 7-10ページ）

症　状	原因と対策
無線LAN通信ができない	●本商品の拡張カードスロットに無線LANカードが正しく装着されているか『4-2　本商品への無線LANカードの取り付け』（☛ 4-4ページ）をご覧のうえ、確認してください。 ●本商品と接続する無線LAN端末の使用チャネルが一致していることを確認してください。使用する無線LAN 端末によっては、12ch13chは使用できない場合があります。自動設定でつながらない場合は無線LAN端末の設定を確認して、使用チャネルの設定を変更してください。 ●上記を確認しても、無線LAN通信ができない場合は無線LANカードの取扱説明書を参照してください。 ●「Web設定」で設定した場合は、必ず画面左上の［保存］をクリックしてください。［保存］をクリックしないと本商品のファームウェアバージョンアップや再起動の際に設定が消えてしまう場合がございます。 ●MACアドレスフィルタイリングが「有効にする」になっている →本商品のMACアドレスフィルタリングが「有効にする」となっている場合、無線LAN端末のMACアドレスをMACアドレスエントリに登録する必要があります。 ●無線LANカードは当社指定のものをご利用ください。当社指定以外のものをご利用になると本商品が再起動を繰り返し、使用できません。
「無線LAN簡単セットアップ」が成功しない	●本商品の拡張カードスロットに無線LANカードが正しく装着されていない →『4-2　本商品への無線LANカードの取り付け』（☛ 4-4ページ）をご覧のうえ、確認してください。 ●MACアドレスフィルタリングのすべてのエントリが登録済みになっている →本商品の MAC アドレスフィルタリングのすべてのエントリが登録済みになっていると「無線LAN 簡単セットアップ」の設定ができません。「Web設定」の［無線LAN設定］－［無線LAN設定］で本商品のMACアドレスフィルタリングの設定を確認してください。 ●本商品の無線動作モードが「IEEE802.11a固定」になっている →無線 LAN 端末で IEEE802.11a に対応していない場合があります。「Web設定」の［無線LAN設定］－［無線LAN設定］の［無線動作モード］で本商品の無線動作モードを確認してください。 ●本商品の使用するWEPキー（キーインデックス）がWEPキー 1になっていない →無線LAN端末でWEPキー２～４は対応していない場合があります。「Web設定」の［無線LAN設定］－［無線LAN設定］の［無線の暗号化］で本商品の無線の暗号化設定を確認してください。 ●本商品と無線LAN端末で使用可能な暗号化方式や暗号化強度が一致していない →無線 LAN 端末の取扱説明書などで使用可能な暗号化方式や暗号化強度を確認し、本商品に設定してください。 ●本商品に他の設定を行っている →本商品の設定中は「無線LAN簡単セットアップ」での設定は行えません。 他の設定が終了してから行ってください。 ●無線ランプが緑点灯していない →無線ランプが緑点灯していない場合（本商品に無線LANカードが装着されていない場合）は、「無線LAN簡単セットアップ」での設定は行えません。『7-1　設置に関するトラブル』（☛ 7-2ページ）を参照してください。 設定中の「無線LAN簡単セットアップ」が完了していない場合は、無線ランプが緑点灯してから設定を行ってください。

症　状	原因と対策
「無線LAN簡単セットアップ」が成功しない（つづき）	●2台以上のパソコンで無線LAN簡単接続機能を起動している →2台以上のパソコンで無線LAN簡単接続機能を起動している場合は、「無線LAN簡単セットアップ」の設定に失敗します。1台ずつ設定を行ってください。 ● Windows® 7搭載の無線LAN内蔵パソコンが接続できない →本商品の「無線ネットワーク名（SSID）の隠蔽（ANY接続拒否)」をしないにしている（☛機能詳細ガイド)、またはパソコンで、「ネットワークが名前（SSID）をブロードキャストしていない場合でも接続する」の設定（☛ 4-20ページ、4-23ページ）を行ってください。
「らくらく無線スタート」が成功しない	●本商品の無線の暗号化が暗号化なしに設定されている →本商品の無線の暗号化が暗号化なしに設定されている状態で、「らくらく無線スタート」を実行すると設定に失敗します。本商品の無線の暗号化が暗号化なしに設定されている状態で設定に失敗した場合、「らくらく無線スタート」には、自動的に、本商品の無線の暗号化をWPA-PSK（TKIP）に設定する機能があります。無線ランプが緑点灯してから、もう一度、「らくらく無線スタート」を実行してください。自動的に設定されるWPA-PSK（TKIP）の設定値については、「① SSID-1」（☛ 4-3ページ）を参照してください。 ●本商品に無線の暗号化がWPA2-PSK に設定されている →本商品の無線の暗号化がWPA2-PSK に設定された状態で「らくらく無線スタート」を実行すると設定に失敗します。無線動作モードが　IEEE802.11g/IEEE802.11b　互換またはIEEE802.11a固定のゲーム機と接続する場合は、本商品のSSID-1の無線の暗号化設定を確認してください。無線動作モードがIEEE802.11b 固定のゲーム機と接続する場合は、本商品のSSID-2 の無線の暗号化設定を確認してください。 ●インターネットに接続できていない →本商品前面のPPPランプが消灯している場合は、インターネットに接続できません。「無線LAN簡単セットアップ」で無線LAN設定後、ゲーム機からのインターネット接続の確認に失敗する場合は、『7-1　設置に関するトラブル』（☛ 7-2ページ）を参照して、本商品の接続や設定を確認してください。 ●アダプタモードでご利用の場合は、ルータ機能はWAN側に接続したルータ機能になります。機能の設定は、ご利用のルータに添付の取扱説明書などをご覧ください。

8 付録

8

8-1 パソコンのネットワーク設定

■パソコンのネットワーク設定と接続確認

本商品に接続するパソコンのネットワーク設定について説明します。
パソコンが初期状態の場合は、パソコンのネットワーク設定は必要ありません。
本章の設定画面は、DHCPサーバ機能を使用する場合の設定例です。
DHCPサーバ機能は工場出荷時に「有効にする」になっています。

・Windows® 7をご利用の場合
→ 2-15ページをご覧ください。

・Windows Vista®をご利用の場合
→ 8-3ページをご覧ください。

・Windows® XPをご利用の場合
→ 8-5ページをご覧ください。

・Windows® 2000をご利用の場合
→ 8-7ページをご覧ください。

・Mac OS Xをご利用の場合
→ 8-9ページをご覧ください。

パソコンに設定されているIPアドレスを確認することで、本商品とパソコンの接続を確認します。
本商品のIPアドレスは、初期状態で「192.168.100.1」に設定されています。
IPアドレスを変更する場合は、「機能詳細ガイド」の「Web設定の使いかた」の［共通設定］－［LAN側設定］をご覧ください。

■Webブラウザの設定（Windows®のみ）

Webブラウザの接続設定を「ダイヤルしない」、「プロキシサーバーを使用しない」に設定します。

・Windows®をご利用の場合
→ 2-17ページをご覧ください。

■JavaScriptの設定確認

Webブラウザで設定を行うには、JavaScriptの設定を有効にする必要があります。

・Windows®をご利用の場合
→ 2-18ページをご覧ください。

・Mac OSをご利用の場合
→ 8-10ページをご覧ください。

Windows Vista®をご利用の場合

■パソコンのネットワークの設定をする

Windows Vista®の設定により表示内容が異なる場合があります。

1 [スタート]（Windows®のロゴボタン）－［コントロールパネル］を選択する

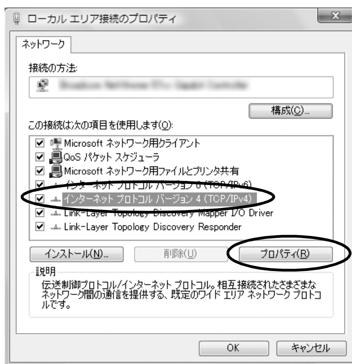
2 [ネットワークとインターネット]をクリックし、[ネットワークと共有センター］をクリックする

3 [タスク］欄の［ネットワーク接続の管理］をクリックする

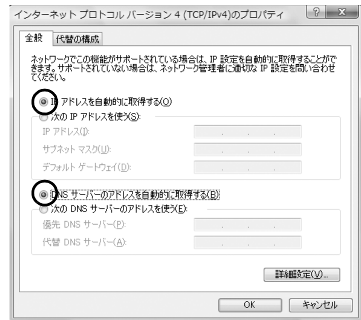
4 [ローカルエリア接続]アイコンを右クリックし、[プロパティ］をクリックする

※［ユーザーアカウント制御］画面が表示された場合は、[続行]をクリックします。

5 [インターネットプロトコルバージョン4（TCP/IPv4)］を選択し、[プロパティ］をクリックする



6 [IPアドレスを自動的に取得する］と［DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する］を選択する



7 [OK］をクリックする

8 [OK］または［閉じる］をクリックする

8

付録



お知らせ

●本書では、Windows Vista®の通常表示モード（コントロールパネルホーム）を前提に記載しています。

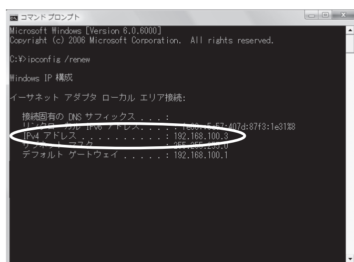
■IPアドレスの確認 ー パソコンとの接続を確認する

1 本商品背面のLAN（LINK）ランプが緑点灯していることを確認する

2 パソコンの［スタート］（Windows®のロゴボタン）ー［すべてのプログラム］ー［アクセサリ］ー［コマンドプロンプト］を実行する

3 ［コマンドプロンプト］の画面が表示されたら、「ipconfig / renew」と入力し、［Enter］キーを押す

4 ［イーサネット　アダプタ　ローカル　エリア接続：］が表示され、IPv4アドレスが［192.168.100.xxx］になっていることを確認する（xxxは2～254の数字です。）



5 「exit」と入力し、［Enter］キーを押す

Windows® XPをご利用の場合

■パソコンのネットワークの設定をする

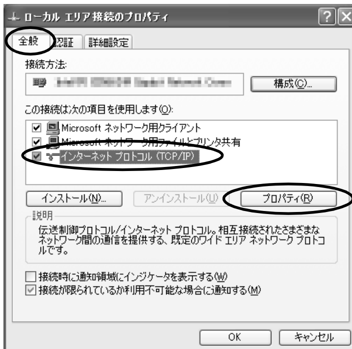
Windows® XPの設定により表示内容が異なる場合があります。

1　［スタート］－［コントロールパネル］を選択する

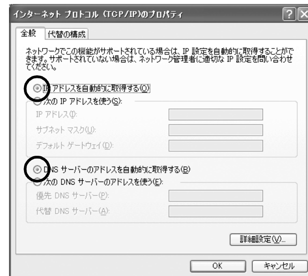
2　［ネットワークとインターネット接続］をクリックし、［ネットワーク接続］をクリックする

3　［ローカルエリア接続］を右クリックし、［プロパティ］をクリックする

4　［全般］タブをクリックし、［インターネットプロトコル(TCP/IP)］を選択し、［プロパティ］をクリックする



5　［IPアドレスを自動的に取得する］と［DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する］を選択する



6　［OK］をクリックする

7　［OK］または［閉じる］をクリックする



お知らせ

●本書では、Windows® XPの通常表示モード（カテゴリー表示）を前提に記載しています。

■IPアドレスの確認 － パソコンとの接続を確認する

1 本商品背面のLAN（LINK）ランプが緑点灯していることを確認する

2 パソコンの［スタート］－［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］を実行する

3 ［コマンドプロンプト］の画面が表示されたら、「ipconfig /renew」と入力し、［Enter］キーを押す

4 ［Ethernet adapter ローカルエリア接続：］が表示され、IPアドレス（IP Address）が［192.168.100.xxx］になっていることを確認する（xは2～254の数字です。）

```
コマンド プロンプト
C:¥>ipconfig /renew

Windows IP Configuration

Ethernet adapter ローカル エリア接続:

        Connection-specific DNS Suffix  . :
        IP Address. . . . . . . . . . . . : 192.168.100.2
        Subnet Mask . . . . . . . . . . . : 255.255.255.0
        Default Gateway . . . . . . . . . : 192.168.100.1

C:¥>
```

5 「exit」と入力し、［Enter］キーを押す

Windows® 2000をご利用の場合

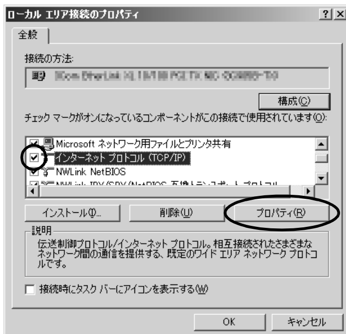
■パソコンのネットワークの設定をする

1 ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択する

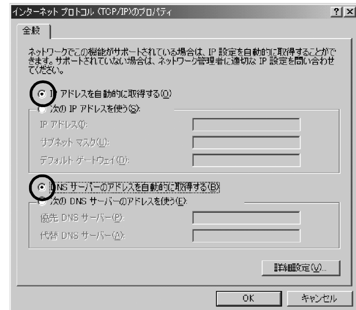
2 ［ネットワークとダイヤルアップ接続］アイコンをダブルクリックする

3 ［ローカルエリア接続］アイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックする

4 リストの［インターネットプロトコル（TCP/IP）］を選択し、［プロパティ］をクリックする



5 ［IPアドレスを自動的に取得する］と［DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する］を選択する



6 ［OK］をクリックする

7 ［OK］をクリックする

以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。

■IPアドレスの確認 − パソコンとの接続を確認する

1 本商品背面のLAN（LINK）ランプが緑点灯していることを確認する

2 パソコンの［スタート］−［プログラム］−［アクセサリ］−［コマンドプロンプト］を実行する

3 ［コマンドプロンプト］の画面が表示されたら、「ipconfig /renew」と入力し、［Enter］キーを押す

4 ［Ethernet adapter ローカルエリア接続：］が表示され、IPアドレス（IP Address）が［192.168.100.xxx］になっていることを確認する（xは2〜254の数字です。）

```
コマンド プロンプト
Microsoft Windows 2000 [Version 5.00.2195]
(C) Copyright 1985-2000 Microsoft Corp.

C:¥>ipconfig /renew

Windows 2000 IP Configuration

Ethernet adapter ローカル エリア接続:

        Connection-specific DNS Suffix  . :
        IP Address. . . . . . . . . . . . : 192.168.100.3
        Subnet Mask . . . . . . . . . . . : 255.255.255.0
        Default Gateway . . . . . . . . . : 192.168.100.1

C:¥>
```

5 「exit」と入力し、［Enter］キーを押す

Mac OS Xをご利用の場合

■パソコンのネットワークの設定をする

1 アップルメニューの［システム環境設定］を開き、［ネットワーク］アイコンを選択する

2 ［Ethernet］を選択し、［構成］を［DHCPサーバを使用］にする

> <Mac OS X 10.4の場合>
> ［表示］を［内蔵Ethernet］にし、［TCP/IP］タブをクリックして、［IPv4の設定］を［DHCPサーバを参照］にします。

3 ［DNS サーバ］は表示されたまま変更せず、［検索ドメイン］を空白にする

> <Mac OS X 10.4の場合>
> ［DHCPクライアントID］と［DNSサーバ］、［検索ドメイン］を空白にします。



4 ［適用］をクリックし、ウィンドウを閉じる

> <Mac OS X 10.4の場合>
> ［今すぐ適用］をクリックし、ウィンドウを閉じます。

以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。

■IPアドレスの確認 － パソコンとの接続を確認する

1 本商品背面のLAN（LINK）ランプが緑点灯していることを確認する

2 アップルメニューから［システム環境設定］を開き、［ネットワーク］アイコンを選択する

3 ［Ethernet］を選択して、［詳細...］をクリックし、［TCP/IP］タブをクリックして、IPv4アドレスが［192.168.100.xxx］になっていることを確認する（xxxは2 ～ 254の数字です。）

> <Mac OS X 10.4の場合>
> ［TCP/IP］タブをクリックし、IPアドレスが［192.168.100.xxx］になっていることを確認します。



4 ウィンドウを閉じる

JavaScriptの設定をする（Mac OS）

Webブラウザで設定を行うにはJavaScriptの設定を有効にする必要があります。以下はMac OSをご利用の場合です。Windows®をご利用の場合は、2-18ページをご覧ください。

※Webブラウザの設定で、本商品の機器設定用パスワードの設定ができないことがあります。設定ができない場合は、以下の手順でJavaScriptを「有効にする」に設定してください。

以下は、Mac OS X 10.5でFirefox® 2.0を使用している場合の例です。

1 Firefox®を起動する

2 メニューバーの［Firefox］－［環境設定］をクリックする

3 ［コンテンツ］をクリックする

4 ［JavaScriptを有効にする］にチェックを入れる



5 メニューバーの［Firefox］から［Firefoxを終了］をクリックし、Firefox®を終了させる

8-2 設定値の保存・復元

「Web設定」で現在の本商品の設定内容をファイルに保存および復元できます。
設定内容をパソコンのハードディスクにバックアップファイルとして保存しておくと、保存済みのバックアップファイルから本商品に設定内容を復元することも可能です。

設定値の保存

1 「Web設定」ページ（「http://setup.fletsphone/」もしくは本商品のIP アドレス「http://192.168.100.1/」(工場出荷時)）を開く

2 メニューの［メンテナンス］－［設定値の保存＆復元］を選択する

3 ［ファイルに保存］をクリックし、［保存］をクリックする



4 ファイルの保存先を指定し、［保存］をクリックする

5 「ダウンロード完了」画面が表示された場合は、［閉じる］をクリックする

8
付録

設定値の復元

1 「Web設定」ページ（「http://setup.fletsphone/」もしくは本商品のIP アドレス「http://192.168.100.1/」（工場出荷時））を開く

2 メニューの［メンテナンス］－［設定値の保存＆復元］を選択する

3 ［参照］をクリックし、設定内容を保存したファイルを指定する



4 ［開く］をクリックする

5 ［設定値の復元］をクリックする

「設定値の復元を行ったあと、再起動を行います。よろしいですか？」と表示されます。

6 ［OK］をクリックする

7 ［OK］をクリックする



お知らせ

●機器設定用パスワードは復元されません。
●以下の設定は復元されない場合があります。復元後に必ず設定内容を確認してください。
・無線ネットワーク名（SSID）
・事前共有キー（PSK）
・WEPキー
・無線ネットワーク名（SSID）の隠蔽（ANY接続拒否）
・ファームウェアの更新種別
●本商品を再起動すると、通話・通信が切断されます。
●設定値を復元するときは、他機種のバックアップファイルを指定しないでください。正しく復元できません。
●ご契約の電話番号が変更・追加・削除になった場合、変更・追加・削除以前に保存した設定ファイルは使用しないでください。設定内容が正しく復元できない場合があります。
●お客様のご利用環境によっては設定値の保存・復元の際に時間がかかる場合があります。

8-3 本商品の初期化

初期化とは、本商品に設定した内容を消去して、工場出荷状態に戻すことをいいます。
本商品が正常に動作しない場合や機器設定用パスワードを忘れたり、IPアドレスを間違えたりして本商品にアクセスできなくなった場合には、本商品を初期化して初めから設定し直すことをお勧めします。
「Web設定」で初期化することもできます。詳細は、「機能詳細ガイド」の「Web設定の使いかた」の［メンテナンス］－［設定値の初期化］をご覧ください。
初期化すると、それまでに設定した値はすべて消去され、工場出荷状態に戻りますので、設定内容をパソコンのハードディスクに保存しておくことを推奨します。
保存方法は『8-2　設定値の保存・復元』（☛ 8-11ページ）を参照してください。
IP電話に関する設定もすべて消去されます。

■設定初期化について

本商品の初期化は、下記の手順で行います。

1 本商品の電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜く

2 10秒以上たってから、本商品背面の初期化スイッチを細い棒状のもの（つまようじなど電気を通さない材質のもの）で押しながら電源アダプタ（電源プラグ）を接続する（本商品前面の全ランプが緑点滅するまで押し続ける。）

起動後、電源ランプが橙点灯になれば、初期化完了です。

※初期化が完了するまで本商品の電源アダプタは絶対に抜かないでください。
故障の原因となることがあります。
※初期化スイッチを強く押しすぎないでください。故障の原因となる場合があります。



お知らせ

●本商品に設定する接続先ユーザ名や接続パスワードは重要な個人情報です。情報を盗まれると悪用される可能性がありますので、情報の管理には十分お気をつけください。本商品を廃棄（または譲渡、返却）する場合など、本商品の利用をやめる際は、必ず初期化を行い、本商品内に設定された情報を消去してください。

8-4 用語集

本書に出てくる通信・ネットワークに関する用語を中心に解説します。さらに詳しくは、「機能詳細ガイド」をご覧ください。

【アルファベット順】

AES	Advanced Encryption Standard の略。 WPA-PSKで使用する暗号化方式の1 つ。AESはTKIPやWEPと比べて、より解読されにくいものになっている。
ANY接続拒否	無線LAN端末からのANY接続（どの無線LANアクセスポイントにも接続できる特殊なSSID）を拒否する機能。
CHAP	Challenge Handshake Authentication Protocolの略。 PPPで接続の際にユーザを認証するために利用する認証用プロトコル。PAPと異なり毎回パスワードを元に生成したビット列をネットワーク上でやり取りするため、安全性が高いという特徴がある。 RFC1994で仕様が公開されている。
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocolの略。 TCP/IPプロトコルを使用する各機器は、固有のIPアドレスを持つ必要がある。DHCPは、IPアドレスを各端末に自動的に割り振るためのプロトコル。DHCPサーバからIPアドレスを取得する場合、IPアドレスに加えて、デフォルトゲートウェイやドメイン名など、IPアドレス以外の情報も取得可能であり、ネットワークの設定、管理が簡単になる。
DHCPクライアント	DHCPサーバによりIPアドレスを割り当てられるシステム。
DHCPサーバ	DHCPを用いてIPアドレスなどの設定を配布・管理するシステム。
DMZ	DeMilitarized Zoneの略。 不正アクセスを防ぐファイアウォールの内側にあり、外部（WAN側）とも内部（LAN側）とも切り離された区域のこと。
DNS	Domain Name Systemの略。 IPアドレスではなく、ドメイン名による伝送経路選択をする機能。
DNSサーバ	ホスト名とIPアドレスとの対応表を持っており、ホスト名の問い合わせにIPアドレスを通知するサーバ。
IEEE802.11a	無線LANの規格の1つ。 5.2GHzの周波数帯を利用し、伝送速度は最大54Mbps。 IEEE802.11bより大幅に高速になっている。
IEEE802.11b	無線LANの規格の1つ。 2.4GHzの周波数帯を利用し、伝送速度は最大で11Mbps。

IEEE802.11g	無線LANの規格の1つ。 2.4GHzの周波数帯を利用し、伝送速度は最大で54Mbps。 IEEE802.11aよりも広い範囲で高速な通信ができる。
IP	Internet Protocolの略。 異なるネットワークの間でパケットの転送を行うための取り決めを表す。IPアドレスにより相手先を判断する。
IPアドレス	インターネット接続などのTCP/IPを使ったネットワーク上で、コンピュータなどを識別するための番号。32bitの値をもち、8bitずつ10進法で表した数値を、ピリオドで区切って表現する。（例：192.168.100.10）
IPマスカレード	NAT（IPアドレス変換）機能の1 つで、ポート番号を動的に割り当てることにより、1 つのWAN側IPアドレスに対して複数のLAN側の端末を接続することが可能となる機能。
LAN	Local Area Networkの略。 1つの建物内などに接続された、複数のパソコンやプリンタなどで構成される小規模なコンピュータネットワーク。
MACアドレス	ネットワーク上で機器の区別をするためにハードウェア（LANカードなど）につけられた固有のアドレス。利用者がこのアドレスの値を決めることはできない。
MACアドレスフィルタリング	無線LAN通信においてサーバが通信できるMACアドレスを指定し、通信を受けたくない無線LAN端末などからの通信を防ぐ機能。
PAP	Password Authentication Protocolの略。 PPPリンクの接続を確立するときに認証するプロトコル。 RFC1334で仕様が公開されている。
PING	「ピング」と呼ぶ。 端末間の接続が正常に行えるかどうかを試験するプログラム。
PPP	Point to Point Protocolの略。 遠隔地にある2台のコンピュータを接続するためのプロトコル。アナログ回線やINSネット64回線を使ってインターネット接続するために使われる。
PPPoE	Point to Point Protocol over Ethernetの略。 ADSLなどの常時接続型サービスで使用されるユーザ認証技術。Ethernet上でダイヤルアップ接続（PPP接続）と同じように利用者の接続先ユーザ名や接続パスワードのチェックを行う。

SIP	Session Initiation Protocolの略。 IP電話などに用いられる通話制御プロトコルの1つ。 RFC3261で仕様が公開されている。
TCP	Transmission Control Protocolの略。 データの転送を制御するプロトコル。送信先に接続してデータ送信する。受信側は受け取ったパケットの到達確認を行い、エラーを訂正する機能を持つので、信頼性の高い通信を実現できる。
TCP/IP	Transmission Control Protocol/Internet Protocolの略。 インターネットやLANで一般的に使われているプロトコル。
TKIP	Temporal Key Integrity Protocolの略。 WPA-PSKで使用する暗号化方式の1つ。TKIPは、WEPでも使用されているRC4という暗号化アルゴリズムを採用している。
UPnP	Universal Plug and Playの略。 パソコンや周辺機器、AV機器、電話、家電製品などの機器をネットワークを通じて接続し、相互に機能を提供しあうための技術仕様のこと。
VDSLモデム	コンピュータをVDSL回線に接続する際に必要になる信号変換機。加入電話回線を通じて送られてくるVDSL信号をEthernetの信号に変換したり、その逆を行い、VDSLモデムとコンピュータの間はEthernetLANで接続する。
VoIP	Voice over Internet Protocolの略。 インターネットやイントラネットのようなIPネットワーク上で音声通話を実現する技術のことを指す。 社内LANを使った内線電話やインターネット電話などに応用される。
VPN	Virtual Private Networkの略。 インターネットを経由するにもかかわらず、拠点間を相互接続し、安全な通信を可能にするセキュリティ技術によって構築された、仮想プライベートネットワークのこと。
WAN	Wide Area Networkの略。 地理的に離れた地点にあるパソコンどうしを電話回線や専用回線で接続し、データをやりとりするネットワーク。
Webブラウザ	ホームページを見るためのアプリケーション。 Internet Explorer®がよく使われている。
WEP	Wired Equivalent Privacyの略。 ユーザが指定した任意の文字列（WEPキー）を本商品と無線LAN端末に登録することによって、WEPキーが一致した場合のみ通信できるようになる。

WEPキー	WEPで用いられる秘密の鍵。送信者と受信者は同じ鍵を登録したうえで通信を行う。
WPA	Wi-Fi Protected Accessの略。 現在無線LANで広く使われている通信暗号化方法「WEP」を置き換える、より強固な暗号化方法。
WPA2	Wi-Fi Protected Access2の略。 WPAの新バージョンで、AES暗号化に対応したWPAより強固な暗号化方法。
WPA-PSK/ WPA2-PSK	Wi-Fi Protected Access Pre-Shared Key/Wi-Fi Protected Access2 Pre-Shared Keyの略。 WPA/WPA2セキュリティ設定の認証方式の1つ。Pre-Shared Keyを使うと、認証サーバを用意しなくてもWPA/WPA2セキュリティ設定を使用できる。 WPA-PSK/WPA2-PSKには、AESやTKIPなどの暗号化がある。
10BASE-T	Ethernetの通信方式の1つで、ツイストペアケーブルを使い、10Mbpsの伝送速度をもつ。
100BASE-TX	Ethernetの通信方式の1つで、ツイストペアケーブルを使い、100Mbpsの伝送速度をもつ。

【あいうえお順】

【あ行】

イーサネット (Ethernet)	LANの通信方式。10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-Tなどの規格がある。
インフラストラクチャ通信	無線LAN端末から無線LANアクセスポイントを経由して行う無線LANの通信。

【か行】

回線終端装置	デジタル回線に端末装置を接続するための終端装置。フレッツ 光ネクスト／Bフレッツではの ONU（Optical Network Unit）などを指す。
クライアント	LANなどを構成するコンピュータの中で、主にサーバからの資源やサービス（ファイル／データベース／メール／プリンタなど）を受けるコンピュータ。
ゲートウェイ	プロトコルの異なるLANどうしやLANとWANとを接続する装置。

【さ行】

サーバ	LANなどを構成するコンピュータの中で、主にクライアントに資源やサービス（ファイル／データベース／メール／プリンタなど）を提供するコンピュータ。インターネット上ではWebサーバがホームページ情報を提供する。

サブネット	大きなネットワークを複数の小さなネットワークに分割して管理する際の管理単位となる小さなネットワーク。IPアドレスは、所属するサブネットのアドレス（ネットワークアドレス）と、サブネット内での端末のアドレス（ホストアドレス）から構成されており、ネットワークアドレスが上位何ビットかをサブネットマスク（ネットマスク）で指定する。
静的IPマスカレード	IPマスカレード使用時に、設定したポート番号の変換を行わないようにする機能で、LAN側の端末を特定する。ネットワークゲームを行うときなどに使用する。
セッション	ネットワークまたはリモートコンピュータに接続している状態。例えば、ログインのことを「セッションの開始」といい、ログアウトのことを「セッションの終了」ともいい、接続してから切断するまでの状態をいう。

【た行】

チャネル	無線通信では、使用する周波数帯域を分割して、それぞれの帯域で異なる通信を行うことができる。チャネルとは、その分割された個々の周波数帯域のこと。複数の無線LANを狭いエリアで同時使用する場合は、それぞれに異なる周波数を割り当てないと、無線干渉が発生して、通信速度が遅くなる場合がある。その場合、なるべく各チャネルどうしの帯域が重ならないような使用を推奨する。
ドメイン	「領地」を意味し、ネットワーク関連では各ネットワークにおけるひとまとまりの管理単位。

【は行】

パスワード	コンピュータ・システムの安全性や信頼性を維持するために利用される、数字や文字列による符号。 パスワードを設定する際は、名詞や単純な数字、文字は避け、文字、数字、記号を組み合わせて設定することや、定期的にパスワードを変更することが望ましい。
ファームウェア	本商品を動作させるためのソフトウェア。
ファイアウォール	外部からの不正なアクセスを防ぐためのシステム。 LANとインターネットの間で不正なアクセスの検出や遮断を実現している。
プロキシサーバ	各装置からSIPプロトコルメッセージを受け取り、相手先に代理送信することにより装置間の通話を確立させるサーバ。
プロトコル	通信規約。システム（コンピュータやネットワーク）どうしが正しく通信できるようにするための約束ごと。
プロバイダ	インターネットの接続サービスを提供している事業者。

ポート番号	TCP/IPにおいて、ユーザやアプリケーションなどを識別するために利用する番号。
ポートセパレート	暗号化方式をWEPまたは暗号化なしで設定している無線LAN端末から、本商品の「Web設定」へのアクセス並びに本商品のLAN側に接続されている端末へのアクセスを制限する機能。

【ま行】

マルチセッション	ネットワークまたはリモートコンピュータに複数接続している状態。
無線LANアクセスポイント	有線LANとインフラストラクチャ通信に設定した無線LAN端末との通信の中継や、無線LAN端末どうしの通信の管理を行う。
無線ネットワーク名（SSID）	SSIDはService Set Identifierの略。 無線通信する端末を論理的にグループ分けするための識別子。 単一の無線ネットワークに属する端末には、すべて同じ無線ネットワーク名（SSID）を設定して使用する。

【ら行】

らくらく無線スタート	無線LANアクセスポイントとゲーム機との無線LAN設定を電話機やパソコン、らくらくスタートボタンから簡単に行うことができる機能。
ルータ	複数のネットワークを相互に接続し、データの転送先や経路を選択する装置。
ルーティング	パケットを宛先に届けるための経路を選択する機能。

8-5 索引

 の付いている用語は「機能詳細ガイド」に記載されています。

[A ～ Z]

[ア行]

[カ行]

[サ行]

[タ行]

[ハ行]

[マ行]

[ヤ行]

[ラ行]

8
付録

8-6 仕様一覧

■Web Caster V130

■ハードウェア仕様

項目		仕様
WANポート	物理インタフェース	8ピンモジュラージャック（RJ-45）
	ポート数	1ポート
	規格※1	100BASE-TX/10BASE-T (IEEE802.3u/IEEE80.2.3)
LANポート	物理インタフェース	8ピンモジュラージャック（RJ-45）
	ポート数	4ポート（スイッチングハブ内蔵）
	規格※1	100BASE-TX/10BASE-T (IEEE802.3u/IEEE80.2.3)
無線LANポート	物理インタフェース	PC Card Standard(CardBus)TypeⅡ (IEEE802.11a/IEEE802.11b/IEEE802.g対応) ※IEEE802.11aの使用周波数帯は拡張する無線LANカードに依存。 ※オプションの無線LANカード SC-32NE、Web Caster FT-STC-Na/g専用
	スロット数	1スロット
電話回線ポート	物理インタフェース	6ピンモジュラージャック（RJ-11）
	ポート数	1ポート
電話機ポート	物理インタフェース	6ピンモジュラージャック（RJ-11）
	ポート数	1ポート
操作部	初期化	設定初期化用スイッチ
	らくらくスタート	無線LAN簡単セットアップ用/動作モード切替用ボタン
前面ランプ表示（LED）	電源ランプ	電源通電時：設定済み状態：緑点灯 電源通電時：初期化された状態：橙点灯
	アラームランプ	ファームウェアバージョンアップ中：橙点灯 装置障害時：赤点灯
	動作モードランプ	ルータモードで利用中：緑点灯 アダプタモードで利用中：橙点灯 動作モード切替中：緑･橙交互点滅
	WANランプ	WAN回線利用可能時：緑点灯 WAN回線でデータ通信中：緑点滅
	PPPランプ	1セッション接続中：緑点灯 2セッション以上接続中：橙点灯
	IP電話ランプ	IP電話利用可能時：緑点灯 IP電話通話中/着信中/呼び出し中：緑点滅 IP電話利用不可時：赤点灯
	加入電話ランプ	加入電話が利用可能時：緑点灯 加入電話で通話中/着信中/呼び出し中：緑点滅
	無線ランプ	無線LAN利用可能時：緑点灯 「無線LAN簡単セットアップ」での設定準備中：緑点滅 「無線LAN簡単セットアップ」での設定完了：橙点灯（10秒間） 「無線LAN簡単セットアップ」で設定のため通信中：橙点滅 「無線LAN簡単セットアップ」の設定に失敗時：赤点滅（10秒間）

※1　本商品を快適にご利用いただくために、100BASE-TXの方式での接続を推奨しております。

■ハードウェア仕様

筐体外観	縦置き壁掛け両用型
動作環境	温度：0～40℃、湿度：20～85%（結露しないこと）
外形寸法	約146（D）x 35（W）x 185（H）mm (スタンド、突起部分を含まず)
電源	AC100V±10V 50/60Hz
消費電力	最大15W
質量	約0.5kg (電源アダプタ/無線LANカード含まず)
電磁波妨害波規格	VCCI クラスB

■無線LAN仕様（拡張カードスロットに無線LANカード（SC-32NE/Web Caster FT-STC-Na/g）を装着した場合）

項　目		仕　様		
無線LAN仕様	端末インタフェース	PC Card Standard（CardBus）スロットType Ⅱ準拠		
	規格	IEEE802.11a（J52/W52）※2	IEEE802.11b	IEEE802.11g
	周波数帯域	5.2 GHz 帯（5150 ～ 5250 MHz）	2.4 GHz 帯（2400 ～ 2484 MHz）	2.4 GHz 帯（2400 ～ 2484 MHz）
	チャネル	36、40、44、48ch※3 34、38、42、46ch※4	1 ～ 13ch	1 ～ 13ch
	伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重）方式	DS-SS（スペクトラム直接拡散）方式	OFDM（直交周波数分割多重）方式
	伝送速度※ 1	54/48/36/24/18/12/9/6Mbit/s（自動切換）	11/5.5/2/1Mbit/s（自動切換）	54/48/36/24/18/12/9/6Mbit/s（自動切換）
	アンテナ	ダイバーシティ方式		
	セキュリティ	SSID、無線ネットワーク名（SSID）の隠蔽（ANY 接続拒否）、MAC アドレスフィルタリング、ポートセパレート、WEP（152/128/64bit）、WPA-PSK（TKIP/AES）、WPA2-PSK（TKIP/AES）、WPA-PSK/WPA2-PSK（TKIP/AES）		

※1　無線LANの規格値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。
※2　J52は拡張カードに無線LANカード Web Caster FT-STC-Na/gを装着した場合、また、W52は拡張カードに無線LANカード SC-32NEを装着した場合です。
※3　拡張カードに無線LANカードSC-32NEを装着した場合
※4　拡張カードに無線LANカードWeb Caster FT-STC-Na/gを装着した場合

8
付録

■ソフトウェア仕様

項　目		仕　様
ルータ機能（ルータモード使用時）	WANプロトコル	PPPoE（PPP over Ethernet）
	PPP認証	自動認証（CHAP/PAP）／CHAP固定／PAP固定
	PPP接続／切断	常時接続（自動接続）／要求時接続（無通信時切断）
	接続先数	登録：5箇所、同時接続：5箇所
	ルーティング方式	スタティックルーティング（最大40経路）、RIP
	DHCPサーバ機能	あり（最大255アドレス割当）
	DNS Proxy機能	あり（LAN側DNSサーバ指定可）
	NAT機能	IPマスカレード：最大4096セッション、 静的NAT：最大20アドレス
	静的IPマスカレード機能	あり（ポート番号の範囲指定可）
	ユニバーサルプラグアンドプレイ（UPnP）機能	あり
	DMZホスト機能	あり（LAN側IPアドレス指定による）
	複数固定IPサービス対応機能	あり
	パケットフィルタ機能	フィルタ種別、送信元IPアドレス、宛先IPアドレス、 プロトコル種別、送信元ポート、宛先ポート、方向指定可能
	セキュリティ保護機能	不正アクセス拒否機能（LAND攻撃、smurf攻撃、IP Spoofing攻撃）、不正アクセス検出機能（LAND攻撃、smurf攻撃、IP Spoofing攻撃）
ブリッジ機能※1	ブリッジ対象	PPPoEパケット、IPv6パケット
VoIP機能	接続手順	SIP
	音声CODEC	ITU-T G.711 μ-law
	エコーキャンセラ	ITU-T G.168
設定・保守機能	設定方法	Webブラウザによる設定・保守
	状態表示機能	回線状態、WAN側IPアドレス、バージョン情報他
	時計機能	あり
	ログ機能	あり
	設定値の保存・復元機能	ファイルに保存、ファイルからの復元
	ソフトウェアバージョンアップ機能	Webブラウザを使用、電話機を使用

※1　アダプタモード使用時、WANポート⇔無線LAN間でEthernetパケットをブリッジします。

8-7 お客様サポートのご案内

●お客様サポートについて

使い方でご不明の点がございましたら、下記へお気軽にご相談ください。

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

●本商品のお取り扱いに関するお問い合わせ

 **0120-970413**（9:00〜17:00）

PHS・050IP電話からご利用の場合（通話料金がかかります。）

03-5667-7100

年末年始12月29日〜1月3日は休業とさせていただきます。

●パソコンの接続・設定などに関するお問い合わせ

 **0120-275466**（9:00〜21:00　年中無休）

携帯電話からご利用の場合（9:00〜21:00　年中無休）（通話料金がかかります。）

0570-064074

※PHS・050IP電話からはご利用いただけません。

●故障に関するお問い合わせ

 **0120-242751**（24時間　年中無休※）

※17：00〜翌日9：00までは、録音にて受付しており順次ご対応いたします。

※故障修理などの対応時間は9:00〜17:00です。

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

●本商品のお取り扱いに関するお問い合わせ

 **0120-248995**※1（9:00〜17:00）

※1 携帯電話・PHSからもご利用になれます。

年末年始12月29日〜1月3日は休業とさせていただきます。

●故障に関するお問い合わせ

 **0120-248995**※1（24時間　年中無休※2）

※1 携帯電話・PHSからもご利用になれます。

※2 故障修理などの対応時間は9:00〜17:00です。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。（2011年6月現在）

8-8 保守サービスのご案内

●保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管してください。
（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

●保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。
当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	●毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	●修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へお伺いするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） ●当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へお伺いするための費用が不要になります。

●補修用部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、原則7年間保有しています。

●廃棄方法に関して

本商品を廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがって処理してください。詳しくは、各地方自治体へお問い合わせください。

MEMO

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報やバージョンアップサービスなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことを推奨します。

当社ホームページ：[NTT東日本] http://web116.jp/ced/
[NTT西日本] http://www.ntt-west.co.jp/kiki/

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

●本商品のお取り扱いに関するお問い合わせ

フリーアクセス **0120-970413**（9:00～17:00）
PHS・050IP電話からご利用の場合（通話料金がかかります。）
03-5667-7100
年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

●パソコンの接続・設定などに関するお問い合わせ

0120-275466（9:00～21:00　年中無休）
携帯電話からご利用の場合（9:00～21:00　年中無休）（通話料金がかかります。）
0570-064074
※PHS・050IP電話からはご利用いただけません。

●故障に関するお問い合わせ

0120-242751（24時間　年中無休※）
※17：00～翌日9：00までは、録音にて受付しており順次ご対応いたします。
※故障修理などの対応時間は9:00～17:00です。

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

●本商品のお取り扱いに関するお問い合わせ

フリーアクセス **0120-248995**※1（9:00～17:00）
※1 携帯電話・PHSからもご利用になれます。
年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

●故障に関するお問い合わせ

フリーアクセス **0120-248995**※1（24時間　年中無休※2）
※1 携帯電話・PHSからもご利用になれます。
※2 故障修理などの対応時間は9:00～17:00です。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。（2011年6月現在）

NTT



本3104-3 (2011.6)
WBC V130トリセツ